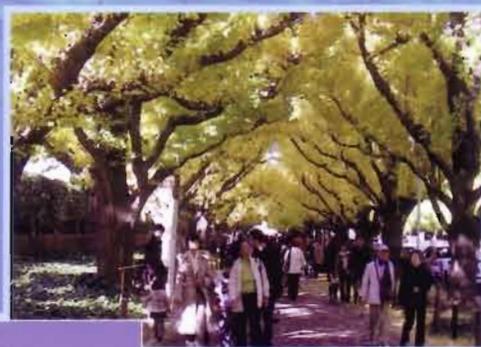


# 南国暮らしの会

2009年 新年号



平成21年1月24日



登録第4810100号

NPO法人 南国暮らしの会

# 南国暮らしの会

会報2009年新年号

|                                   |         | (敬称略)     | ページ |
|-----------------------------------|---------|-----------|-----|
| 新年の挨拶                             | No.712  | 高田 勝弘     | 1   |
| <b>関東支部特集</b>                     |         |           |     |
| 関東支部 挨拶                           | No. 732 | 馬場 章介     | 2   |
| 湘南会                               | No. 470 | 細田 良子     | 3   |
| フィリピンの支部におじゃましました                 | No.1125 | 佐々木 一信    | 4   |
| ユーレイルパスの旅                         | No.1168 | 迫野 正彦     | 7   |
| 上海 郷愁                             | No.1068 | 山科 滋雄     | 11  |
| タイ雑感                              | No. 510 | 土屋 雅司     | 12  |
| 旅行先でのノートパッド活用について                 | No.1187 | 大滝 美保子    | 15  |
| 東京パソコン同好会                         | No. 60  | 渡辺 義郎     | 16  |
| パソコン教室への参加                        | No.1047 | 関口 幹二     | 19  |
| <b>特集「各地の年末年始風景」</b>              |         |           |     |
| チェンマイの年末年始                        | No. 754 | 松本 都志重    | 20  |
| 思い出の正月                            | No. 94  | 高橋 昭      | 21  |
| 年末年始の風景                           | No. 227 | 斎木 一      | 22  |
| 年末からお正月にかけての過ごし方                  | No 434  | 大野 悦子     | 23  |
| わが故郷の年末年始                         | No 900  | 島林 健二     | 24  |
| 南国フィリピンのクリスマス、お正月<br>そしてマニラ支部から一言 | No 1269 | 岩崎 宏      | 25  |
| クアラルンプールにおける私達の正月                 | No. 860 | 棚村 信了     | 27  |
| 北海道のお正月                           | No. 625 | 工藤 俊一     | 28  |
| <b>特集「バンコック空港閉鎖」</b>              |         |           |     |
| バンコク空港封鎖とマイペンライ                   | No.1161 | 永島 和雄     | 29  |
| 旅先で遭遇したアクシデント                     | No. 539 | 有馬 憲三     | 31  |
| 人間模様雑感                            | No. 747 | 坂本 忠夫     | 32  |
| 出発前の変更騒動                          | No. 625 | 工藤 俊一     | 35  |
| チェンマイから                           | No.1313 | 竹内 拓、恵梨子  | 36  |
| <b>一般投稿</b>                       |         |           |     |
| ハワイの楽しい生活                         | No.1106 | 中牟田 登、冨美子 | 38  |
| 南国暮らしの経済モデルの再検証                   | No. 922 | 櫻尾 隆之     | 40  |
| 馬祖諸島訪問記                           | No. 619 | 鈴木 幸男     | 44  |
| <b>シリーズ「南の会のお仕事」</b>              |         |           |     |
| 会員部会のお話(熊八閑話 くまはちかんわ)             |         | 会員部会      | 48  |
| <b>シリーズ「お役立ち情報」</b>               |         |           |     |
| 旅のお供はマイレージ                        | No. 813 | 石渡 清志、典子  | 50  |
| 海外での通信手段                          | No. 60  | 渡辺 義郎     | 57  |
| 支部便り                              |         |           | 62  |
| 部会伝言板                             |         |           | 68  |
| 編集後記                              |         |           | 69  |
| 会費納入のご案内                          |         |           | 70  |

# 新年のご挨拶

南国暮らしの会 理事長 No.712 高田 勝弘

新年明けましておめでとうございます。

昨年度はロングステイに ショウトステイに、また下見ツアーにと多くの会員の皆様が思い思いに海外にお出かけになり無事故で夫々の良い思い出をつくられたことをお互いに喜び合いたいと思います。

また その蔭には本部運営の各理事 各委員の方々 更に各地域の支部の支部長さんを中心とした各役員の皆様のご尽力があったからこそと心より感謝申し上げます。

本年も多くの会員の皆様のご健康でご活躍されることを また会の一層の充実 発展を期待し皆様でよい年にしていきたいと希望します。

さて 当会の目的である第二の人生の一つの選択肢として海外での生活をしよう ロングステイをしようと言うことを愚考するに ロングステイと言う言葉の定義はあったとしても杓子定規にそれに囚われる必要はないと思います。それどころか百人のロングステイアーがいらっしゃれば百通りのロングステイのやり方があって然るべきではないかと思えます。無理に規定すればロングステイとは海外に移住すると言うことでもなく 国籍を変えることでもなくあくまでも生活の基盤は日本に置き一年に何回か長期 短期にかかわらず海外にある期間ステイするか リタイアビザを取得し年間を通じステイし たまには帰国すると言うようなことでしょうか。更に拡大すれば高齢になって海外まで出かけるのが面倒になってくれば日本国内で気候に応じて場所を選択しステイすることもロングステイと称しても良いのではないのでしょうか。

私達の南の会にはロングステイの専門家 研究者と称される方は特におられないと思います。然しながら 会報部会の方々のご苦勞により 多

くの会員の皆様のご協力のもと年間4冊もの会報が発刊されております。会報には会員の皆様の貴重な生きた体験が珠玉のように掲載されております。



それはそのまま南の会の歴史とも言えるでしょう。そしてこうした積み重ねがまた多くの会員の方々が海外にロングステイする場合に不安なくトライすることが出来 また新しい体験が生まれて 次の方が楽しくロングステイをやり易くしているのだと思います。それに加えて南の会の支部組織の充実が支部の方々が親身になって訪問者の会員の方をお世話くださる仕組みになっており これもまたすばらしい相互扶助となっております。

当南の会NPO法人も設立より早いもので本年は10年になります。それは諸先輩のなげない功績により当会が10年と言う継続と持続と発展をしてきた要因であると確信します。本年はこうした会の一区切りとして10周年記念行事を開催したいと考えております。既に実行委員会も発足させ委員の人選もさせて頂いております。これから行事の内容を委員会で検討し全会員が喜んで頂けるような行事にしていきたいと思えます。各会員皆様におきましても良いご提案がございましたら支部を通して具申方よろしくお願い致します。

当会は会員の皆様全員の為の会です。今後ともより良く会が発展し ロングステイを皆さんで楽しめることに貢献できる会の建設に皆様と共に努力していける会にしていきたいと願うものです。

最後に現在当会にてロングステイされている会員の方は本当に幸せだと思います。ロングステイをご夫婦でも お一人でも思いのまま出来るという事はいろいろな条件をクリアしなければ出来ないと思います。当会の会員になっても家族の状況 諸般の状況により思うようにはロングステイがまだ出来ない方も少なからずいらっしゃると思います。

またご自宅のご近所で私達と同年輩の方でどれだけの方がロングステイをしていますでしょうか。私個人的なことですがいつも両隣の方にまたお出かけですかと言われる。したがって

ロングステイを楽しんでいる方は当会 または友好団体に集まれば多勢のようですが 一般的には決して多くはないのではないのでしょうか。従いまして会員同志仲良く 家族のように相互扶助の精神で会を 仲間を 大事にしていききたいものです。

どうか本年も健康第一に楽しいロングステイをしていきましょう。また 皆様にとって有意義な一年であることを心よりお祈りして私の新年のご挨拶とさせていただきます。

## 関東支部特集

### 関東支部 挨拶

関東支部長 No.732 馬場 章介

今年度より関東支部の世話役になりました #732馬場です。はじめに支部の運営について紹介させていただきます。

今関東支部に登録されている会員数は家族会員も含めて約550名と大所帯になっておりますので会の運営は別表(今年の会報・夏季号・VOL.41に掲載済み)のように17人の役員で行っております。

支部としての主な活動は「毎月サロン会を開催する」こととあります。平均毎月80名ほどの参加者がおりますので、会場の確保、プログラムの検討、スピーカー(発表者)の決定、お金の管理、開催の案内、当日の会場設置、受付、懇親会の準備、結果報告、等細かい仕事がたくさんありますので、仕事の負担が特定の人に偏らないで皆で協力し合って運営していくようにしております。皆さんとても協力的でボランティア精神に満ち溢れ、チームワークを大事にして運営に当たっていただいています。毎月サロン会の開催日は第2土曜日か日曜日を原則として午後1時より5時まで行い、その後場所を変えて懇親会を行っております。

会場は殆どJR大崎駅の近くのゲートシティ

大崎ウエストタワー内にある東京都南部労政会館の会議室で行っています。会場につきましては予算的にも足の便においても先輩世話役の方々のご苦勞で、この場所が固定化されております。

関東支部のサロン会の最近の特徴は参加者が多いことと、新しい会員の方々の参加率が高いということです。そしてロングステイ経験の豊かな先輩会員の方からたくさんの経験談を情報として聞くことができるということではないかと思えます。さらに新しい会員の方も「下見ツアー」に行かれた新しい情報もたくさん発表していただいています。会のスローガンも「楽しく、仲良く、情報交換」という合言葉を掲げて、新旧の会員の方々が打ち解けてとても楽しい会になっております。



サロン会前のお世話役打合せ (2008年12月)

しかし、役員一同も苦勞している所もあります。それは参加者が大人数なので会場の予約で、思うようにこちらの希望日とか会場の広さが確保できないことや、同時にマンネリ化を防ぐために毎月のプログラムやスピーカーの決定です。そこで役員の方には毎月サロン会が開催される午前中に同じ会場に集まり皆でミーティングを開いています。テーマは当日のサロン会の準備の確認、今後のサロン会のプログラム作り、会の行事、等です。できるだけ多くの方々に会の運営に参加していただき、多くの会員の皆さんに楽しんでいただけるようディスカッションを繰り返しております。少しずつではありますが新しい企画をとりいれて会の活性化、発展に寄与できればという思いで支部役員一同努力中です。最近では会場でパソコンやプロジェクターを利用してスピーカーは自分で撮ってきた写真を大きなスクリーンに写して説明をしています。写真を見ながら話しを聞くとより臨場感が伝わり、すぐにでも現地に行きたくなる気分になります。

これから多くの人に会の運営に参加していただきより楽しく、役に立つ会にしていきたいと考えておりますので、会員の皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。

最後に、今回の会報の関東支部特集では支部内にあります同好会や仲間作りの活動を中心に編集してみました。ご一読頂ければ幸甚です。

関東支部世話役代表 馬場章介

## 湘 南 会

関東支部 No.470 細田 良子

### 湘南会の誕生

2004年4月に、横浜・中華街の「満珍楼」で第一回目の湘南会が開催されました。14名の出席者がありました。

湘南会が誕生した背景には、当時、関東支部会のサロン会の出席者が100名を越えて、消防法の関係から会場に入ることができず、会場の外で聞いている人が出てきたことがあります。そこで、理事会で地区会を開催することを検討

した結果、湘南会が誕生したのです。

### 懇親会

親睦会は、横浜駅の近くで、お花見の時期や暑気払い、忘年会などのシーズンに開催されています。いつも大体、14～20名の方が参加しています。

親睦会では、マイレージや医療、ビザの取り方、為替など、それぞれが詳しい事柄を、隣同士で口角泡を飛ばし（失礼）ながら話し合っております。

KL、ペナン、チェンマイ、チロル地方、ハワイなど地域もさまざま、前回はドイツでの駐在経験のある方が参加し、詳しい説明をしていただきました。2時間の懇親会はあっという間に過ぎてしまい、話し足りずに殆どの方が目の前の喫茶店に席を移動してまで話し込んで、名残惜しみながら散会しているほどです。

### 5年目を迎えます。

会員の皆様に支えられご協力をして頂き、この3月で湘南会は5年目を迎えます。皆様が「湘南会」をととても楽しみにして下さることが長く続いたことに繋がったと存じます。

当時の理事長から、たまたま私が横浜に住んでいたので「湘南会」をしてくれませんか？と話をしていただきました。私はそんな器ではないと思いましたが、近くに住んでいる人達が集まって「南国で暮らす夢」を共有することができたらと思い、お世話役を引き受けした次第です。幹事の磯崎さんには会員さんへ会場での対応をお願いし、佐藤さんには電話での対応と会計をお願いしています。また歌田さんは昨年「nang



oku shonan」のメーリングリストを作って下さった上、ホームページにアップしていただいたりと、幹事の皆様にはいろいろな面でご協力頂いております。

また会員の皆様も、海外に詳しい方が多くてマイレージ、為替、レストラン、パソコンのこと等の話をして頂き、教えて頂いています。

昨年は「nangoku shonan」を使い、移住する方の壮行会や、中華街に食事に行ったり、また2回目の忘年会を開いたりしました。

今後とも皆様のご協力を得まして活動して行きたいと存じております。

### フィリピンの支部におじゃましました

関東支部 No.1125 佐々木 一信

バギオの斉木支部長のMLに、感銘を受けたのがきっかけで1041中西岩夫さん、チェンマイからマニラで合流の116永島和夫さん夫妻の4人で11月17日～29日の13日間ウルダネータ、バギオ、ダバオ、セブを駆け足でおじゃましました。

中西さんが中心になり斉木支部長と何回もメールで打合せをおこないました。支部長は元旅行代理店にお勤めだった事もありきめ細かく待ち合わせ場所、タクシーやバスの乗り方、料金の支払い方法、バスの休憩場所、トイレの件、車中の景色等細かく教えて頂きました。マニラの岩崎支部長代理とも打合せをして頂きホテルも格安で利用することが、できました。

ご存知のようにフィリピンは先の大戦で日本軍は玉砕し在住の市民も大きな被害を被った所です。在住の多くの南の会会員がそれぞれの所でボランティアとして貢献している姿は特筆されます。

#### (ウルダネータ)

地域的にはバギオが軽井沢ならウルダネータは高崎の位置関係です。マニラからバスで4時間半位、成田ーマニラ間よりバスの時間の方が時間が掛かり遠く感じます。指定されたバス停で降りると支部長が待っていてくれました。



ウルダネータ慰霊碑参拝

当地のホテルはレストランドレインフォレストリゾートにチェックイン、支部長が事前に部屋のチェックをして頂き恐縮の限り。日本大使館の大使や書記官が利用している部屋だそうです。

ホテル内レストランにて支部長を交えて遅めの夕食で明日の打合せの後しばし歓談。

翌18日は支部長がお守りしている慰霊碑の参拝と支部長と奥様が日本語を教えている小学校の訪問です。これらは斉木支部長がMLで発信されていますし、南の会ホームページにも紹介されていますので参照を御願います

しかし実際に参拝し支部長が発見する以前から慰霊碑の清掃を続けている老婆に出迎えてもらい、その経緯を伺うと正にドラマです。

慰霊碑は二日間で3カ所参拝しました。小学校も三校訪問し台風で被害を受けた学校への最後の贈呈式に同席させて頂きました。一昨年東海支部が当地訪問の際寄贈したリコーダーの演奏披露、日本の歌を披露、マーチングバンドの演奏と、それぞれ心のこもった歓迎を受け、貴重な体験が出来ました。

小学校の学費は無料だそうです、卒業まで在学出来るのは恵まれているとの事です。家計の都合で退学する子供が沢山いるとの話は胸が痛くなりました。

斉木支部長が行っているボランティアの重さを感じました。

明るく乗りのいい国民性は微塵の暗さも感じさせないはせめてもの救いです。



ウルダネータ小学校訪問

二日目の夜は斉木ファミリーとメイドさんやスタッフを交えてホテル内でガーデンバーベキューパーティーです。美人の奥様と噂の一人娘ナオミちゃんのモデルウオーグは拍手喝采 さすがフィリピーナはリズム感抜群。ダンスコンテスト、カラオケと遅くまで盛り上がりました。

その日の夕方バギオから私達の為にホテルに会友の山田さんがお見えになり一緒にパーティーを楽しみました。

三日目支部長と山田さんの二台の車に分乗してこれもMLで紹介されているケノンロードを通りバギオに向かいました。米国植民地時代にマニラの避暑地として道路建設が進められ、日本からも2000名以上の人が従事し、最も困難な場所を割り当てられ病気や事故で500名以上が亡くなった所です。主に沖縄からの出稼ぎで日露戦争に日本が勝利した明治38年に完成、その後バギオに残って農業やダバオに移って麻の栽培を行ったそうです。

ケノンロード頂上近くの展望台には工事に従事した米国、日本の記念碑が建っています。

### (バギオ)

山田会友の案内で名門バギオカントリークラブを見学、丁度フィリピン、アメリカの世界最大のコンペが始まるところで一般の人は暫くプレイが出来ません。北海道支部から英語研修で

LS中の会員を交えてクラブハウスの和食レストランで昼食の後、近々入会予定の西廣宅を拝見、ゲートの有る別荘地にひととき立派なお屋敷でフィリピン人の奥様手作りのお菓子、フルーツ、里芋の煮物などをパティオで頂きました。和食料理は絶品でした。

ホテルはバギオプリンスプラザ。夕食は散歩をしながら近くのレストランで。翌日、山田会友の案内で市内、モール、市場等を見学し山田宅を拝見、見晴らしの良い素敵なお住まいでした。

ホテルへ戻る途中バギオ日系人会アボン(小さな家と言う意味)を見学し、そこで、シスター海野さんの話をお聞きました。戦後山に逃げてネズミを食べた話や当時10才位で日本兵に食べられそうになったバギオの名カメラマンフルヤ エイノスケさんにお会いし日系の人の話等をうかがいました。アボンでは200名以上の学費支援をしているそうです。

山田会友は北ルソン日本人会の副代表を努めておりボラティアとしてバギオに根をおろしています。

山田さんはチェンマイ初め各地を下見してバギオに決めたそうで。バギオはナンバーワンではなくオンリーワンと惚れ込んでいます。

二泊の後バスでウルダネータ経由でマニラへ、マニラのネットワークホテルに一泊し翌朝ダバオへ

### (ダバオ)

ダバオに向かう機中で日本大使館の人と同席になりました。ミンダナオ島の戦争状態を視察に行くとのこと。

ウオータフロントインシュラホテルに到着すると、会員の626渡辺勝弥さんが待っていてくれました。その後南の会員が集まり元会員の若林さんも来られ、皆でコーヒーを飲みながら自己紹介や現地情報等しばしの談笑。夕食は若林勝弥さん宅で手作りの和食で乾杯。



ダバオ情報交換会

翌日は会員のお宅を拝見させて頂きました。家賃は2DKタイプで9000P～12000P（18000円～24000円）のマンションに住まわれている方が多いようです。光熱費、食費、その他で合計35000P（70000円）がフィリピンではかなり上流生活のようです。多くの会員がボランティアをしているようで、領事館主催の天皇誕生パーティーに何人かの南の会員が招待されたそうです。

日系人会館を視察しました。浄土真宗の住職が主体に幼稚園から大学まで運営しており立派なゲスト用宿泊設備もあります。ここにも会員がボランティアで参加されているとのこと。

ダバオは山と海が有りダイビング、ゴルフとLSの地域として、有力選択肢の一つだと感じます。難点は日本からの直行便が無いことでしょうか。

皆さん穏やかに、楽しく過ごされています。ゴルフをする予定でしたが朝からシトシト雨で中止になり無念。午後モールのカフェテリアでみんなとお茶会で談笑。楽しい時を過ごしました。

### (セブ)

11月26日空路セブに入りました。ホテルは岩崎支部長代理お薦めのマルコポーロプラザです。規模も大きく素晴らしいホテルです。午後例のアヤラのスターバックスで鶴岡セブ支部長代理とお会いし滞在中のスケジュールなどを打合せをしました。アヤラのモールはどこの国に有っても遜色ない美しく立派なモールです。

夕食は最近開店した川上前支部長の和食レストランへ

すると在住の南の会員が食事に来店、個室へ移動ししばし歓談。

翌26日はビーチでのんびり

27日は川上前支部長とゴルフです。アルタヴィスタカントリーは各ホールから海が見渡せて素晴らしいコースでしたが、スコアとは関係無いようです。

その後川上さんの車で山の方へドライブ。夜は鶴岡さんが食事会を催して頂き関西支部の方も合流して楽しい時間を過ごしました。

セブ支部の方はゴルフ、ダイビングとそれぞれ趣味を謳歌しているようでした。



スターバックス・ミーティング

最後にフィリピンは「10%のお金持ちと90%の貧困層。6%のお金持ちが国土の60%を持っている」現状は考えさせられます。

ダバオで一般の普通の住宅を見学しました。私が小さな頃焼け野原にバラックの家に住んでいる人が沢山いました。その頃を思い出してしまいました。

今までチェンマイ、バンコク、ペナン、バリ、キャメロンそして今回のフィリピン同じ南の国でも各国、各地過ごし方がありそれぞれ素敵だと思いました。

今回の訪問では各支部支部長様、役員、在住の方、会友の方本当にお世話になり初対面の私達を暖かく迎えて頂き本当に南の会は素晴らしい会だなど痛感致しました。

## ユーレイルパスの旅

関東支部 No.1168 迫野 正彦

### 1. 初めに予行演習を？

昔からヨーロッパの鉄道は「いつか」の憧れのひとつだった。ヨーロッパの国境は陸続き域内間移動は電車が主流。予約なしで制約の少ない自由な旅行が可能なユーレイルパスの存在は知っていた。

昨年6月に会社を辞めてパス利用の旅が本年になってやっと実現した。何が何でもまず第1番に英独仏の電車に乗らねばのこだわりもなく、またどんな型式の電車に乗りたくかマニアックな思い入れも乏しい。ともかくもそのパスを利用して街から街をゆっくり周遊したい。気ままに尋ね歩いて見たい。気力・体力・小金力のあるこの5～6年の間にせっせとしかも「あれから40年の」カミさんと一緒に仲良く！

その後「南の街に暮らすか？ 渡り鳥を選らぶか？」お言葉を承ってからでも遅くない。

### ① 出発前の組立て

折角行くからにはどこの国へ行きたいのか二人で思いつくままに書き並べてみてスイスが真っ先に、次点はオランダ・ベルギー。いずれも国土がこじんまりしているから無理なスケジュールにならないだろうと踏んだ。（親しい先輩夫妻がスイスに魅せられて毎年ツアーを重ね常々そのすばらしさを聞かされてもいた。）

スイスは本命、予行演習にオランダ・ベルギーを決め5月出発で3週間の周遊スケジュールを組んだ。行きたい街々・ルートを大まかに決めてヨーロッパ旅行の教科書のひとつ「トーマスクック時刻表」としばらくは首引き。

ともかく使い方を理解するのにくたびれた、時間が掛かった、活字が小さいアルファベットと数字の行列、オマケに日本語がない。

目薬を離せなかったが充足感が残った。

### ② 目的地の選択

○オランダ 江戸の昔からお世話になった国なのだけど？ 風車とチューリップと？ カミさんと何冊かの本を読み込んでリストアップした。

- ・オランダの国土を造った「風車」を見たい
- ・アムステルダム「運河」を見たい。
- ・「デルフトの眺望」を見たい。
- ・ライデンの「シーボルトハウス」に行きたい。

○ベルギー

- ・ビアカフェを回ってベルギービールを。
- ・ムール貝とフリッツとチョコレートも。
- ・ワテルローの「ライオンの像」も。
- ・ブルージュ聖母教会の「ミケランジェロ」も。

### ③ 日数の設定

ついでにフランスもと30日で欲張ったが諸般の事情から2ヶ国・滞在都市4ヶ所に絞る。（初めての鉄道旅行 長すぎると熟年離婚の原因になる...？ 避けて→5月11日～6月3日の23日間とした。

|      | 当初  | 計画  |           |
|------|-----|-----|-----------|
| オランダ | 8   | 12  | アムステルダム8日 |
| ベルギー | 6   | 10  | デンハーグ4日   |
| フランス | 14  |     | ブルージュ4日   |
| 機中   | 2   | 1   | ブリュッセル6日  |
|      | 30日 | 23日 |           |

### ④ 掛かった金額

予算：100万円/2名 →実績：85万円/2名：旅行期間中の平均レート165円/1€

○雑感 知識不足の二つの国は地勢上EU圏の中心のひとつ、活気がありユーレイルパス初体験の滑り出しはあれれ おっととつ。

アムステルダムは数世紀前の輝かしい時代の栄光が残像として残る街並み景観、美術館、歴

史の重みを感じさせる石畳に街歩きの楽しさを満喫したが いたる所にある落書き建造物他おそろしく汚い!! 又あらゆる場所に無造作に捨てられているごみの多さに閉口し呆れもした。

ブルージュで一息二息もついた、ベルギービールのうまさは格別だった。



観光資源は豊富、世界的に有名なキューケンホフ公園は敬遠した。勿論長蛇の列もなくかつ安い料金でここかしこと見物ができた。いつか再訪したい心残りの街や村は街角のカフェやベンチで永い昼間の時間を過ごした。

目的のユーレイルパス演習/ヨーロッパ鉄道旅のイロハはそれなりに理解が進んだ!?

カミさんもお慶びニコニコで帰国する。

## 2. いよいよスイスの旅に

オランダ・ベルギーより帰国後 7月下旬のチエンマイ出発までの間にスイス計画をスター



二人で行きました

トする。先ず「24日間の旅は少し長いわー。」退職後の生活リズム「ゆっくり のんびり」を織り込むことを第一に。

「もうムリが効かない年代なのヨ!!」ギ論の末 2週間前後で詔勅が下る。

### ① 予行の(反省)見直し

○ホテルは

全て事前予約に。→ 前は数ヶ所ネット予約したが現地でのホテル探しはかなりのストレス。

- ・中央駅、トラム停留所より徒歩5分前後の場所を選ぶ。(鉄道利用にロスが少ない、街歩きの中途でも帰れる。)
- ・ホテル予算は20,000円以内/室ツイン/バス付にこだわる。星の数は★★以上。
- ・エレベーター/リフトのないホテルは除外。(プチホテルは幅の狭い急階段が多くて上り下りは閉口した。)

○ユーレイルパスは

フリーパス(通用日連続利用タイプ)に。→ 前回フレキシブルパス(通用日選択タイプ)

- ・毎日乗車OKとし。1日1ヶ所の観光と”折角だから...”を心して休息時間を確保する。
- ・電車等級は2等から1等に。→ 混雑、保安対策/バリテーションを日本で済ませ、指定席予約は天候、体調の不安を考え氷河特急のみに。

○手荷物の減量

ふたりで20kgを目標。→ 前回40.5kg(バッグの上げ下ろしがより楽な重量に。)

◎◎体調維持の留意点◎◎

\*食事はランチを必ずとる。→ 毎日ビール2~3杯/ブランチにビアカフェ、3時にビールとフリッツ・チーズの循環を反省。たまのランチは量が多く過食し、夜は食べられない拒食が続き体調を崩す一因に。

\*ヨーロッパの5月、いつもはお寝みの夜間22時前日没 時間を忘れいくつかの未知の街を散策した。おまけに日の出も早い6時前。歩き疲れ高名な夜景はほとんど夢の中...と。

寝不足がたたり～スタミナ切れ。

\*人通りの少ない路地とかを敬遠する最低限の自戒と注意を怠らなければ安全と？ ただ運よく緊張する場面は少なかった。

## ② スイス行きのスタート

東京の秋は心静かな黄葉の季節 我々年代は秋がベスト！？ スイスの街も先輩が魅せられた山々もきっと静か！ カミさんの誕生日を現地で迎えらるるように10月中旬頃の出発を考えた。

計画作りは最も時間を割いた。ゆとりのある2週間前後の詔、5月の経験をベースに時刻表（トーマスクック）とスイスの地図を行ったり来たり。ホテル予約メールのやりとり。

そして優れものSBBスイス国鉄ネット検索はその豊富な情報量に敬服、感動しながら熱中。気がつくとき夜もしばしばとなる。

荷物重量半分への道はチェンマイから帰京以降 夏モードから冬モードへの切り替えもあったが衣類をバツサリ。

## ③ まとめた計画

- ・スイスの鉄道に乗る。→（SBB、私鉄、ローカル線、登山鉄道、ロープウェイ、ケーブルカーも。） 思い入れ電車ベスト3は
  - 1)ゴルナーグラート鉄道
  - 2)ベルニナ鉄道
  - 3)氷河特急（全線）と欲張って。
- ・ゴルナーグラートホテルに泊まる。→ マッターホルンを「ボー～」と眺めよう。
- ・静かなスイスリゾートに何日か。→ ホテルのテラスでワインをビールを飲みながら...
- ・ベルン/パウル・クレーセンターは必ず。（スイス映画「マルタのやさしい刺繍」の街）
- ・どこかで ちょこっとハイキングを（10月初旬までに何度か降雪の報。→ ストックとスパッツを持参へ）
- ・遊覧船に乗る。→ 地元の人気情報：チューリッヒ湖を候補に。
- ・ラヴォー地区ブドウ畑。→ HISのお嬢さんに強く推薦され追加 ベルン3泊を2泊に。

④ 先ず予約を 6月下旬 最大難関ゴルナーグラートホテルの予約をHISに依頼。（10月中旬の特定日を挟んだ3日間。）このホテル予約確定にあわせて、今回のスケジュールを2週間/10月14日～29日に決める。

予約の時期：

- ・ゴルナーグラートホテル→7月15日予約。
- ・スイス航空→7月18日。
- ・ユーレイルパス →8月下旬。
- ・氷河特急指定券 →8月末。
- ・その他のホテル→7月中旬～10月初旬。（ルート変更も度々で宿泊場所も転々。）

## ⑤ 情報収集（参考本ほか）

◎トーマスクック時刻表

◎スイス政府観光局パンフレット

ネットで郵送依頼した有料パンフレット類/わかりやすい入門書、非常に役立つ。//現地（駅構内・観光案内所）にあふれるパンフレット、携帯時刻表も大半無料です。//

◎インターネット検索

SBB（スイス国鉄）サイトは ホテル、バス停、地図まで検索できる優れもの！！（使い方が理解できると その面白さにはまる。）  
\*「地球の歩き方」は複数執筆者の意思優先？ 読者向きの編集に乏しくガッカリ連鎖。（出発前の参考書程度）むしろ「るるぶ」を必携。

## 3. スイス本番

スイスの秋は10月中旬を境に冬季のハイ・シーズンまでの中休み？オフに入る。

利用した電車の乗車率は全行程を通して0%～50%のお召し列車状態にニンマリ。特筆区間はサンモリッツ～ティラノ間 片道2時間半のベルニナ鉄道をフリー席で往復したが、電車一輛ほぼ二人だけの貸切、沿線の絶景ショーを車窓に/ハコの中を前方～後方～左～右とそのまた逆と・・・/興奮状態が途切れなかった。

重量バッグは駅預けの別送システム（ライゼゲベック/これはスイス国鉄の優れたシステムのひとつ）のお陰で大半の移動日は軽バッグと

ザックを背負って～この国を北東から南そして西へ、又北西へと移動する間に落葉松が黄葉の初秋から落葉する晩秋を見とどけて初冬の積雪をも踏んだ。

そして電車で海拔408mのチューリッヒから森林限界を超える3100mの高山へ楽々と移動できる、これがスイス。

大勢の団体ツアーが押し寄せるルツェルン・グリンデルワルトコースを外せばより静かだと踏んでいたが、恐るべしH社・K社・J社の20～40人規模ツアーに何ヶ所かで遭遇する。

天気の崩れはホテルでゆっくりの心づもりが

雨 霧 雪の天候は夜半や移動日に集中。行動日は晴天続きで暖かな秋が迎えてくれた。

なかでもより平坦に広く整備されたハイキング道はゆったりと歩けるさわやか遊歩路！！

高齢者が、幼児が、赤ちゃんを背負って、愛犬と、MTバイクで、様々なスタイルのカップル/家族連れなど少人数グループが三々五々。雰囲気は釣られてその仲間に入れてもらった。ヨタヨタと予定以上のウォーキングを重ねてしまったが一員の楽しさは忘れ難い思い出となる。

列をなして急ぎ足で追い抜いて行く大団体の日本ツアーは、同胞からみてもゆとりなく不自然に見えた。



ゴルナーグラート鉄道 終着駅

ゴルナーグラートホテルは現地手違いの謝罪か？窓が5箇所もある部屋モンテローザ4634号室に滞在の幸運も。5月の予行は常に周囲を警戒しながら旅したが、この国はその警戒心をとく自然体のおもてなし、さりげない親切など包容力があつた。

観光立国スイス連邦、つとに言われる勤勉・実直な国民性そのままに美しくクリーンに保たれている風土が行く先々に。小さな国土に世界中の観光客をひきつける大きなエネルギーを抱えるこの一流な国を2週間だけ経験した。

そのSBB（スイス国鉄）の目指すサービスが「安全 正確 清潔」「早い電車を作ることよりお客を立たせない努力」とのこと。

帰国時はベルン駅で5時間後に出発のスイス航空へのチェックインができた。

そのベルン駅頭で冬時間に移行後日本と変わらぬ足早の通勤者群を見ていた。頑張つて！我々は今日も明日もお休み。

「また来年もいかがでしょうか？」

「いいわよ またいつでも。」詔あり。



ベルニナ鉄道の橋

## 上海 郷愁

関東支部 No.1068 山科 滋雄

### 4. 帰国後に

海外旅行に行くとは折角の旅！「郷に入れば郷のものを食べるのよ！」カミさんの言に日本食、中華を選ばないでいる、今回も特にチーズやパンやチョコレート個々の抜群な切れ味は、うれしくしかも安くてとても適わないが、昼食・夕食時の野菜やサラダ類の少ないこと！ ジャガイモやチーズベースの料理とソーセージ群の毎日にはとっくに飽きてしまう。

メタボ話題に的外れの3XL以上の大柄な老若をお店では沢山見かけたがメインは勿論 大量なデザートのおいっぷりは更に引いてしまう。口がお迎えに行く白ワインはせっせと飲んだ。

先日 東京（日本）は世界一の美食の街とミシュランガイド評価が発表された。その尻馬にのって敢えて、あえていう！！

日本の食/文化は文句なくすばらしい。兎も角に食べものがなんでもおいしい。しかも安くて早くてうまい、お店もいろいろ。何故だろう欧米人の味覚は、そのレパートリーの少なさ？日本人の舌が繊細過ぎる！その一員のしあわせ！？

5月からのチーズ、ソーセージ、ジャガイモから解放されて何回目かのごひいきラーメンを食べながら思う。

又 あれほど感動の連続だったスイスの鉄道、アルプスの山々、湖、マッターホルンの凜とした山容も遠くに忘れて。帰国直後に成田線沿線の刈り田に「ホー」と見とれてカミさんとうなずく たった2週間不在で思う。

1ヶ月遅れでやってきた自宅近くの街路樹ケヤキの黄葉 青く高い秋空 日本のおよさを再認識。「いいな～日本は！」しかし鉄道の旅はまた別である。

「おっと その前に日本の誇る電車に乗って温泉に行きたいな～。」

### 5. 掛かった金額

予算80万円/2名 実績76万円/2名（お土産品除く）

(1) 当会では「南国」の対象として上海が話題になったことがないように思われます。

小生は過去の駐在経験より（2003年～2006年）、上海ローカルの友人もおりますので、毎年2回位 家内と共に里帰り感覚でショートステイ（10泊/回 程度）を繰り返しております。

クアラルンプールにも駐在経験がございますので（1997年～2000年）、同様に里帰り感覚でショートステイを繰り返しておりますが（1～2回/年）、ここでは上海について報告させていただきます。

(2) 駐在時代に住んでいたコンドミニアム（古北 名都城）にホテルが併設されているので、いつも格安で利用させて頂き、馴染みのレストラン（和 洋 中 韓）に顔を出し、ローカル及び在上海の日本の友人と旧交を温めております（観光はあまりせず ゴルフは2回位）。

(3) 何故上海なの？と良く質問されます。

上記のように里帰り感覚なのでこれといった決定打があるわけではございません。

多分以下のような自己陶醉 自己満足ではないでしょうか。

(A) 仕事で利害関係の無いローカル及び日本の友人が非常に親切にしてくれる。

(B) プラタナスが生い茂る昔のままの姿を残した市内の並木道や外灘地区にアヘン戦争以降の歴史の面影がある。

(C) 浦東地区の超高層ビル等に新旧中国の「時代の大きな格差」が感じられる（駐在中に中国各地の有名な歴史的遺産は結構探索致しました）。

(D) 本場の中国料理（特に上海料理）が味わえる。

(E) ショッピングで価格交渉を楽しめるところが多い（上海に限りませんが）。

(F) 安心して乗れるタクシーが多い（中国では誠にめずらしく 忘れ物が戻ってくる）。

(4) ご存知とは思いますが、簡単に上海を紹介しておきます。

人口 1,800 万人の上海市は鹿児島とほぼ同緯度、揚子江（長江）流域の玄関口で総面積 6,341 平方km。気候は日本同様四季の変化があり、大阪に似ていると言われております。

「政治は北京、経済は上海」と評されているように、上海は中国最大の経済と貿易の中心地、インターナショナル シティです。美食家にとっては大変楽しい街で、各種中国料理はもとより、世界各国の料理が揃っており、日本料理店は 300 軒以上あるのではないかと考えております（日本人のいない日本料理店も多くあります）。

最近 中国の食の安全が問題になっておりますが、気にしていたら住めません。自己責任で対応していくしかないと思っております。

(5) 上海としての歴史は他地区と比較したら新しいので、寒山寺（蘇州）のような古い有名なお寺はないのですが、一般的なお勧め観光スポットは以下のようなところです。

- 外灘（バンド）・・・黄浦江沿いの旧租界地。  
ヨーロッパ風の街並み。和平飯店が有名。
- 上海博物館　・・・12 万点に及ぶ中国歴代のコレクションを展示、中でも銅器が有名。
- 豫園　・・・明代の庭園。まわりの商店街は高級品から低級品まで異常に安く購入出来ますが（品質？）、価格交渉が不可欠であり、又楽しみ。
- 玉仏寺　・・・1882 年建造、ひすい製の玉仏二尊（座像、臥像）が有名。
- 新天地　・・・旧民家をモダンレストラン・ショップ等に改築、上海では現在一番ファッショナブルなところとして有名。青山・六本木に相当か？
- 東方明珠　・・・1994 年設立のTV塔、アジアではNo1（468 m）。展望台からの景色は絶景です。
- 上海雑技団　・・・上海市内に会場が 3 箇所あり（曲芸ショー）、必見の価値あり。オリンピック等体操競技での中国の強さが理

解出来ます。  
(注意) 2004 年 5 月 1 日に道路交通法が改正され「横断歩道に歩行者がいる時は、車両は停止すること」となりました、という以前は？  
現在でもほとんど守られておりませんので、歩行時はくれぐれもご注意を！！

**タイ 雑 感**  
関東支部 No.510 土屋 雅司

**1. バンコク、ナナ地区**

バンコクは私にとってもっとも愛すべき都市の一つといってもよい。ここに来るとなぜか安心して、ほっととする。

この数年、春と秋にはアジアの国々へ二週間ほどの旅行に出かけている。ベトナム、ミャンマー、ラオス、カンボジア、セブ島、プーケット島、毎回楽しい貧乏旅行をしている。

これらの国へ行くときはバンコクを經由してゆくので、必ず往復三泊ずつする。

即ち、二週間ほどの旅行はバンコクで一週間と目的地での一週間ずつぶれてしまう。個人的にヨーロッパへ旅行する時でさえも、バンコク經由で切符を取りバンコクで時間を過ごしている。

バンコクには常宿がある。そこは下町のナナと言う地域にあり、スイスパークホテルと言う。奥まった路地裏にある二十階建てのプール付きのホテルだが、国際ホテルのイメージとは程遠く、うらぶれた場末のビジネスホテルの感である。

私が顔を出すとフロントの女性が顔を覚えてくれており、にっこりと笑いながら「お待ちしておりました」と、迎えてくれる。

そして、一番安いシングルルームの値段でワンランク上の広いスイートルームを提供してくれる。長年の利用で支配人と親しくなったからの特典であろうか、嬉しい限りである。

このホテルが好きなのは従業員の暖かさもさることながら、駅から三分という立地条件が素晴らしい。ホテルへ続く百メートル程の路地の両側には三軒のタイ式マッサージ店が並び、早仕立てで有名な洋服屋や土産物屋、近所の人々

でござった返す定食屋があり、インターネットカフェも揃っている。この路地だけで、飲む、食べる、マッサージ、インターネットら、私の要求は全て満足される。

路地のにおいが素晴らしい。汗のにおい、ホコリのにおい、定食屋の煙と一緒に流れてくるタイ料理の魚醤のにおい、それらが渾然となつて、なんとも説明できないにおいを作っている。湿度が高く、すぐにじっとり汗ばんでくる町の中にこのにおいが充満してくると、最初のころは思わずむっとしたものだったが、慣れてくると、懐かしく感じるようになった。

バンコクは色いろな顔を持っている。丸の内を思わず官庁街はサイアム地区にあり、有名ブランドのお店はシットロム地区に立ち並び、若い女性で賑わっている。インド人街や中華街もある。幹線道路は車で溢れ、その間をバイクタクシーが縫うように走っている。

活気でみなぎっているが、排気ガスとホコリで顔はすぐ真っ黒になってしまう。自転車や、バイクは月光仮面のような大きなマスクをかぶって運転している者もいる。

この、ナナという地区はさしずめ、錦糸町か新小岩というところか。あまり垢抜けていないが、町は朝から晩まで人で溢れ、皆生き生きしている。

駅近くのナナプラザという一角はバーや飲食店が連なる一大歓楽街である。灯りがともる頃になると百軒以上もあるゴーゴーバーやオカマバーが営業を始める。

赤や緑、ピンクに点滅するネオンの下で、耳をつんざくような音量のジャズやロックが流れる。半裸に近い若いホステスが店の外まで出て、嬌声を張り上げ、客引きをしている。お客は欧米人ばかりで日本人はほとんどいない。

バーの二階にあるテラスの止まり木でビールを片手にそんな光景を見ているとあまりの迫力に圧倒される。そして、ここでの喧騒は未明まで続く。

ほこりと喧騒、あのにおいがある限り、今後

もこのホテルを基点にしてアジアの国への旅を続けるつもりでいる。

## 2. オトコ、オンナ、そしてオカマ

タイの女性は働き者である。小さな子供を抱いて、大通りで屋台の店を出しているのはたいてい元気な女性たちである。並んでいる屋台でお互いに商品や食材を融通し合い、懸命に働いている。

タイはまだまだ貧しい国だが、女性たちはたくましく元気である。それに引き換え、男たちはからっきしだらしなく見える。屋台の横で車座になり、日中からトランプ博打に熱中している。横ではカミサンさんたちが愛嬌を振りまき商売をしているというのに。

タイの男たちがだらしないという話はよく耳にする。現地では何度もタイ古式マッサージを受けてリラックスしているが、そこのおばさんが愚痴をこぼす。「タイのオトコはダメだよ、働かない、浮気をする、平気でうそをつく、博打好き」

屋台での男女を見ているとそんな気もする。

初めてバンコクを旅行したときに驚いたことはオカマの多いことであった。夜の街にオカマバーや、オカマショーがあることは別に変でもなかった。日本にもそんなところはある。

昼食のために現地の駐在員に連れられて高級なイタリアンのレストランへ行ったときであった。髪長い清楚な笑顔のウエイトレスが実はオカマであった。はじめは気づかなかったが、駐在員が「あれはオカマだよ」と、言ったので気がついた。まったく普通に働いており、仕事振りは手際よく、お客に対する笑顔も明るく気持ち良い。お客も普通に受け入れている。

しばらく日を置いて、バンコクの日抜き通りにある伊勢丹デパートへ行ってみた。カメラの電池を買うためである。カメラショップで応対してくれた店員もオカマであった。デパートの制服に身を包んでにこやかに応対してくれる。

日本人の感覚ではオカマは特殊な世界の人で、

ひっそりと社会の片隅に生きていたと思っていたが、ここでは堂々としており、それを誰も不思議と思わない。

そんな目でバンコク町を観察してみると、いるわいるわ、あちこちにたくさんのおカマ。お店の売り子、パーマ屋さん、レストラン、町を歩き交う人の中にもよく目にする。

この国には性として、オトコ、オンナ、そしてオカマ、と三種類あるようだ。

オカマという性の人たちが一般社会の中で何の違和感も無く、一体となって存在していることが不思議であった。

なぜオカマが大手を振って闊歩できる社会なのか、多分、そこには歴史的な理由や社会的な理由があると思うが、私にとってはいまだ不明である。

### 3. バンコク、スワンヌプーム国際空港でのこと

定年退職をした会社の同僚O氏とバンコクを経由してミャンマーへ旅行することになった。ミャンマーには二年前からホテルで一人暮らしているやはり定年退職仲間のA氏がいる。

我々三人は現役で働いていたときから懇意にしており、やれゴルフだ、飲み会だ、とってはつるんで遊んでいた仲間である。

今回の旅行もA氏が滞在しているホテルに四泊ほどの予定で、たぶん連日、連夜、誰かの部屋に集まりジジイたちの大宴会が始まることであろう。久しぶりの仲間との酒盛りが楽しみであった。

私とO氏は相談して酒やつまみを日本から持参することにした。ミャンマーのA氏に酒の好みも聞いてみた。彼はサントリーの「響き」を飲みたいという。日本の酒屋で一万円以上もする高級ウイスキーである。私がつまみを買ってO氏が「響き」の担当である。

出発の当日O氏と成田空港で待ち合わせて、出国手続きを済ませた。彼は「響き」を成田の免税店で買うつもりらしい。何と一本六千円で買えるではないか。やはり免税店は安い。

免税店で品物を購入する場合は航空券を見せなければならない。「バンコク経由ミャンマー

ですか、もしかしたらバンコクの空港でセキュリティーチェックの際に引っかかるかも知れませんが、分かりません」

ショップの女性の心配そうな声があった。「大丈夫だよ、なんとかなるよ」 O氏は支払いを済ませて「響き」を機内持ち込み手荷物として搭乗した。

約六時間の飛行でバンコク国際空港へ到着した。スワンヌプーム空港と言い、昨年夏にオープンしたばかりのピカピカの空港である。

ここでミャンマー行きの飛行機へ乗り換える予定である。その間、私もミャンマーのA氏への土産にバーボンウイスキーを買うことにした。千五百円ほどで購入でき、やはり安い。当然航空券を見せなければならない。

店員は私の航空券を確認すると、ウイスキーを透明のビニール袋に入れて袋を黒いテープで厳重に封印し、「この袋はミャンマーへ着くまで開けないで下さい」と、注意し、渡してくれた。私は一瞬、O氏が持参した「響き」が頭に浮かび、〈やばいかな〉と思った。

いよいよミャンマー行きの飛行機への搭乗である。搭乗ゲートの入り口には案の定、セキュリティーチェックのカウンターがあり乗客一人一人の荷物がチェックされている。

女性の香水、クリームら液体系は全てビニール袋に詰め替えられている。そして、ペットボトルの飲み物は没収されている。液体爆弾対策である。O氏の「響き」も持ち込みは不可とのことであった。成田の免税店で買った旨を説明したが、頑としてノーであった。

一万円以上もする「響き」をあきらめる訳には行かない。いまだかつてそんな高級ウイスキーを飲んだことはない。ここで没収されて係官たちの宴会の酒にされたのでは悔しいではないか。私は目の前で係官とやり合っているO氏の袖を引いて、「ここは引き下がって、搭乗はあとにしようよ」と言い、「響き」を抱えて少し時間を稼ぐことにした。そんなことをしたところでこのウイスキーを機内に持ち込むことは無理で

ある。

搭乗の列を少し離れ、二人は待合のイスに腰かけて思案していた。やがて、二人、目が会うと、「やるか」と言うことになった。悔しいからここで飲んでしまおうと言うことである。

コップも何もない。水もない。つまみもない。「響き」を袋から取り出し、栓をあけた。ビンの中からウイスキー独特の香りがホワーッと漂い、しばらくその香りを楽しんだ。

二人はウイスキーのビンを交互に口に当て、「響き」のラッパ飲みである。口の中にビンを入れるとまるやかで香りの良い液体が舌の上に広がる。さすがに高級酒は美味しい。ここに水と氷とつまみがあったら最高である。私が少し飲むと次は〇氏の番である。彼も美味そうに飲む。やけっぱちだ。

私たちの前を搭乗の客が通ってゆく。チラチラとこちらを見る彼らにはどう映ったことだろうか。還暦を過ぎた日本のジジイが二人、一本のウイスキーをブツブツ言いながら回し飲みしている。

三十分ほどすると三分の一ぐらい飲んでしまった。そして、飛行機の出発時間がせまったので、残りのウイスキーはトイレに捨て、二人は真っ赤な顔をしながらも無事、機上の人となった。

ウイスキーのラッパ飲みは酔いが速く回り、機内ではぐっすりと眠ってしまい、お陰であるという間に目的地のヤンゴン国際空港へ到着していた。

### 旅行先でのノートパッド活用について

関東支部 No.1187 大滝 美保子

いつも楽しく、素晴らしい貴重な情報有難うございます。

今回海外での自分のパスポート番号・チケット番号・カード番号など保存方法を紹介したいと思います。

私はほとんどパソコンを持っていかずにサンディスクのUSBで保存しています。ヤフーのノートパッドに旅行中に必要な情報も入れています。ノートパッドはヤフーのメールの下について

います。(もちろん無料です。)

ノートパッドを開き、まずホルダーを作り例えば旅行のホルダーの中にノートを作っていく。旅行のホルダーにマイレージ・航空券・パスポート番号・滞在先住所と項目を分けて入れていく。ノートは追加でどんどん増やして作れます。

例えば各航空会社のマイレージ番号&パスワードと航空会社のHPアドレスも貼り付けておくとネットのスピードが遅い海外でもスムーズに開けます。

航空券も最近はイーチケットですのでチケット番号をノートに記録しておく。日程表も前もってノートにしておくのととても便利です。

あと金融のホルダーにクレジットのノートを作り、クレジット番号とカード会社の電話番号もノートにおく。カード番号とカード裏に書いてある番号(サインの白い部分に印字してある番号の下3桁をよく使いますのでそれも記入しておく。旅行中にもしカード紛失しても大丈夫なように整理しておく。

又、国別でホルダーを分けて情報を整理しても便利かと思います。

私は料理レシピもノートパッドで整理しています。とても便利です。

もしセキュリティが心配な方はブリーフケースにパスワードをつけて保存も出来ます。紙で保存するより便利で情報を何度でも入れ替え出来ますのでとても便利かと思います。(美味しいチェンマイの食堂リストやマッサージリストなどもいろいろくと忘れてしまう事もメモすると便利です。)

私は旅行中、今度帰ったらこれを準備してとかいろいろ思い浮かべますが、帰ってくると忘れてしまいます。まずやるべきことリストのメモもこのノートに入れます。帰国すると忙しいのでノートパッドうまく活用すると便利です。

Googleはメールは素晴らしいですが、このようなサービスはまだ充実していません。ホルダーで分けて整理しておく、とても便利な機能です。

もしパソコン持って行って大丈夫な方で、情報のセキュリティが心配な場合はワードにパスワードをかけて保存しておく心配ありません。

何かと情報氾濫する時代ですので自分の日記帳代わりで活用するとよいかと思ます。

最後に国内線使用済みチケットでNW航空のマイレージ 500 マイルをもらえます。JAL（日本航空）、ANA（全日空）、スカイマークなど日本国内線であれば、航空会社、路線、クラスは問いません！「日本 500 マイルプレゼント」でここ何年かやっています。使わなくなった航空券の半券をNWに送るだけで片道 500 マイルプレゼントでもらえます。何マイルでも上限なくもらえるようです。詳しくはNWのHPでどうぞ（過去のものも大丈夫なようです）。

<http://www.nwa.com/jp/jp/travel/nwapr/worldperks/JAPAN500.html>

来年はマレーシア・チェンマイ・台湾・フィリピンと是非回ってみたいと思っています。皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

## 東京パソコン同好会

関東支部 No.60 渡辺 義郎

関東支部の東京パソコン同好会は、パソコン教室を毎月 2 回行っています。一期が 10 回開催で現在二期目です。昨年の会報にも同好会の様子を書きましたので、今回は視点を変えて、南の会とパソコン教室の関わりを中心に書いてみたいと思います。

### 1. LS とパソコン

近年世の中何が変わったかという、インターネットの普及が第一にあげられるのではないのでしょうか。インターネット利用で便利になった反面、世の中が高速化し何事もせわしくなったように感じます。

LS、旅行でもインターネット利用により情報収集、予約、通信などが格段に便利になりました。特にパック旅行でなく、自分で手配する個人旅行ではインターネット利用が必須となり、会員もその恩恵に浴しているかと思ます。

### 2. 関東支部とパソコン教室

パソコンの利用はLS、旅行には必須に近い存在ですので、初心者がパソコンを使えるように勉強するため関東支部では幾つかのパソコン教室がありました。その歴史、経緯については余り詳しくないのですが、教室として春日部、川崎、筑波の 3 カ所があり、遅れて市ヶ谷教室が始まり計 4 カ所で開催されていました。その後、講師と場所に関する問題があり、市ヶ谷教室に統合され現在に至っています。

町中には、営利目的のパソコン教室、自治体などによる非営利の教室など数多くあります。南の会でのパソコン教室はどのような存在が望ましいのでしょうか。LS に役立つパソコンのスキル向上が目的ですから、この目的が達成出来ればどれでも良いのですが、やはり南の会ならではのやり方を考えていくことが必要であると思ます。

第一は、学習の内容です。LS に役立つことが目的ですから、電子メール、インターネットによる web 閲覧、スカイプによる通信の 3 つ（3 種の神器）が出来るようになることです。他には、デジカメ写真、iPod のような携帯音楽プレーヤーもパソコン学習の対象です。しかし、ビジネスに使う文書作成、表計算などマイクロソフトが「オフィス」として販売しているソフトの習得などは二の次になります。この点は一般のパソコン教室と異なる点だと思ます。

パソコンの応用の他に必要なのが「パソコンの基礎」と「セキュリティ」です。

パソコンの基礎には、パソコンの操作、ウィンドウズ画面の構成、日本語入力などがあります。基礎の中でなかなか覚えるのが難しいのがファイル管理です。これも一般のパソコン教室では余り勉強しないことです。メールで受信した添付ファイルはどこに保存するかなどファイル管理は日常的に必要になります。ファイル管理にはパソコンの構造とファイル管理ソフトの「エクスプローラ」をある程度理解する必要がありますが、ファイル管理を覚えれば、パソコンに自信が持てるようになるでしょう。

パソコンを利用すると必ずやらなければいけないことがあります。パソコン利用の安全に関するセキュリティ保護です。インターネットにつながるとウイルス、スパイウェアなどパソコンから個人情報を盗み出そうというやっかいなものが多くあります。一説にはインターネットにつながると、セキュリティ・ソフト無しでは数分でウイルス感染のおそれがあると言われてます。従ってパソコン初心者でもセキュリティについては難しくても勉強の必要があります。パソコン教室ではセキュリティ・ソフトの導入、セキュリティ状態の確認、ウィンドウズの更新などを勉強します。また、パソコンの故障（特にノートパソコンは故障が多い）に備えてバックアップについても勉強が必要です。

第二の課題はパソコン教室の運営です。講師は会員の中でパソコンのスキルのある方がボランティアで務めており、現在5名です。受講者はパソコン初心者を中心に登録が30名程度、常時参加する方が13名前後です。

東京パソコン同好会の目的としては「LSに役立つパソコン応用の習得と楽しい仲間作り」を唱っております。わざわざ「楽しい仲間作り」と入れたのは、単なる学習にとどまらない同好会会員相互の親睦を図ることを考えたものですが、一方では意見の相違からの紛争などを起こさないようにとの願いを込めたものです。

第三に会場の問題があります。パソコン教室ではインターネットを使用して学習することが多いので、ネットワークが必須です。幸い現在の

会場をお借りしているイカロス出版社のホールにはネットワークが備えられているので、大変助かっています。感謝、感謝です。自治体などの公共の場所（区民会館、集会場など）でネットワークを利用出来るところは殆どありません。多分その区民会館などの事務室にはネットワークが来ているので、それを少しのぼしてくれたらどんなに良いかなと思いますが、自治体の考え方は管理が大変などの理由で後ろ向きなのが現状です。

学習内容、運営、会場の課題をクリアして初めて円滑なパソコン教室が実現出来ます。南の会は営利団体ではありませんので、パソコン教室の運営もボランティアを基本としています。従って1回の参加費用はパソコン1台につき1000円を頂いています。これを会場費と講師の交通費に充てています。講師の報酬はありません。幸い会場費がイカロス出版社の好意で安く済ませられますので何とか採算が合う状況です。

### 3. 講師から見たパソコン利用

講師から見たパソコン利用について感じたことを4点述べます。



パソコン教室風景

### (1) パソコンに上達するには

パソコンは大変役に立つ道具であることは間違いないことです。しかし家電などに比べてまだまだ扱いが難しい道具です。考えてみれば20年、30年前の私の現役時代のコンピュータは、ビルの一室をしめ空調設備を備えた大がかりなものでした。それが今では持ち運びが出来る程度に小型化され、しかも昔の大型コンピュータを遙かに上回る性能を持っています。

このような高性能なパソコンを習得するには独学ではなかなか難しいと思います。一番良いのは身近に先生がいることです。例えば家族が良いのですが、よく聞く話は家族間で教えると「それは前にやったでしょう！！」で喧嘩になると言うことです。

次に役に立つのはインターネットです。疑問に思うこと、分からないことを、単語を並べて検索します。例えば Google で「スカイプ 音声」と入力すると、検索結果が数多く出ます。この中で「Skypeの音声テストの仕方」など参考になることがありますので、それをクリックすると絵入りで解説があります。ちなみに今の世の中、すべてはインターネット検索で始まるとも言えます。情報はすべてインターネット検索にあり、大変便利な世の中になりました。逆に検索でヒットしない情報はないと同じという、ある意味では恐ろしい世界になってきたように思います。

### (2) バックアップ

パソコンは故障するもの。故障の話はよく聞きますし、私自身も何回も経験しています。特にノートパソコンは狭い箱の中にぎっしりと電子部品が詰まっているので、熱放散の問題などで故障が多い様です。一番多い故障がハードディスク・ドライブです。故障したら自分で作成したデータ、写真などがすべて消失してしまいます。故障に備えて外部メモリ（ハードディスク、CDなど）にバックアップすることが必須です。パソコン教室参加者の方も理解はしていても、バックアップの方法に詳しくないこともあり、実際に実行していない方が多いようです。

### (3) パスワード

パスワードの管理は、パソコン利用の中でも難しい部類のようで参加者の方も苦労しています。無線LAN接続、プロバイダーへの接続、web閲覧、さらには旅行保険契約、金融取引など多くの場合に利用者を特定するためにID（識別番号、ユーザ番号、口座番号など）とパスワード（暗証番号）を要求されます。しかもパスワードの規則は一様でなく、数字だけ、英数字の組合せ、特殊記号との組合せなど様々で、長さも8～16文字の桁数と長くなる傾向にあります。こうなると必要なパスワードの数も増え覚えておくのが難しくなります。参加者の方へは、パスワードの管理が出来ないうちは、銀行・証券取引などお金が絡むものは止めなさいと言っております。よく見かけるのがノートなどにパスワードを筆記する方法ですが、種類が増えるとのパスワードをどれに使うのかが分からなくなります。それを避けるために詳しく書くと他人に知られた場合に困ります。

私の場合も使用するパスワードは10種類を超えますが、利用場面に応じたパスワードの分類で数を減らすことと管理ソフトの利用を行っています。漏れても余り困らないパスワードは覚えやすい簡単なもの（それでも電話番号、生年月日などは絶対に使用してはいけません）を決めておき、共通に使用します。銀行口座などの絶対に漏れては困るパスワードは、かなり複雑なパスワードを使用します。さらにこれらのパスワードを管理ソフトに記入し保存します。管理ソフトも開くのにパスワードが必要です。このパスワードは、どこにも記録せずに頭で記憶します。こうすれば最低限管理ソフトを開くパスワードだけ覚えておけば済みます。また万全を期すためには管理ソフトへ記入するパスワードはわざと一部の記号を\*で置き換えておくとか、保存自体もパソコンでなくCDなどに保存して必要なときだけパソコンへ呼び出すなど、パスワードの漏洩に備えた細かい注意も必要です。

#### (4) どんなパソコンがよいか

パソコンは千差万別で、多くの種類、製品があります。パソコン教室では、パソコン購入については責任が持てませんから、推薦はしません。しかし一般的なパソコンの選択については相談にのります。目的に応じて選ぶわけですが、余り高性能（価格が高い）なパソコンは必要ないでしょう。目的がLSでの利用であり、メール、インターネット、スカイプが利用の中心で、マニア向けのゲーム、映像編集など高性能を必要とする作業を行わないならば、一段性能が低くても十分利用出来ます。

その場合に動作が遅い（特に起動が遅い）恐れがありますが、主メモリ（DRAM）の増設である程度補えます。また、付属するソフトが多いことを売りにするメーカ、販売店が多くありますが、通常の利用ではフリーソフトと言われる無料のソフトで殆どの分野はカバー出来ると思います。また殆どの場合マイクロソフトのオフィスが付いていますが有料です。オフィスの有り無しで約2万円違います。ところがパソコン教室での利用を見ていると、殆ど使用しない方が多いようです。逆に重視すべきは保証期間です。有料である程度のお金を支払っても保証期間を延長することも良いでしょう。

最近、5万円パソコンあるいはネットノートと言われる超小型のパソコンがはやります。軽量ですから毎日移動する旅行に持って行くには適しています。その代わり、性能が低い、画面が小さい、CD/DVDドライブがないなどの不利な点があります。これを承知で利用する分にはメール、インターネット、スカイプには使えそうです。パソコン教室の参加者にも購入された方がいますので、その利用価値を聞くのを楽しみにしています。

パソコンはLS、旅行に必須の存在で、その習得はなかなか難しい面もありますが、パソコン同好会で仲良く学習していきたいと思います。

### パソコン教室への参加

関東支部 No.1047 関口 幹二

コンピューターとの付き合いは古く、40数年前にさかのぼる。卒論での実験解析をするためのデータをスーパーコンピューターへ打ち込むのだが、エラーがあると計算をやめてしまう（当時はどこでバグが出ているかをチェックするソフトが無かった）ので、その都度幅25mm紙テープの穴の配列をたどって必死にバグ探しを何回もやりとりした思い出があります。

それからの20年間は全く触ることなく過ぎ、8か16ビットのパソコンを購入して子供たちと雑誌に載っている簡単なソフトを作ったり、ゲームをしたりと全く自己流でやっていました。それから5年後、会社では仕事上に限ったオフコンでの作業は時々やっていましたが、パソコンは能力からして遊びや家庭用に考えられていました。ワープロ専用機の全盛時代が続いたが、ここ15、6年からはパソコンがひと昔前のスーパーコンピューター並みのパワーを持ち、ワープロ機能や表計算も充実してきて、ワープロ専用機は姿を消してしまいました。

そんなわけで、私もパソコンでインターネットやメールもうわべでは分かっているつもりでいたがのだが、、、。支部の掲示板にもうまく登録出来ずおぼつかなかったこと、ロングステイにはパソコンが欠かせないこと、なかでもスカイプ機能は特に覚えたいことなど、懇親会で話したところ、早速462小林さんから登録の仕方、60渡辺さんからはパソコン教室の案内などのメールをいただき、一から勉強しようと今年の9月から教室に参加した次第です。私は都合で1回休みましたが、月に2回の計10回、毎回15～20人位の参加です。終わった後の有志の居酒屋ダベリングも和気あいあいの楽しい時間です。

まだ数回ありますが、色々と私の知らない新鮮な知識を多く得ることが出来て驚きです。また712高田代表や講師の60渡辺さんはじめ指導の方々には、懇切丁寧におしえていただき感謝しております。

## 特集

# 各地の年末年始風景

## チェンマイの年末年始

関西支部 No.754 松本 都志重

私たち夫婦がチェンマイで冬を過ごし始めて6回目になります。初めてのときは1ヶ月、少しずつ滞在日数を増やし、今回は3ヶ月の滞在予定です。年末から行くときや年始から行くときもありますが、ここ数年年末年始を過ごしたので、その様子を報告します。

タイはご存知のように仏教国で、年中若い修行僧の足許に裸足になった信者が額ずき僧侶の唱えるお経に両手を合わせて拝んでいる光景をよく見かけます。

日本と同じくお正月は休日、大晦日まで忙しく働いており、お正月用品の買い物をする人で市場はごった返しております。

殆ど信号のない大通りは自動車とバイクが騒音と排気ガスを残して忙しそうに走り回っていますが、夕方になりますと車の量が驚くほど減って、静けさが戻ってきます。

夫々の家庭で越年の支度をしているのでしょうか。

大晦日の夜、ニマンヘミン通りから少し入ったコンドミニウムでいつも通り夕食を済ませたあと、お堀の入り口にある「ターペー門」まで歩いて出かけました。普段は毎週日曜日「ターペー門」からおよそ1キロにわたって歩行者天国ができて通りの両サイドに露店が並んでいますが、大晦日もいつもの日曜日と同じように露店が並んでいました。

「ターペー門」の入り口では幾人もの商人が「コムロイ」を売っていました。一つ100バーツ位(300円)です。「コムロイ」は紙と針金でできた熱気球で、折りたたまれた円筒を引き伸ばすと高さ1メートル、直径80～90cmの円筒ができあがります。円周からセンターに伸びた針金の真ん中にお皿があって、そのお皿の上に灯油とろうそくが乗っておりそれに火を

つけると円筒の中が熱くなって勢いよく空に舞い上がってゆきます。何人もの人が手を離しますので、まるでコムロイが手をつないで空高く上ってゆくように見えるのです。私たちも試してみましたが、火をつけたときから「コムロイ」は上昇をせかすのです。来年の幸せを願って手を離しますが、あっという間に高く、高く暗くなった空に向かって上がってゆきました。



コンドミニウムに帰って、9階の部屋から市内を眺めると、あちらこちらから無数の「コムロイ」が列になってのぼってゆくのが見られました。ほぼ一線になって上ってゆく様子は、竜が天空に昇ってゆくようで感動しました。

カウントダウンが始まり、大型の花火が市内のあちらこちらから打ちあがりました。タイでは花火に規制がないようで、かつて屋外パーティーに参加したとき、会場のすぐ隣で花火が打ち上げられましたが、物凄い量の燃えカスと粉末が落ちてきて飲み物のコップの中はゴミだらけになってしまったことがありました。遠くで、近くで花火が打ち上げられますが、すっかり終わるのは何時ごろになるのでしょうか。

明けて新年は私たちのコンドミニウムの従業員も一張羅に着飾って新年祝賀のため食事の支度に忙しそうに立ち働いておりました。私たちは決められた時間に中庭に出てゆきますと、近くの住民も集まっておりました。支度が整った

## 思い出の正月

東海支部 No.94 高橋 昭

ころあいを見計らってバスからオレンジ色の袈裟を着た20名の僧侶が降りてきて中庭のセンターに集まり、読経が始まりました。着飾ったタイ人は裸足になって膝まづいて両手を合わせ祈っています。20名の合唱は迫力があります。長い読経が終わりますと、僧侶が1列になって私たちがいるテーブルの前を通りますのでテーブルに積み上げた供え物を一人ずつ僧侶の持ったお釜のような入れ物に入れてゆきます。お供えはミネラルウォーター、クッキーなどのお菓子、歯磨き、石鹸などの生活物資で、ほとんどはコンドミニアムから提供されますが参加者ご自身でお持ちになる人もいます。僧侶の明日からの生活用品になるのでしょうか。僧侶の持ったお釜のような入れ物がたちまち一杯になりますが、コンドミニアムの従業員の一人が黒のゴミ袋に商品を入れてお釜を空っぽにして僧侶に返し改めて喜捨を受けることになります。予め用意したお供えがなくなりますと、僧侶たちは用意された席で新年の朝食を召し上がります。食後はしばらく喋っていましたが、やがて用意されたバスに乗って帰ってゆきました。午前8時からおよそ2時間の行事でした。



僧侶が帰ると参加者は三々五々食事を取りながら新年の談笑が続きます。

大通りは車の騒音も排気ガスも少ない静かな元日で、まるで日本のお正月を思い出される光景でした。

翌日の2日からいつもの騒音と排気ガスの毎日が始まります。

この原稿が皆さんのお目に留まるのは年も改まった2009年ですから、「皆さん明けましておめでとうございます、国内外で素晴らしいお正月をお迎えのことと存じます」ということになります。

さて東海地方といっても私の住む岐阜県は山と水の国と昔から言われるように飛騨山脈や白山山系に囲まれ、また木曾三川に代表されるように山紫水明の地でもあります、ですから今から半世紀前には山男として盛んに飛騨に出かけていました。

其の頃は冬山も勿論岩壁登攀に血道を上げていましたので短い休暇を有効に使う必要から夜行列車を良く使ったものです、山を志した方は良くご存知のことと思いますが三等寝台と称して座席下に新聞紙を敷いて横になり目的地まで出かけたものです、もちろん空いた座席には若い女性にお譲りしましたので大変感謝されたものです。

お蔭様で朝食のおにぎりを頂いたりして随分得をしたものです、中には此れがご縁で結婚した仲間も居たようです。

やっと麓迄たどり着いてもお山が猛吹雪で足止めをくうことはまれではありません、そんな時お世話になるのが民宿であったり、旅館（と言っても今風の高級旅館ではなく民宿並みのもの）でした。

当時現役のガイドで穂高小屋の主人の重太郎が経営していた今田旅館に泊まったとき熊の肉の入った味噌汁を頂いたことがありました、そのときが熊の肉の初めで最後でした、もうどんな味だったのか忘れましたがぱさぱさした感じだけが記憶に残っています。

重太郎さんの話では当時としては珍しい発電機を穂高小屋に設置した時のことを話してくれましたが、どうしても分解できない部品が300キロあり、これを担いで白出沢を小屋迄揚げたそうです。

10メートル歩いて休み、また10メートル

ほど歩くと言う方法だそうですが、あの小柄な重太郎さんが、と驚いたものです。

飛騨の正月で忘れられないのが花餅飾りでしょう、正月が近づくと、どの家も手ごろな葉の落ちた枝を山から取ってきて、紅白の、10円玉ほどの丸餅を交互に枝に取り付けて部屋ごとに飾っていました、この素朴な正月飾りこそ飛騨を代表するものでしょう、今ではこうした枝を入手することが困難になっているそうです。

当時はまだカラー写真が一般的で無い時代でしたからお見せできないのが残念です、ネットで調べると結構写真がありました。

興味のある方は一度覗いてみてください。

<http://www.h5.dion.ne.jp/~yoshima/hanamochisakusai.html>

昨年は海外視察の企画はハワイと台湾でした、今年3月には待望のロングステイセミナーの実施が決定しております、成功させるために一同頑張っているところです。

注：添付の写真は半世紀前の厳冬期の槍ヶ岳の下山時、槍沢下部で休憩中、左端で立っているのが私です。



## 年末年始の風景

バギオ支部 No.227 齋木 一

フィリピンはご存知の様にカトリック教国ですから仏教の影響の強い日本とはいろいろな面でかなり違いがあります。年末年始の過ごし方もその一例です。

先ず正月が無く、従って除夜の鐘も無ければ

初詣もありません。その代り、1年でも最大の行事のクリスマスがあります。クリスマスは敬虔なカトリックの宗教的な行事です。

クリスマスが終わった後の大晦日までは、この田舎町では毎夜必ずどこかでダンスパーティーが開催されます。バランガイ(最小行政単位)、若者、老人会と様々ですが、日暮れと共に始まり、夜を徹して続きます。最大の規模のパーティーは12月30日の全バランガイ合同の「バランガイ・ナイト」です。5千人以上は集まるでしょう。いずれの場合も参加費用は無料です。バランガイ・ナイトは有力者が食べ物や飲み物を提供しますから、それも魅力です。二つのフル編成のバンドと歌手、ダンシング・チームが交代で朝まで頑張ります。それも有力者の提供です。

バランガイナイトが終るか終わらない内に大晦日恒例の各家庭大花火大会？です。

町の人口の数倍は売れるという花火の数は多分数十万発でしょう。夜を待ちきれず早朝から打ち上げる花火と爆竹の音でゆっくり寝る事も出来ません。我家は男手が足りないので、大晦日はカラオケ大会で騒音に参加しています。

カラオケは、大晦日の他にクリスマス・イブと15日から9日間続く「シンバンガビ(真夜中のミサ)」の期間中にも1~2回毎年しています。朝4時からのミサに歩いて参加する為の時間待ちです。

クリスマスは、家で皆で静かに食事を楽しみます。1年に1度のボーナスの支給日でもあるので、クリスマス・プレゼントと一緒に日付が25日になると同時に渡します。妻と娘はスタッフではないのに、このクリスマス・ボーナスだけは期待されています。

正月が無いので、当然フィリピンにはお年玉の風習はありませんが、我家だけは妻が日本で憶えてしまったので、仕方なく？カウントダウンが終ると同時に子供達に渡します。この時だけは妻も子供だと言い張っています。カウントダウンまで大騒ぎした子供達は朝まで我家で仮眠し、起きると皆で南シナ海のビーチに繰り出します。日本では寒中水泳になってしまいますが、南国ですから潮風が心地よく、ビーチハウ

スでの昼寝は最高です。初泳ぎの後は、早速初カラオケです。数時間前に歌い納めをしたばかりなのにもう歌い始めです。皆カラオケが大好きです。折角あげたお年玉をカラオケで使い切ってしまう子供もいます。昼食後早めに帰宅しシャワーを浴びると我家の年末年始は終わりです。

正月休みの無いフィリピンでは、2日から早速普通の生活に戻ります。

## 年末からお正月にかけての過ごし方

関東支部 No.434 大野 悦子

他の支部からも寄稿されているようですが、関東支部からもということで依頼を受け、東京都目黒に生まれ、半年後に岐阜に移り、大学から東京で過ごした経験を書かせて頂くことになりました。暮れからお正月にかけての過ごし方は昔と現在、地方の特徴、親の職業にもよって過ごし方が違って来るかと思えます。

几帳面で整理整頓が大好きで、きれい好きの父でしたので、年末の大掃除は徹底的に行われ、お天気の良い日に、はずせるガラス窓は順番にはずして外の水場で洗い、家の中に居る母や私達は寒いので、せっせと体を動かして雑巾がけなどをしました。障子の張替えも毎年しておりましたので、お陰さまで父のやるのを見よう見まねで自分で家の障子戸の張替えが出来ます。幼稚園のころまで台所にかまどがありましたので、もち米を蒸して、餅つきは、祖父や父と兄が交代でつき、つきあがったのを母と姉と私が粉をまぶし、鏡餅や申し餅にしました。父で4代目の家でしたので、正月三が日は、来客が多くて、旅行に行けなかったです。

大学から母の姉である伯母宅で過ごしていた時もお正月は、岐阜に帰省していました。婦人服のオーダー・メイドの商売をしていた伯母は年末は、31日まで仕事に追われていたので、お正月は、ホテルで過ごしておりました。

結婚してからは、主人の実家に年末から行き、掃除やお正月の準備を手伝い、お正月は、来客の接待で忙しかったです。主人の実家も父で4

代目でしたし、父は8人兄弟で、お彼岸やお盆やお正月は、兄弟が全員集まる習慣でしたので賑やかでした。年月を経るに従い、それぞれに家族が増え、それぞれの家が実家となり、本家（主人の実家）に来る人も少なくなってきたのをきっかけに、年末から正月三が日は、暖かい伊豆で過ごすことが多くなりました。

主人は、仕事でヨーロッパや中国、韓国に出掛けておりましたが、平成2年からマレーシアに工場を持つことになり、平成8年までKLやシャーラム（工場地帯）に行ったり来たりしているうちに、海外で過ごすことに慣れてきました。その頃から、ロングステイに興味を持つようになり、ロングステイ財団を知り、当時はまだ仕事が忙しかったので、セミナーだけ参加し、「ロングステイ・クラブ」にまずは、入会していました。

平成13年に会社を閉じてからは、ロングステイ財団の季刊誌で「南国暮らしの会」や「キャメロン会」、「インドネシア・ロングステイの会」などに入りましたが、「南国暮らしの会」の方々が一番楽しくお付き合いしてくださるので、すっかりはまってしまいました。

この会に入ってからセブ島やチェンマイを知り、年末からの過ごし方が変わりました。

主人が現役のころは、一番値段が高い時期にしか旅行に行けなかったもので、その反動から、今は時間はたっぷりありますので、値段の安い時期から海外に移動して寒い時期と暑い時期は、日本を脱出することになりました。この会に入って先輩からノウハウを伝授して頂き、感謝致しております。

今年は7月に父を亡くしましたので、喪中となりますので、日本で静かに過ごすことになりそうです。

## わが故郷の年末年始

関東支部 No.900 島林 健二

5才まで住んでいた大阪の住宅を終戦直前の空襲で焼失したため母の実家に疎開し、以来約18年間23才までの子供から青年時代を過ごした滋賀県の現・栗東市六地蔵が私の故郷です。今では日本初の名神高速道路のインターチェンジの開設(1963)に始まり競走馬のトレーニングセンターの開場(1969)、そして最近では新幹線駅の設置計画廃止等で全国的にも知られるところとなり、数十年前とは格段に開かれたそして京都、大阪のベッドタウンとしてますます発展途上の地域となっています。

そのわが故郷は旧東海道に面しており、集落は民家以外周辺はすべて田畑という典型的な農業地帯でした。現栗東市は徳川時代に設置された東海道53次の草津宿に隣接し、近代にいたって高速道路や1級国道が整備されるまでは旧東海道は主要な交通路として人間の移動、車両、貨物の運搬、輸送に大昔から大きな役割を果たしていました。そんなことから文化や諸行事などが各地から伝わってきたのではないかと思います。

農作業以外には特に変わったことの少ない地方だっただけに秋のお祭りや年末年始はこれらが近づくとき子供心にわくわくしたものでした。

ここでは年末年始のしきたりや行事、そして我が家の決まり事みたいなことを紹介したいと思います。

私の父親が銀行員であったため年末の諸準備は母と我々兄弟5人の役割で、主な仕事は大掃除、障子張り、餅つきなどでした。最近では年末に子供が家の大掃除を手伝うことは珍しくなりましたが、自分の子供時代はラジオと新聞くらいしか楽しみや情報源がなく、子供が家の手伝いをするのは当然のこととと思っていた時代です。何の疑問もなく母親の指示でできぱきと動き回ったことを思い出します。天井の煤払いから畳の空拭き、庭の枯葉の掃除、そして障子は毎年年末に張り替えるのですが、自宅の裏の川に障子そのものを浸し古い障子紙を丁寧に剥が

し糊をつけ新しい紙を張ります。最近の障子は障子1枚分を一気に張る方法ですが、当時は巻物大の障子紙を3コマ分ずつ障子の下段から順に張っていき大変手間がかかったように思います。そしてこのときの経験が生きて今日現在も我が家の障子張りだけは自信を持ってやっています。

私が高校2年生になると兄は就職、姉2人は結婚し自分が弟と共に両親を助ける立場になったのですが、何と言っても餅つきは貴重な体験でした。父が休みの日曜日の朝4時頃に起床しもち米を蒸し、臼にして最大で14~15臼は搗いたでしょうか。後仕舞をするとお昼前でした。そして搗き上がり、成型した大小の鏡餅を床の間、神棚、仏壇、炊事場、机などに供えるのですが、このとき鏡餅の下に敷く裏白なる葉っぱを近くの山に取りに行くのも餅つきの日の午後の仕事でした。

大みそかの夜は新年を迎える準備はすべて終えゆったりとした気分で熱い年越し蕎麦を頂きます。

そしていよいよ新年元旦の朝、目覚めると枕もとには母が上から下まで新調の衣類を用意してくれておりこれを着て新しい気分で新年を迎えます。顔を洗った後、家族全員が神棚に礼拝、仏壇に向かいお経を唱えそして丸テーブルを囲み“おめでとうございます”の挨拶をして、まず昆布茶そして梅干を食べお雑煮をいただきます。お雑煮は味噌味で丸餅ですが中には大根、里芋が入っています。正月3が日も朝食はお雑煮とおせち料理だけですが、母は今年も上り調子になるようにと食べる餅の数は前日より必ず多く食べなさいとよく言っていました。そのため初日は3つ食べようか2つに抑えようかと迷ったものでした。なぜなら3日には最大5個食べなければならないからです。

その後家族で近くの神社に初詣に行き、続いてお墓参りと決まっていました。2日以降は友達と凧上げやこま回しなどで遊びましたが、テレビのなかった時代にどうしてこんな単純な遊びだけで退屈しなかったのか今思うと不思議な気持ちです。

また2日には書初めで学校の書道の宿題をこの日にやります。

そして7日は七草粥の日で七草にお餅、ご飯の混じったお粥を頂きます。

年始行事の中で自分の中学時代の一番の思い出は何と云っても左義長（どんど焼き）です。60軒位の集落の中学1年から3年までの男子がベテランおじさんの指導のもと、青竹と藁と縄で直径約2m、高さ7～8mの松明状の竹矢倉を作ります。集落の藁所有者から青竹を、農家から藁、縄を寄付していただき1週間位で完成します。14日には各家庭を訪問し門松など正月の飾り物やお札を回収し、作った竹矢倉に入れこれを15日の未明から焼くわけですが、こうして前年の災厄払い、無病息災、五穀豊穰などを願う行事です。

当時はそんな詳しいこともあまり理解せず、ただ14日の夜は当番の家にメンバー全員が詰め夕食を食べ、焼くまでの時間、炬燵を囲みながら徹夜で過ごすことに興奮を覚えました。もちろん徹夜は初めての経験でお菓子を食べながら談笑して時を過ごし、いよいよ焼く（焚き出し）直前の15日未明には寒さをものともせず、集落全体に「もう焼く（焚く）ぞ！」と大声で歩き触れ回ったことなどいまだに鮮明に覚えています。

ごく少数の見物人のなかでどんど焼きは2時間足らずで終わりますが、このときの焼け残った青竹を各家庭に配り、それぞれのお宅ではこれを燃料にして15日の朝に食べる小豆雑煮（ぜんざい雑煮）を炊くといわれていました。これで炊いたお餅を食べると病気にならないといういわれがあったようです。現在ではほとんどの家庭が炊事はガスコンロですが、当時は煉瓦と粘土とタイルで作った竈（かまど）が主体でこれに薪を燃して炊事をするのが普通だったので。したがって今はこの青竹配りも意味がなくなっているものと思います。さらにこのどんど焼きも最近では少子化の影響もあり父兄と共同で行われているようです。

続いて24日は「堂の講」と云われ、これは娯楽の少なかった時代に村人が寄って飲食をす

る集いで今も続いているようですが、この日に獅子舞が行われます。伊勢大神楽講社から出張し、獅子の頭と尻尾に2人、笛、太鼓、囃子の5人組みで各家庭を回り、各家庭ではご祝儀袋を渡し、獅子が舞い厄病退治、悪魔払いをするというものです。さらに獅子が舞いながら小さな子どもの頭を噛むと病気にならないなどと云われ噛まれた子供が泣き出すシーンは可哀そうでもありほほえましいものでした。

故郷の実家には現在弟の家族が住んでいますが、時代こそ変われこうした行事は今も続けられているということです。

とりとめもなく記憶の薄れかけた部分の記述になりましたが、半世紀近い昔の田舎で過ごした楽しい年末年始の様子的一端をご紹介します。

### 南国フィリピンのクリスマス、お正月

#### そしてマニラ支部から一言

マニラ支部長代行 No.1269 岩崎 宏

新年明けましておめでとうございます。

フィリピンマニラからお便りさせていただきます。国民の80%以上がクリスチャン、世界で3番目に英語を話す人が多い国、アメリカナイズされた国です。多くの人がアメリカに憧れていて移住を夢見ています。人口の10%にあたる人たちが、海外就労者として外国に働きに出ています。そして母国フィリピンへ送金しているのです。

多くの家族はその、送金に頼って生活していると言っても過言ではないくらいに海外就労者が多いのです。毎年、11月になると、町中にはもうクリスマス商戦に突入します。ジングルベルが鳴り響き各家庭にはクリスマスツリーが飾られ、家の外では近所中がライトアップしてきれいに飾り付けられます。そして誰の家の飾りが一番きれいだとコンテストまで開かれます。12月に入ると、会社で働く従業員に法律で決められた、最低一ヶ月分の給料がボーナスとして配られます。休みの日にはクリスマスプレゼントを買い求めイヴの準備に入ります。会う人が、

殆ど全員「メリークリスマス」と声を掛けあうのがカウントダウンに入る 10 日過ぎ、普段生活が大変なレベルの人はここぞとばかりギフト目当ての「メリークリスマス」の声が大きくなります。豊かな人が貧しい人に分け与えるという精神が浸透しているのでこの国で我々日本人は、国籍の違いだけで裕福な階層に自動的に入れられて、ギフトとお年玉（あえてクリスマス用のお年玉といいます。お正月には御年玉の習慣がありません。）をねだられるのが一般的です。郵便配達人、電気のメーター読み取り人、ビレッジのガードマン、新聞配達人、ゴミ清掃車の職員とありとあらゆる出入り業者が小さな封筒を家主に渡してほしいと女中さん経由で置いて行きます。仕事上でも、ありとあらゆる取り引き業者から何月何日に社内のクリスマスパーティがあるのでパーティー用のラッフルギフトを御願いたいという依頼の手紙がわんさと舞い込みます。我が社からも負けじと同様に、お願いの手紙をパーティーの責任者名で投函します。お互い様ということでしょう。3 日と空けずに色々な所のクリスマスパーティーに招待されます。

こうしてクリスマスイヴを家族全員で迎えます。テーブルにはごちそうが山と盛られ、クリスマスツリーの回りにはクリスマスギフトが山のように積み上げられます。さあ、パーティの開始です。呑んで食べて大騒ぎ、ギフトを配ってラップを破って中身に一喜一憂、フィリピンの人にとって、一年のうちで一番幸せな日になるのです。

次に訪れるお正月ですが、フィリピンではお正月休みは一日だけです。ごちそうを食卓に山盛りと飾り、来年も食事に満足出来るようにと祈ります。12/31 の午前零時近くカウントダウンに入ります。

午後 10 時頃から、爆竹や花火が鳴り響き、クライマックスを迎えるのです。真夜中に食事を摂り就寝するのですが、爆竹、花火の煙が漂っていて、外には出られない状態が続き眠れたもんじゃないくらいに大騒ぎするのがフィリピン恒例のお正月の迎え方です。

1 月 2 日からは通常どおりに会社の仕事始めになります。今だに私は仕事始め 2 日になじみません。とにかく陽気なフィリピンの人たちであります。

それでは長年フィリピンに住んでいる邦人から見たこのお祭り騒ぎは、どのように写っているのでしょうか。クリスマス自体余り日本人には馴染みがなかったのですが、ここに住んで「メリークリスマス」を連発されるとやはりそれなりの一大行事なのだと認識せずには居れなくなります。

「なんで、俺が、ギフトを上げなきゃならないの。何の関係もない人に。」と疑問視するのですが関係があるのです。しょっちゅう貴方の家に仕事で伺ってるじゃないの、警備もしてるじゃないの、ゴミも持って行ってあげてるじゃないの、そして最後に貴方はお金持ちじゃないの。これが決定打です。こんな煩わしさから解放されたいとクリスマス、お正月の時期はフィリピンから抜け出したいというのが多くの日本人の本音じゃないでしょうか。

でも、お世話になっているフィリピンに対して少しでも恩返しをしなければと諦めて、自分も一緒に楽しむのが一番の気分転換かと思いません。静かな、しみりとしたお正月、こたつに入ってお屠蘇、昼寝して、また親戚一同、家族で正月を楽しむ日本を離れて 30 年、本当に懐かしい日本のお正月です。

最後に、これだけはお伝えしておきたいことを記しておきます。訪問する前と、訪問してからの国の印象の格差が一番大きい国にフィリピンが選ばれたんです。フィリピンの印象を悪くしている最大の責任者は政治家であります。実はもう一つ大きな理由があります。フィリピンに居住する、または行ったり来たりしている日本人の心許ない人たちです。フィリピンを舞台に繰り広げられる、保険金殺人事件、邦人が狙われる事件、新聞紙上では観光客とかかれますが、事実は観光客とは言いがたい人が殆どです。必ずと言っていい程、邦人が絡んでいたり被害者がいい加減だったりということが多いです。普段からおつきあいする方を選び、自分

なりに注意を払っていけば防げる事件が殆どなんです。

南の会マニラ支部はまだまだ、これからの支部ですが、バギオ、ダバオ、セブへの中継地点だけじゃなくてマニラにもたくさんの方にロングスティして頂きたいと思います。

今後、そのための情報を発信して行きたいと準備しておりますので楽しみにして頂きたいと思います。心配事は必ずかたずけて差し上げるマニラ支部に育てて行きたいと思います。

遅れましたが、2009年が皆様にとって、幸せ多き年であることをお祈り申し上げて最後と致します。

会員番号 1269 岩崎 宏

Hiroshi Iwasaki Tel 840-1060

フレンドシップツアーマニラ

### クアラルンプールにおける私達の正月

KL支部 No.860 棚村 信了

クアラルンプールで正月を迎えるのは、今年で4回目です。現役の時海外勤務が長かったので、いろいろな国で20回は、正月を迎えております。

1月1日を、新年として祝し、休日としている国は多かったです。日本のように、3が日を休日として、その前後に休暇をとり、1週間なり、10日なり連続して休暇を取れる国は、私の経験では日本だけでした。正月を迎えた国々では、1月2日より、勤務開始でした。

こちらクアラルンプールも、1月1日は国の祝日となっており、基本的には一日のみのお休みです。しかし、ここマレーシアは、ご存知のように多民族国家のために、それぞれの民族が使用している、暦、文化、宗教などの違いにより、イスラム正月、中国正月、インド正月、キリスト教世界の正月 など、日本と違った正月があり、その都度、国として、祝日となっております。

こちらでは、日本人はマイノリティですので、日本の正月の雰囲気を一般的には、味わうこと

はできませんが、限られた場所では、松飾り等見ることも出来ます。伊勢丹やJUSCOに行けば、値段は日本よりも高いですが、正月用食材も入手できます。我が家でもお餅、年越し蕎麦、かまぼこ、日本酒、などなど少しばかりの正月用料理を食べながら、12月31日には、NHK紅白歌合戦を楽しみ、日本を思い出しながら、年を越します。カウントダウンにあわせて街中では、花火があがります。

大晦日には、カウントダウンのために 親しい方たちでホテルに宿泊される方もおおいです。私達は、1月1日の元旦に、メンバーになっているゴルフコースで、新年初打ちコンペが、毎年行われます。友人をさそって、コンペに参加するために、カウントダウンには、参加しておりません。

このコースは、日本の会社が開発したコースです。この日は、朝食、昼食付きで、ストロークプレーのダブルペリア、スタートはショットガンで行われます。

スタート前には、お雑煮が振舞われ、プレー後は、大浴場で一風呂あびて まずは ビールで乾杯し、そのあと 樽酒やら、お正月料理を楽しみ、新春を祝います。

賞品は、順位賞の他に、優勝には、日本往復航空券が用意されております。2009年新春も参加することにしております。

3ガ日が過ぎると、日本から、孫達がやってきます。4-5泊ですが、元気な姿を見せてくれます。

一度行った観光スポットは、出来るだけ二度行かないように、また、日本にも同じようにあると思われるスポットは、避けるように、工夫をしながら、連れて行ってあります。

日本も景気のいい話を聞きませんので、2009年の新春に、孫達がKLへ来るかどうかわかりません。来ない場合は、スカイプのWebカメラで孫達をみながら、チャットを楽しむ事にします。

10日ほど、正月気分でも過ごしたあと、また日本人会中心の趣味の生活に戻ります。

私達夫婦がこちらで正月を過ごしている経験談をまとめてみました。

## 北海道のお正月

北海道支部 No.625 工藤 俊一

北海道のお正月についてということで書き始めましたが、北海道はもともとご先祖様が全国各県、各地方出身の方々が住み着いた地方であり、そもそも北海道独特の正月というのは、ないのではないかと思います。

北海道の各家庭の正月の過ごし方、おせち料理も、その家庭その家庭で少しずつ違っていると思います。

ということで、私が子供時代に家族そろってお正月を迎えたときのことを思い出しながら、書いてみたいと思います。25日のクリスマスを過ごし、学校もこの頃から25日間の冬休みに入ります。北海道は夏休みが25日、冬休みが25日と年間50日の休みを半分ずつ取るのが、最近までの学校でした。最近は高校入学試験の時期の関係で、25日より早く冬休みに入り早く3学期の始業式を始めるというのが中学校の傾向です。

そんなことで私が子供のころのお正月はクリスマスが終わって、すぐお正月を迎えるその準備と、学校が休みになるということで、一年で一番楽しみの時期でもありました。

正月準備の第一は餅つきです。どの家庭も12月27日、28日は餅つきです。早朝3時には起こされて、餅つきの臼、杵の準備からお袋は蒸籠にもち米を入れて蒸かす準備、北海道の場合は、この時期石炭ストーブにどンドン石炭をくべて、ストーブが真っ赤になるまで燃やしもち米をふかします。吹き上がると同時に親父は餅つき、お袋は合い取りで威勢良くもちつきが始まります。つきあがった餅は、すぐにあん餅、黄な粉餅等になり、あん餅は、隣近所に配ります。

隣近所からもお返しに、できたての餅が届きます。あのうちの餡は甘いね。いや家の餅のほうが旨いよ。などと食べ比べるのが楽しみの一つでした。この多量についた餅は伸し餅にしてカビが生える2月末頃まで毎日のように焼いて、

砂糖しょうゆ、黄な粉餅にして食べた記憶がある。その後、餅つきは臼杵から電動餅つき機に変わり、そのうち多量につかなくなり現在では家庭で餅つきをすることはほとんどなくなったと聞いている。餅つきの習慣を伝えるべく町内会等で子供を集めてイベントとしてやっているのが最近の状態である。

31日は年越し。この日はそれぞれの家庭で、お袋さんが2、3日かけて作った旨煮やら、家庭ごとに違う口取りなど豪華料理を囲んで年取りをします。いつの頃か年取りそばなども食べてますが、それはかなり後になってからの行事だったように思います。その頃は各家庭にテレビもなく、ラジオで宮田輝さん司会の紅白歌合戦を聞いた記憶があります。

元旦は、衣装新たに（この日には、真新しい下着が子供たち全員に配られた）雑煮を食べてお年玉をもらった。雑煮の作り方はご先祖様の出身県ごとに違っていたようであるが、それがその家庭の雑煮として伝えられている。

かなり後になってから元朝参りなどに行ったが、私の家ではなぜかはわからないがその頃は行った記憶がない。

正月の遊びは、もっぱら板カルタ（百人一首）を隣近所家族ぐるみで毎晩のように行っていたように思う。外は寒いので、スキーやスケートをして楽しんだが、これは特に正月行事というわけではなかった。

正月は、すごろく、板かるた、などの室内ゲームで楽しんだ。というのが一般的な遊びだったように思う。現在の子供たちはどんな楽しみと遊びをしているのか、あまりわかりません。とにかく、私はこの時期、ここ五年間はタイで過ごしているので最近の北海道のお正月の過ごし方、どんな楽しみ方をしているのか、あまりわからないというのが本音です。

## 特集

# バンコック空港閉鎖

### バンコック空港封鎖とマイペンライ (OK・OK、大丈夫・大丈夫)

関東支部 No.1161 永島 和雄

関東支部の佐々木理事と中西さんの計画されたフィリピン視察ツアーに便乗させて戴き、11月17日より11月28日までの12日間で、ウルダネーター、バギオ、ダバオ、セブの4ヶ所を駆け足で見て廻る予定でした。佐々木さん達は東京からマニラに入り、最後のセブにもう1日居て、29日に日本へ帰るスケジュールになっていました。私共は航空券が取れず、1日早く28日にチェンマイに帰国する予定でした（最初から嫌な予感があったのです）。具体的な旅行の中身は全て中西さんが南の会の各地の方々とメールやスカイプで調整して下さって、詳細に決めて頂いており、何の心配もなく、また、考える事も無く、中西添乗員様？の旗の後を、ただ、ひたすら付いて行けば良いということになっていました。

現在タイのチェンマイにLS中の私ども夫婦は11月17日にマニラで無事合流してから、セブに着くまで、全員風邪を引くことはあっても（フィリピンの国内航空の飛行機の中が異常に寒く、貸してくれる毛布も無く風邪を引きました、フィリピンで国内航空に乗られる方は外が暑くても、是非、長袖と長ズボンで、靴下を忘れないように！！）、各地域の会員の皆様のお陰でスケジュールは順調に進んで行きました。（お世話になった皆様本当に有難う御座いました）

さて、問題が発生しましたのは（というより問題を認識しましたのは）27日の朝、セブのマルコポーロプラザホテルで、NHKのニュースを見た時でした、タイのバンコック空港（スワンナプーム国際空港）が反タクシン派のデモ隊

によって占拠、封鎖されたのを知りました。朝食後9時を過ぎるのを待って、マニラの岩崎支部長さんに電話を入れ状況を確認し、バンコックの空港が開いていないということから、東京の皆さんと一緒にもう一泊セブに泊まり、29日にマニラへ行くことに決めました。電話をする前に朝食を取りながら同行の士と話をし、マニラにいてもホテルから出られないし、飛行機が飛ばないのであれば、セブに残った方が賢明だという話になっておりました。というのも、バギオからダバオに行く乗り継ぎの為に、マニラに一泊したのですが、マニラの夜は非常に危険なのでホテルから出ないようにとの指示が出ており、そのときは近くのショッピングモールにタクシーで行っただけでした。

27日の夜になっても良い話しが聞こえてこないで、セブの川上さんにマニラのホテルならデュシット・ホテル・ニッコーが良いとの話を聞いて、28日マニラのフレンドシップ社に連絡をして29日の予約をしてもらい、一応の住まいを確保いたしました。翌日セブの空港で1日遅らせた飛行機のチケットの手続きをしてお金を払い（当初の話より大幅にアップしてしまったのですが）、無事セブを脱出し、マニラに到着、東京の同士とは空港で“それでは元気でね”とってお別れをし、メータータクシー（マニラでは安全だといわれて）に乗って、ホテルへ、ホテルに着くとタクシーのメーターが良く分からず、運転手は700ペソ（1ペソ=2円）というので、高いなと思いつつもまずは寝る所の確保が先とホテルにチェックインをして（後で聞いたところ道が混んでいても300ペソくらいとのこと、実際、帰りにメータータクシーに乗ったところ道が空いた状態で105ペソでした）、フレンドシップ社の事務所を訪問（ホテルの3階にある）、タイ航空のマニラ事務所の電話番号を教えてもらい、電話をする

と、12月5日には開くだろうとの話、チェンマイのKKトラベルに電話し状況を聞くと、2～3日で何とか開くだろうとの事、シンガポール経由とか台湾経由でチェンマイに帰れないか聞いたところ、みんな同じことを考えるので満席でだめ、やはりバンコクが開くのを待つしかないと言われる。また、月曜日（12月1日）が休日、土・日・月の3日間身動きが取れないことを知り愕然とするが、仕方がないので、12月1日（月）までホテルをそのまま取ってもらうように頼む、なんとなくタイのマイペンライの精神が身体に染込みつつあるような気がする。

30日、1日とやる事も無く、風邪を直そうとホテルで十分休むこととし、火曜日（2日）になるのを今か今かと待ちつづけた。火曜日、9時になるのを待ち切れぬ心を抑えて、まずタイ航空へ電話を入れると、まだ空港は解除されていない、5日になれば大丈夫だろうとのこと、仕方がないので、タイが9時になるのを待つ（時差1時間）、KKトラベルへ電話を入れ状況を聞くと、5日は国王の誕生日だから必ず空港は開かず、3日には最高裁判所の決定が出て現政権が倒れるので、3日にはデモ隊は出て行くとの情報。一瞬、東京に帰ろうかと思う、女房殿も東京と言いつつ、航空券が2人で片道10～11万円（う～ん！）、更に東京の我が家には次男が一人留守番をしており、今年12月から来年結婚する相手と我が家で一緒に暮らす（婚前同棲！う～ん！）と言っていた、今帰ったらどんな顔をするか？（う～ん！）、どうも男同士はなかなかシツクリこないもの、息子の顔を思い出して、ま、もう少し待ってみるか、マイペンライだな！と心を決める。

2日の夜にTVで3日にはデモが終了するとのニュースを見て、早速3日の朝タイ航空の事務所に行き状況を確認、5日の飛行機に変更依頼するがバンコクからチェンマイまでの席が取れない、仕方なく6日の予約を取ってやれやれと気が休まる。

考えてみればマニラで何もしていないので、

フレンドシップ社に行って、近場で良い所が無いか聞き、ココビーチに4日・5日と一泊で遊びに行くことにする（この時はもう帰れるということではっきり遊ぼうという気になっていた）、ココビーチはエキゾチックでトロピカルなコテージがある小さなリゾート、白人が多く（フィリピンは白人がすごく少ないのに）、ムードのあるところ、ただ、問題はマニラからホテルの迎えの車と船とで5時間かかり、更にコテージにお湯のシャワーとエアコンが無いところ（夜は高温多湿）、部屋を指定すればお湯のシャワーとエアコンのある部屋もあるので、行くときは注意のこと。

さて、いよいよチェンマイに帰れる（今やチェンマイが故郷といった気持ちになっている）時が来たと、6日の朝まだ飛行機の時間まで3時間以上あるのに空港に押っ取り刀で駆けつける、タイ航空のカウンターには誰もいない、近所のカウンターで聞いてみると、14:20発のTG621は12時頃にならないとカウンターが開かないとの事、仕方がないのでベンチで待っていると、TG621より後に出発する大阪行きのチェックインが始まった。

何かがおかしいとカウンターの方に行くと、空港職員が2階にあるタイ航空の事務所に行くと言うので、重い荷物を持ってエッチラオッチラ事務所を探して行ってみる。な！なんと、TG621はキャンセルとの事、飛ばない！！エ・・・！！

何言ってるの、前に並んだ白人が怒り狂っている、話を聞いている内に自分の怒りは収まり、マイペンライか！そんな気になる。しかしここで頑張らないとチェンマイに帰れない、ぐっと気持ちを引き締め直して前に行く。タイ航空の女性事務員に他社の飛行機で帰れないか、ツタナイ英語で談判、やっとのことで並んでいた前から5人がキャセイ航空の香港経由で良ければ、今日の23時55分にバンコクに着く便に乗れ、これで良ければ手配するとの事、何が何でもバンコクまで行かないとチェンマイには帰れないと思い、二つ返事でOKと言う。結局チェ

## 旅先で遭遇したアクシデント

関東支部 No.539 有馬 憲三

ンマイには翌朝一番のタイ航空しかないと言われ、予約券を呉れるが、空港で一夜を過ごす事になり、こんな事なら5日に帰っておけば良かったと悔やまれる。だ・・だが、さらに後ろに並んでいた日本人が翌日の7日のチケットしかないと言われ、7日のチケットを貰いボヤイテいる、“ほんとに明日は飛ぶの?? 昨日もキャンセルされ、今日は飛ぶと言って1日伸ばされたのに!!” エ! 本当! 聞けば昨日も飛んでいないとの事、これは何としてでもバンコクまで行ってしまわないと、また、マイペンライに捕まってしまうと緊張する。

待つこと3時間 17:50分発のCX918にチェックインして、ホット胸を撫で下ろす。飛行機がマニラを飛び立つ時、やっと帰れると何やら変に感激する。12日間の旅行がチェンマイに帰り着いたときは21日間の旅行に、思えば今年は飛行機で色々あったなど考える。まず、5月に関東支部のメンバー20名ほどで行ったバリ旅行、帰りのジャカルタ空港で航空機の機材不良により代替航空機が来るまで空港で夜明しさせられた、8月プーケットへの個人旅行でプーケット空港をデモ隊が閉鎖、出発日の前日解除となり無事出発出来たがギリギリセーフでヤキモキさせられた。そして今回、飛行機にタタラレル一年でした(ドイステープに御祓いに行くかな~!!)。

そうそう、最後に航空機が飛ばないことによる費用負担を何とかできないか調査しましたが、今のところクレジットカードの保険では出ない、また、インターネットで調査した限りでは海外旅行保険でも今回のような場合は出そうも無い、出たとしても一人当たり2万円程度との事、私の10万円は(8日間のホテル代とFP国内航空券の変更代など)誰も出してくれないと言うことだけは確かなようです。やっぱりマイペンライしかないか!!

私どもの今回の旅は11/19日成田発~バンコク~シェムリアップ~クアラルンプール~ペナン~ジョホールバル~シンガポール~成田12/8日着の20日間の旅を当初の予定を変更して無事帰国しました。

アンコールワット観光を終えてクアラルンプール滞在中でしたか「バンコク空港が閉鎖された模様」との情報を入手しましたが「まだ帰国までには時間があるし、そのうち王様が出てきて解決するよ」と家内と気軽に受け流していました。

我々の今回の航空券はユナイテッド航空/バンコク往復のマイレージ/セーバー(20,000マイル/座席数制限)の無料航空券でした。バンコク入り、帰りもバンコク発の為にペナン訪問を終えた12/6日ペナンのバタワースからマレー鉄道でバンコクに戻る予定で寝台車のチケットも入手していました。

次の訪問地ペナン入りして南の会ペナン支部の皆様にお会いした頃には「空港占拠グループがますます強固になり、早期解決の兆しは見えないし、バンコク入りは危険ですよ」と会員の皆様からの暖かいアドバイスを頂き、我々もやっとその方向で経路変更して帰国便を手配する必要を感じ始めました。

その時点で街のネットカフェでUAのHPを覗いても[11/27BKK発までの予約者の変更を受け付けています]との事で、航空会社もまだ早期解決に楽観した対応の様子でしたし、電話で問い合わせても、我々のチケットはマイレージ/セーバーで「現状ではシンガポール発に変更するにも余席がありません」との対応でした。

(HPで確認すると、一般航空券(往復55,000円+サーチャージ)とマイレージ/スタンダード(40,000マイル)ではシンガポール発に余席がゴロゴロ、「これは慌てなくても何とかなるわ、、、」と楽観。)

一方旅行社に飛び込み安チケット探してもら  
うと[キャセイ航空成田往復がサーチャージ込で  
53,000 円で購入可能]を確認、一応安堵した次第  
です。

数日経過を見た段階でそろそろチケット経路  
変更手配の潮時と考え、ペナン在住の渡辺亜雄  
さんのご自宅を訪問してスカイプの借用を願  
いしましたところ快くお貸し頂きました。

早速スカイプアウトで東京のユナイテッド航  
空予約課に電話して「12/8BKK~NRTのチケッ  
トを持っているがUAの対応策をお聞きしたい」  
との問い合わせをしたところUA窓口は「お客様  
のご希望は？」との対応に対して私は「シンガ  
ポール発に変更してほしい」との申し入れを行  
いました。UA側は上司の決裁を得て「お客(私)  
の負担でシンガポール空港に来る事と一度限り  
の変更」を条件に同日シンガポール発の座席確  
保を無償で成功しました。

さて、次はペナンからシンガポールまでの移  
動手段と宿泊ホテルの手配です。

この分は自己負担ですので安く手配する必要  
があるとハッスル、直行便を避けて格安航空会  
社エアアジアでジョホールバルまで飛び(15,0  
00 円/2 名)、乗合バスで出国/シンガポール入国、  
地下鉄でチャンギ空港へ(このルートは荷物を  
抱えての出国/入国の繰り返しで重い荷物を引  
きずりながらで少々家内からは苦言を)。

ホテルは翌日成田行きが早いので空港ホテル  
に宿泊(少々割高でした)

以上が今回のアクシデント克服の経緯です。  
この様なアクシデントは度々起こるものではあ  
りませんが、結果的には対応策に恵まれ少ない  
費用負担で無事難局を乗り切る事ができました。

今回も現地にご滞在中の会員の皆様の適切な  
アドバイス、そしてパソコン/スカイプを快く  
ご提供下さった渡辺様のご厚意がなかったらこ  
の様な結果は望めなかった事でしょう。

南の会のネットワークと困った時には手を差  
しのべてくれる会員の素晴らしさには感銘を受

けた旅になりました。

現地滞在中の皆様には有り難く感謝申し上げ  
る次第です。

さて、これからは添え書き。

私どもの旅では今回の旅のアクシデントは、  
実は3年連続3回目なのです。

実績だけで考えると[もしや、有馬さんはトラ  
ブルメーカー?と思われることでしょう。ケー  
スタデイとして皆様のご参考になればと恥を  
しのんでの報告です。

### [その1]

06-7月 チャイナエアライン(66,000-/2名)で  
ホーチミン訪問の帰路、チケット手配会社の手  
配ミスで帰りチケットが無効に、\$1700-/  
2名を現地で支払帰国。後日、手配会社が全額  
補償で実損なし。

\*リコンファームは必要なくともやった方が良  
いですね。

### [その2]

07-11月 米国からの帰路、乗り継ぎ空港の  
サンフランシスコ空港が霧の為に出発空港で待  
機の為乗継便に乗り遅れた。「霧は航空会社の  
事情では無いので保障外/明日の便に席を確保  
して安く空港ホテルを紹介しましょう」で\$20  
0-の損失でした。

\*ジョイントフライトでも安心できませんね。

### [その3]

08-12月 そして、今回のアクシデント

## 人間模様雑感

関東支部 No.747 坂本 忠夫

過日チェンマイ訪問後帰路途中のバンコクで  
の空港閉鎖に遭遇当該地区にて延べ4日間、滞  
在の止むなきに至りました、この間の苦労話し  
を新年号にどの要望を受けました。

人間過去経験、遭遇した苦労や困難は早期に  
忘却し楽しい事や心の琴線に触れる感動のみ脳  
に記憶される事により脳へのストレスを緩和維  
持するとの自衛本能説を唱える脳研究者の説が  
ありますが私も同感にて当時の不快な経験の大

半を忘却しつつありますので、今回チェンマイ滞在を含め経験した多国籍の旅客、人々との交流を通して得られた感動、人間模様などの雑感を以下時系列的に記載し報告とさせて頂きたいと思えます。

#### チェンマイ滞在/11月14-25日

南の会の現地在住、滞在中の会員の皆さんには現地事情、案内を含め大変お世話になりましたが会員以外でも、日本人とは殆んど付き合いせず現地タイ人との交流を心がける合気道指導者のHさん、並びにC L L会員のYさん等との会談を通じ、タイ人の精神構造や人生論等深夜までの痛飲、一期一会を楽しみチェンマイにも多士済々の日本人の在住を確認、該地の魅力の一端を垣間見、心強く感じ入った次第です。

#### 11月25日

タイ航空にてチェンマイ発バンコク（スワンナプームKK）国際空港（以下BKKと略称）に22時過ぎ到着、同夜23時50分出発予定のタイ航空成田行きに搭乗すべく、国際線トランジット エリアに到着、見ると案内表示画面に当該フライトのみならず深夜便のほとんどが次々とキャンセルの表示、何が起こったのか理解出来ず隣にいたオーストラリア人と一緒にタイ航空カウンターを探しに右往左往し一階のカウンターに到着するも誰も居なく丁度成田行き便がANAとの共同運航便であった為ANA担当者に状況を聞こうにもタイ航空の事は解らないとのつれない返事、周りの日本人達に聞いても誰一人現状不明。

夜が更けるにつれて徐々に反政府団体によるBKK閉鎖による混乱との現地駐在員情報を日本人出張者携帯電話経由入手、周りの外国人に状況説明感謝されると共に同国人の有難みを実感した。

真夜中以降それまでの冷房は止まったが、広大なトランジット エリアに何千人もの旅客が寒さに震えながらコンクリート剥き出しの土間の上にごろ寝を決め込むも寒くて寝られず、こ

の有様を身かねた土産物店、ドリンクスタンドの店員から、クッション材、ダンボール箱の提供を受け下敷に出来た幸運者も例外的には居たが大多数は所構わずコンクリートの廊下の至る所にごろ寝と相成り震えながら寒い朝を迎える。

#### 11月26日

早朝4時頃目を覚ますとその辺をうろうろ徘徊中の人間曰く、寒くて眠れないとの事。

当方も同様に一階に降り休息場所探し中、ビジネス ラウンジを見つけ混雑の中を奥に進み日本人二人の休憩場所横のスペースに何とか潜り込ませてもらって暫時仮眠。

目を覚まし周りを見渡すとなんと昨夜2階の当方横に寝ていたドイツ人がそこに居り驚くやら、ウインクしながらの朝の挨拶となった。

これら日本人は共にJICA関係職員でビジネス チケットにてラオスからバンコク経由帰国途中との事、盛んに日本及び現地関係機関と携帯にて連絡中でBKKの状況等も比較的良く入手出来重宝した。

内一人の職員がBKKの閉鎖が長期に亘る可能性があるのではその場合、空港内売店の水、食料品の無くなることを心配しそれらを2-3日分買占めバッグに収納するのを傍観するに及んで可笑しくもあり又多少心配になったが当方はなにもそこまではしなかったが、結果オーライで、昼頃サンドイッチと水がタイ航空より支給され、やっと一息つく事が出来た。

空港閉鎖は依然続行中で解除時期不明との情報と、午後2時頃になってやっと空港からホテルに移動するので外に出るようとの説明あり。

トランジット待合よりイミグレを通過、預け入れ荷物受け取り所は数千人分の手荷物がわずか2つのターンテーブルより次から次ぎ出てくるので現場は大混雑、約一時間後にやっと出て来た手荷物を引きずりバスに乗るべく建物外に出て見ると、バス停は人、人、人の大群衆で我先の乗車を目指して前列乗り場に殺到険悪な雰囲気である。

見上げると3階空港入り口付近に陣取る反政

府団体が発するアジ、激声が聞こえており。これを聞いた隣のフィンランドの若夫婦曰く（昨夜からの疲れのせいにご機嫌斜め）、折角の暖かいタイでの休暇もだいなしよ！ もう二度とタイには来ませんからねと声高に叫んでいたのが耳朶に残っております。

- - 水有りませんか？ はっと目を開いて隣の座席を見ると60歳代と思しき尼僧が疲れた表情でこちらを見ているのです。

BKKでのバス乗車時の混雑と疲れ、更に昨夜からの寝不足によりバンコク市内から南のパタヤのホテルへバス移動中の夜中7時頃のことです。

面立ちはどう見ても東南アジア系ですが、メルシーとの返事以降、暗い車中で約一時間、今回の旅の旅程—インドの釈迦の足跡を辿りタイ仏教の寺を回り帰国途中—、この女性の生い立ち、プノンペンで生まれ育ったがポルポト時代、両親、兄弟等殆んど亡くなり当人は大虐殺を逃れフランスに亡命現在はパリ在住で余生は仏への祈りによる心の安寧ですと微笑んだので、プノンペンのツール スレン虐殺博物館訪問時の当方印象等話すも当時のカンボジアは余りの惨状に出国、爾来30年経過するも一度も帰国していないと寂しげに語るのを聞くと、今でも恐怖のトラウマに苛まれているのではと暫時しんみりさせられ慰める言葉も有りません。

11月27日

パタヤ市中心街から離れた、アンバサダーホテル滞在タイ航空利用待機者推定5—600名は早朝から空港再開、移動手段の確保等情報収集と関係者への連絡に忙殺され、海辺保養地特有のノンビリ ムードとは程遠い精神状態で何時吉報が期待出来るのかと常時精神緊張待機状態。

ホテル内ビジネスセンタのインターネットも常時満席で利用できず、一階のインターネットカフェも使用不可で、対外との連絡はもっぱら現地購入携帯電話とプリペイドカード電話のみ。

昼食時隣の席のネパール人からの電話借用の申しでにOKし通話を聞いているとなんと日本

語ではないか、驚き詳細を聞くと、当人は現在ネパール政府派遣の日本留学生でネパール地域開発庁役人、盛んに日本政府関係者との連絡を日本語、英語で行い、日本滞在暦1年半にしては流暢な日本語にその後双方話が弾んだ。

東京到着後は一杯やろうと持ちかけるも当人ノーアルコールでベジタリアンですので宜しくとの聖人ご宣託に当方意気消沈、東京では何処に連れて行ったものやら？

昼過ぎタイ航空担当者（バンコク市内より5—600人のホテル滞在者サポート要員4—5名が同行、ホテル滞在中）より今日一日は空港再開の目途立たずとの報告時、矢庭に一人のフランス人が壇上に立ち上がり皆で情報収集、緊急相互サポートチーム結成の提案有り、演説の内容がタイ航空担当者の立場を側面から支援し皆でお互い助け合い、現地マスコミへの働き掛けをしようとの内容と話術に感心、さすが国際政治をリードするフランス人との感を深くした。

夕刻ロビーで情報収集していると件のネパール人を含む4人のカトマンズよりの同国人グループに夜のパタヤ市内観光に誘われ同行、パタヤ最大のショッピングモール見学後帰路運転手に誘われ良からぬ場所？に到着、暫時外で待機していると出てきた彼等は、彼女らはNGだとか活発に論議し意気軒昂な様を見、聞くにつけ熟年ネパール人に対する当方認識を大転換させられた一幕であった。

11月28日

夕刻5時過ぎやっとタイ航空側から小会議室での現状説明と今夜2便のみウタパオ空港から飛ばすとの説明に続き、一便は全ヨーロッパ向けパリ空港へ、残り一便は東アジア向け東京、成田との報告にヨーロッパ人達は歓声を、日本人達は音無し、ところがインド人達が声高に騒ぎ始め我々を如何してくれるんだと、一時は怒号が飛び交った。

当時ムンバイの同時テロ事件真っ最中にて彼等の異常な精神状態を勘案しても尋常な騒ぎではありません。

これら2便搭乗に不満の方々は明日以降のフライト待ちにて、搭乗同意者は今夜の9時ホテル出発準備を整えるよう発表有りやと帰れそよとの喜びを自覚。

この時点で25日深夜タイ航空便利用予定バンコク周辺待機者約1200人中半数の約600人を先ず出国させ残りは29日以降の状況待ちとの説明。

これら2便搭乗希望者達は夜9時20分頃バスにて分乗ホテル出発、ターミナルから遙か離れた真っ暗闇の野外駐車場に全員下ろされたが何の案内も無く暫時暗闇にて待機後、誰かがターミナルは遙か向こうの明かりの点いた場所だと言うので全員ぞろぞろと各人ゴルフバッグを含む全手荷物を引きずりながらやとターミナル到着。

収容人員3-400人規模の小規模ターミナルに何千人もの脱出希望者が殺到混乱を極める。

どこがチェックインカウンタか解らず入り口らしい場所目指して手荷物持参の難行苦行。

後方から押され押されてやと入ったのがイミグレカウンタ入り口、仕方なく手荷物持参でイミグレ通過やとの思いで待合室に入るも殆どの人々は立錫の余地無い空間で待機中。

ふと見るとゴルフバッグ2つの他重そうな手荷物をそれぞれ抱えた大阪の夫婦と隣り合わせ、お互いチェックイン無しで手荷物持参、今夜の搭乗チケット無しではまずいのではと思いタイ航空職員を呼んでもらい事情を話す。

話を聞き終わるや否やそのうら若き女性が烈火のごとく立腹、何でチェックインしなかったの？など等、我ら三人、ここはひたすら平身低頭が良策とぐと我慢の大五郎、パスポートと25日夜BKK発の古いチケットを手渡し、しばらくしてやと新しいチケットを受け取ることが出来たのでチップを渡そうと手持ちの1000円札を差し出したところ頑として受け取らず不機嫌な顔付きのままで行ってしまった。

深夜疲労時の又特異な状況下では微笑みの優

しいタイ女性は何処へやら、別の怖い一面を垣間見、興味深い。

11月29日

待つ事5時間余り、その間韓国のアシアナ航空2便、コリアン航空一便を含む外国籍エアライン6-7便が出発。

どうして韓国系航空会社がこんなに来るのかと隣の韓国人に聞くと、事態発生後韓国系航空会社はいち早くウタパオ空港に臨時便を飛ばしているとの説明あり、

更に日韓の緊急時の国家の対応の差異が今回明白との指摘が周りの他の韓人数人から聞かされ、さもありません感じ入ったがその真偽の程は如何であろうか？

彼らが日本語を流暢に話すので更に話を続けると、彼らは在日韓国人ではなく韓国生まれの韓国育ちだが語学を含め近隣国を勉強している韓国人の割合が我々日本人の逆の割合より遥かに多い事等、更には日韓、日中友好の話にも話題が拡大、日本側の韓国を理解する努力が不足しているのではとの指摘に、日本人の一人として耳の痛い率直な話を聞かされ大いに考えさせられながら現地時間午前4時やとバスにて駐機場へ移動4時30分頃、現地空港離陸、日本時間午前11時45分成田到着、疲労困憊の長旅ではあるが、他方収穫の多い旅に感謝一杯であった。

## 出発前の変更騒動

北海道支部 No.625 工藤 俊一

今回日本航空のマイレージを使って12月6日出発、チェンマイで滞在、その後2月にはチェンマイからペナン島へ行き、3月にはクアランプル経由で帰国する予定での手続きを済ませていた。出発日が近づいた頃にバンコク国際航空占拠事件があり、予定日にはいけそうもない雰囲気になってきたので日程を変更することにした。

今回はマイレージを使ってのチケット購入ということで、変更について面倒なことがあるの

かと思っていたが、対応も非常に親切でまことに簡単に変更していただいた。むしろ変更以前は北海道から成田の便が満席で、羽田経由での成田しか取れずに、大きな荷物を持っての成田までの移動を覚悟していたが、今回の変更では、成田行きが空いており、そちらへの変更もあわせてしてもらった。またマイレージの場合は、バンコク、クアランプールは同一地域ということで、行きはバンコク経由チェンマイ、帰りはペナン島に寄ってくる予定でしたので、バンコクに戻るより、ペナン島からクアランプール経由のほうが、国内便ということもあり、航空券の確保も容易なことから、かえってよかったと思っている。

今回のように事件がらみで、日程の変更を余儀なくされる場合、FIXの格安航空券での変更が可能であったのかどうか不明ですが、たまたまマイレージを使っただけの予約だったので、このあたりはラッキーだったように思う。さて問題はタイ航空の予約変更だが、こちらはなかなか電話が繋がらないということもあっていらしたが、つながってみると意外にすんなりと、日程の変更ができ一安心した。

道中バンコク空港を含めて、デモ隊占拠による後遺症はまったく見られず、例年と同じように、チェンマイまで乗り継ぐことができた。

さて余談になりますが今回もノービザで来て一回国境まで出て再入国で2ヶ月滞在の予定だったが、そんなわけで半月予定が縮まってしまったが結局一ヶ月半の滞在になってしまった。これも幸いした。12月5日から法律が変わって、空路の場合の出国再入国は一ヶ月の延長、陸路での出国再入国は15日となったと聞きました。とすればこれまたラッキーだったと思っています。というのは一ヶ月半の滞在のうち一回は陸路での出国再入国を考えていたからです。

当初の予定では空路での出入国しか選択肢はなかったことになります。

それでも2日ほど足りなくなるので、空路での隣国旅行で一ヶ月延長にするか（半月の余裕ができる）、陸路で国境までの日帰り旅行をして、2日予定より早くペナンへ向かうか、考慮中で

す。

今回の空港占拠事件私のにとっては、手続きに多少の時間はかかりましたが、結果はむしろ日程変更してよかったなどと思っています。

## チェンマイから

関東支部 No.1313 竹内 拓、恵梨子

9月9日から3カ月、過ぎてみればとても短く感じる滞在でしたが、支部長さんはじめチェンマイ在住のみなさま方には本当にお世話になりました。

チェンマイは初めてで、右も左も分からない私達夫婦に対しそれは温かく接して下さい、生活の一から十まで教えて頂いて、大変楽しくまた思い出に残る滞在となりました。

最初は、自分達だけではとても乗れないとしり込みしていたソンテオやツクツクにも乗れるようになりました。大きなワロロット市場に連れて行って頂き、素敵なお店を買って市場内の2階で丈を直してもらったりもしました。見たこともないような食材に目を見張ったり、沢山の花や果物に感動したり、おいしくてリーズナブルなレストラン、日本語で書いたメニューのあるお店もたくさん教えて頂きました。本当にありがとうございました。

ところで、今回バンコクの空港閉鎖に巻き込まれてしまったのです。またそのことで酒匂様からお電話を頂き、ぜひその時のことを書くようにとのご依頼がありました。チェンマイで大変お世話になった酒匂さんのお勧めですので拙い文ではありますが、ここに記させて頂くことにしました。

当初は11月27日にチェンマイを離れる予定（タイ航空、バンコク経由成田行き）でしたが、バンコク空港占拠というハプニングが発生したため、予定を変更せざるをえなくなりました。

まずは、タイ航空のオフィスに行き、27日のチケットを30日のものに取り換えてもらえて喜んでいたのですが、そんなに早くには事態が収まりそうにはなくなってきました。だんだん不安になってきた私達に、追い打ちをかける

ようにバンコクを通らないですむ第三国経由便も9日までは空席がないという情報が流れてきたのです。

大慌てでチェンマイの数社の旅行代理店に“何とかありませんか？”とお願いしてみました。でも、“会社のコンピューターもパニック起こしているんですよ。とても大変な状況です。”との返事。

困り果てていたところ、ある人から“空港に行って直接航空会社に当たった方が早いですよ”とのアドバイスをいただきました。

そこでチェンマイ空港に赴き、先ずタイ航空の30日のチケットを12月3日（仕事に間に合う最後の日です）発のものに切り替えてもらいました。そうはいつても、その3日でも空港が解放されるかどうかは非常に不透明な状況になってきていました。

“念のためバンコクを通らないチケットも申し込んでみたいのですが。”

主人が更に頼み込んでみました。窓口の方は隣の窓口を指さして

“そこに行ったらいいでしょう。”

その窓口には既に何人もの方が並んでいましたが、順番を待って、

“バンコクを通らないで成田に帰る便のチケットはありませんか？”

駄目と思っても藁をもすがる思いです。

係の方もいろいろ調べてくれましたが、案の定その日は取れませんでした。

日本での仕事が待っている私たちが諦めきれずにいると、その窓口のお嬢さんがこう言われました。

“明日も来てごらんになってはいかがでしょう。”

“え?!ということはいくらかの可能性があるということですね?”

“そうですね。フィフティフィフティでしょうか。”

私達に望みが出てきました。

翌日、期待半分あきらめ半分の気持ちでもとにかくその窓口へ行ってみました。前よりも混んでいます。

“不安・・・”

自分たちの番が来ました。

“お願い、取れますようにっ!”

“台北経由で成田までお二人とれます。中華航空です。”

“やった~~~~っっ!!!”

天にもものぼる気持ちです。

窓口のお嬢さんもニコニコ。

“ありがとうございます♪”

具体的には、12月2日9時30分チェンマイ発、台北でのトランジットタイム2時間50分、同日20時45分成田着というものでした。

チェンマイ空港までもが閉鎖にならないことを願い、ちょっとドキドキしながら2日を迎えました。

いよいよ飛行機に乗り込みます。ところがなかなか飛び立ちません。少し不安に・・・

5分、10分、20分・・・30分遅れで無事機体が地上を離れた時は、“ああ、ほんとうに出国できたのだなあ。”と実感でき、嬉しく、安堵致しました。

ただ、この飛行機に乗ってみて驚いたのは、空席が20席以上あったことです。今回のための臨時便だった様です。私たちは本当に運が良かったのだと感じました。

“中華航空”という今までに乗ったことのない飛行機会社でなんとなく不安を感じていたのですが、実際は職員の方々もとてもしっかりしておられましたし、機内もきれいで整備もきちんとされているようで快適な乗り心地でした。

台北まで3時間、台北から成田まで2時間半。朝出発の夜到着で旅の疲れをほとんど感じないで帰国できました。それと同時にこういう便が定期便に取り入れられると良いのにと強く思いました。この様にして私達二人無事日本に戻り、仕事にも間に合いました。

でも思いは既に・・・“チェンマイ♪”

# ハワイの楽しい生活

関東支部 No.1106 中牟田登・富美子

## 1. ボランティアで皆様のお世話をします

ハワイでの生活は午前中グランドゴルフやゲートボールを午後は日本時間に合わせパソコンを使い日本と連絡します、日系ハワイ人との交流が盛んになり、ハワイグランドゴルフ協会に所属し、'09年2月16日の日本・ハワイのコンペにはハワイ側から参加し日本チームの皆様のお世話もします、日本に居てもボランティアでハワイとの連絡係をやっています、最近ではハワイ大学の付属校でも日本文化の体育科目としてこのグランドゴルフが正式に取り入れられ我々もボランティアで何かと協力する様にして居ります。

## 2. ハワイの生活費は高くない

ハワイでの生活費は高いと思われて居る様ですが、コンドは一ヶ月\$1500. に手数料や税金が掛かりますが、住居費以外はやり次第では日本より安く生活できる筈です、日本食は高いですが、現地の人と同じものを食べる様にすればむしろ日本で生活するより安く上がるし贅沢しなければ新鮮な空気と美味しい水は何処に居てもただですから日本で暮らすよりもずっと素敵な生活が沢山ある筈です、対人関係でも皆さんストレートに話しますし、ストレスも溜まらないでしょう

ゴルフ仲間とも親密になり、お互いの家へも



気軽に伺い付き合いの輪も広がりました、

アラモアナ公園でのグランドゴルフの後にはピクニックと称し持ち寄りでお安上がりな昼食をしながらオシャベリします、我々は日本と同様の生活をし食事もお安上がりです。

## 3. ハワイ4島めぐりのクルージング (3食昼寝付きで奥様に人気)

毎年1・2月はホノルルの人達と合同でクルージングに参加します、'08年はラスベガスへ行こうと云う事で総勢20名で全て手配完了となりましたが、私自身は正月早々体調崩しドクターストップで直前にキャンセルし皆様に迷惑を掛けてしまいました、これらはゲートボールのメンバーが中心になり行く先々でメンバーの人達が全て面倒見て呉れます、沖縄県人会の方達が積極的に活動して居りました、

前回'07年は総勢18人でハワイ4島めぐりのクルージングをしましたが、3食昼寝付という事で特に奥様方に人気があり'09年も同様のハワイ在住者向けの安い価格で申し込んで居りましたが、今回はスケジュールが合わず取り止めに成ってしまいました、

ところで船内ではどんな事をやるかと申しますと、まずは食事の予約を先にやります、でないと人気のレストランはすぐ一杯になりますので、次にパソコンの連結テストをやり、あとは



船内の探検をやります、特に夜は色んな催しものがありますので自分の好きなものを見て廻ります、船内では右舷と左舷を間違えたりして良く迷子になったりします、ハワイ4島めぐりの場合は夜の間に走り、朝次の島に着き上陸しますので大変効率よく時間を有効に使えます、船内の食事などは余り期待出来ませんが食べ放題ですので、ついつい沢山注文して食べ切らず半分以上食べ残したりして気まずい思いをした事がありました、

歌手の森進一とフアクラブご一行様60名のおばさん達が一緒になったりして船内もにぎやかでした。

#### 4. ハワイはホームレスの天国か？

ハワイは一年中温暖な気候で冬でもコート要らずで空気は乾燥し真夏でも涼しい風が吹いて居り、ハワイ中何処に居ても空気、飲み水、シャワーそれにトイレも至る所にあり、これらはすべてきれいで無料です、従ってアラモアナビーチパークの大きな樹の下でテントでも張って暮らせば雨が降っても大丈夫快適に過ごせます、高い税金を払う事もなく優雅な生活が出来る様な気がします、四季のある日本のホームレスが気の毒な位です、グランドゴルフに行く途中公園で目が合うとそのホームレスちゃんはモーニングと挨拶します、白人は無視するようですが日本人は差別なくちゃんと挨拶を交わします、

蠅は居りますが蚊は居ない様です、従って蚊に刺されて病気になる事もないと思いますが？

も少し若ければ私もビーチの砂の上で一夜を明かすことも可能かと思ったりしますが――

朝早く海岸を散歩すると若い男女がビーチで寝ていたりします、ハワイは矢張りホームレスにとっても天国です。

#### 5. もしも病気になったら

‘08年夏は体調が悪い上にハワイでも風邪が流行っていた様で友人の中にも2週間位顔を出さない人が何人か居りました、私もベランダでうたた寝した際にのどを痛め“Doctor on Call”に電話し送迎付き自己負担なしで診察して貰い



ました、

先ずは海外旅行傷害保険証とパスポートが必要です、日本語で簡単な書類を書いて待ちますが、兎に角冷房が効いていて上着が必要でした、日本語を話す看護婦さんが血圧、体温などを測り、ドクターは問診のあと軽い風邪と診断の上

薬を出しますが、この薬は強力で却って病人らしくなります、矢張り風邪薬と正露丸位は日本より持参した方がよい様に思いました、ハワイでは医療費は高く、救急車も高くて有料です、旅行傷害保険は矢張り必要でしょう。

#### 6. ハワイでの生活は現地の友人達と！

ハワイでは日本からの旅行者との付き合いは少なく、現地の日系人と遊ぶ機会が多く、生活のリズムも合うし、長期にお付き合い出来る様になりました、

お互いシニアが多いので、朝早くから大体午前中一杯グランドゴルフ等で遊び廻り、昼食はゆっくりとオシャベリしながら、また情報交

換の場でもあります、

また午後にはホテルのプールで泳ぐか、ヒルトンホテル前のビーチで泳ぎますが、泳ぐ時間よりもビーチで寝そべて居る時間が多いです、

また暇な時はワイキキのホテル街を廻りロビーで新聞を読んだり、各種の催しものを見たり、お店を冷やかしたりします、

最近では、誕生日、快気祝い、送別会など、

夜は何かと理由を付けてパーティーをする様になりましたし、良く招かれる様になりました、

小さなパーティーでは5／6家族が招かれて集まり、また豪邸の別荘などでは沢山のお客が招かれ、交友の輪も広がり、夜遅く迄オシャベリしながら飲んだり食ったりしてハワイの夜を楽しみます、

## 南国暮らしの経済モデルの再検証

関東支部 No.922 檜尾 隆之

### 予期していなかった世界的な信用収縮

2008年10月、欧米の金融危機に端を発した100年に一度かとも言われた世界的な信用収縮が起き、海外市場だけでなく東京株式市場も安値をつけました。

投資信託などに貯蓄を振り向けていた退職後の私たちの大事な金融資産も大きく目減りしました。私たちの退職後の経済モデルも、見直しが必要です。

米国では、ここ数年上昇してきた住宅価格の上昇が止まり、2006年から下落に転じました。米国民は住宅価格の上昇を前提に、住宅を担保にしたサブプライムローンを組み、レジャーや過剰な消費活動を続けてきたので、住宅価格の上昇という前提が崩れると、ローンの返済ができなくなりました。

1990年頃から人口は13億と言われる中国、人口は11億とも言われるインドなどの経済成長が始まりました。発展途上のため、まずは衣食住、道路、港湾、通信、鉄道、上下水道などインフラ整備が必要で、生活を豊かにすることが先決でした。そのため、2000年頃からは、国外から大量に原油、金属、穀物などを輸入し、消費するようになりました。

アジアに続いて、ロシア、ブラジル、中東産油国、トルコ、南アなどが経済成長しています。イスラーム圏は、合計すると人口15億、イン

ドと同様の人口増加があります。これらを背景に、2000年頃から原油価格が値上がりを始めました。サウジ、クエート、オマーンなど中東産油国は、原油代金収入で潤い、中東産油国には巨額の金融資産が形成されていきました。産油国資金は、ロンドンの金融を通じて、米国、欧州、アジアの株式、国債などに投資されました。

こうした資金は米国などにも還流していました。米国はその資金で、中国、インドなどから商品やサービスを輸入してきたので、米国の消費経済のおかげで国際的にお金が回り、世界経済は成長していました。

ところが、米国で住宅ローンの信用収縮が起こると、それに続いて金融証券化資産に巨額の投資をしていた銀行、証券会社、投資ファンドなどに信用収縮が波及し、金融機関が自己資本比率を維持する必要から、世界中で急激な証券化資産の現金化の動きが起こりました。

原油、穀物や金属など商品市場からも投資資金が引き上げて、これまで数年続いていた国際的な投資の流れが、一気に逆流するような事態となりました。

### 日本経済の短期予測

こうした金融危機や信用収縮の中でも、日本経済は欧米に比べて健全な度合いが高いと言われています。日本は1990年代から2003年まで、

バブル後の不良債権処理に苦しみましたが、そのあと日本では金融機関がリスク資産に対する投資に慎重になっていたのが幸いしました。

日本経済は米国の消費経済、新興国の輸入があったおかげで、輸出企業を中心に外需で稼ぐ企業部門は好調を維持してきました。ただ、国民の大部分は経済の好調をそれほど、実感できていません。

どうなるか分からない日本の行方に不安を持ち、食品の値上げを前に家計は収縮を始めていて、サイフの紐は締まってきました。国内外の旅行も手控える人が多くなりました。自動車の新車販売は低調、住宅や不動産も動きが乏しく、需要は落ち込んでいます。

さて短期的な日本経済は、これからどうなるのか？

正直に言えば、あっさり、「どうなるかよく分かりません。」

無責任に言えば、(1) 年金問題の財源を模索する流れの中で、何年か先には消費税を 10 % 程度にまで上げることになるでしょう。(2) 世界的な需要の増大を背景に中長期的には、食料品、石油、金属、建築資材などの、生活関連物資の値上がり傾向が続くでしょう。(3) インフレ対策のため、政策金利は段階的に上げていくでしょう。(4) 人口動態統計をみると、これから住宅や不動産を取得する、25 ~ 35 才の年齢層の人が増加します。これは、今後の日本経済に明るい材料です。(5) 日本は 1 ~ 3 年間の経済停滞の後、再び景気回復軌道に乗るでしょう。円高にも抵抗力のある付加価値を持った製品の輸出のためには、新たな技術革新が必要ですが、日本人は底力を発揮していくでしょう。内需拡大になる積極的な景気刺激策も必要になります。

私たちの南国、とくにアジア諸国では、日本に比較して物価が安いという状況があります。そこに着目して、南国暮らしと言って、費用の安くすむ滞在や移住を考えてきた方々が多いはずです。

ところが、アジアの国々でも、今では基本的には日本と同じ経済環境の変化が起きています。生活関連物資の値上がりや、インフレ傾向は日

本よりも急激に起きているという統計があります。

南国暮らしの目的、滞在の短長期の別、個人的な計画の多様さはありますが、南国暮らしの際の家計部門の経済モデルを、もう一度、考えておくことが必要ではないでしょうか。

資料：アジア主要国の対前年比、物価上昇率、  
(出典：アジア開発銀行まとめ、  
日本は総務省資料) (2008 は予想)

|      | 日本   | タイ  | 中国  | 韓国  | シンガポール |
|------|------|-----|-----|-----|--------|
| 2008 | 0.3  | 4.0 | 5.5 | 3.4 | 5.0    |
| 2007 | 0.0  | 2.4 | 4.8 | 2.4 | 2.2    |
| 2006 | 0.3  | 4.6 | 1.5 | 2.2 | 1.0    |
| 2005 | -0.3 | 4.5 | 1.8 | 2.8 | 0.5    |
| 2004 | 0.0  | 2.8 | 4.0 | 3.7 | 1.8    |

## 退職時に年金以外に、現金 5,000 万円持っていたら

生命保険文化センターが全国の 4,000 人余りに聞き取り調査した「平成 19 年度生活保障に関する調査」によると、回答者が挙げた「ゆとりある老後の暮らし」にかかる世帯の月間生活費は平均で 38.3 万円です。25 年間で掛け合わせると、トータルの生活費支出は約 1 億 1490 万円にのびます。

一方、老後を夫婦 2 人で暮らしていく上で、必要と考える最低日常生活費は月額 23.2 万円と、「ゆとりある老後の暮らし」よりも 15.1 万円低い。この場合でも 25 年間トータルでは 6,960 万円になり、老後 25 年間の暮らしには最低でも、7,000 万円余りの資金が必要であることとなります。

総務省、平成 16 年の「全国消費実態調査」によれば、日本、全国平均の世帯の月額消費金額は、320,063 円です。これには、高度医療の負担や、たびたびの海外旅行、趣味に投じる費用などが十分に見積もられているわけではありません。住宅の建て替えやリフォーム、親やパートナーの介護費、最近広がりつつある国内 2 地

域居住、海外ロングステイなどの生活形態を実現するための費用は含まれません。ゆとりあるシニアライフを思い描くのであれば、7,000万円よりもかなりの上積みを考えなければなりません。

インフレの流れになれば、現在の貯蓄額はインフレ分を割り引いて考えることが必要です。75歳以上が加入する後期高齢者医療制度のようなシニア層の公的負担がさらに重くなる可能性がある上、年金財政の窮迫を背景に、年金制度の見直しや、財源確保のため、消費税の改定もなされます。

資産運用でリターンを期待して収入を得ようと思うのであれば、その分は余裕資金として扱う必要があるため、日常の支出には使えません。

厚生労働省が想定するモデル世帯の年金は夫婦2人で計23万円程度です。先に挙げた「ゆとりある老後の暮らし」の生活費支出には毎月約15万円も足りません。残りは自分で考えていくしかありません。

退職後の収入としてまず考えられるのが、比較的安定した金融商品からの金利収入です。預け先としては、銀行の定期預金があります。ただ、昨今の定期預金は、金利が年1%程度にとどまります。仮に5000万を預けても、1年間で50万円程度しか金利収入は見込めません。一ヶ月に15万円使っていたら、3ヶ月分しか持たない計算です。

退職時に現金で5000万円の貯蓄があっても、特に運用もしないで単純に取り崩していくと、一ヶ月当たり15万円の支出ペースが続けば、30年程で使い果たしてしまいます。60歳退職のケースでは90歳まで持つ計算になります。

それでも病気になった時の医療費や事故、住宅建て替え費用、親やパートナーの介護費などの追加コストが発生すると、老後の生活ではかなりの節約をしなければ、お金が不足することになります。

年利3%以上の長期安定した資産運用を考えるか、あるいは支出を抑えた生活のため、思い切って何かの解決策が必要になります。

## 南国暮らしは老後の生活費を節約する解決策になるのだろうか？

会報秋号で、南国暮らしの経済モデルについて考える上で貴重な投稿がありました。

これまでに、サロン会などで報告されている情報やMLへの投稿と合わせて整理すると、次のようになりました。

Aさん、海外生活（ペナン）、年1回日本へ帰る：  
海外費用、215,100円、日本費用、60,000円、  
月額費用合計（2人分）、275,100円。

Bさん、海外生活（ペナン）、年2回日本へ帰る：  
海外費用、249,900円、日本費用、181,300円、  
月額費用合計（2人分）、431,200円。

Cさん、海外生活（バンガシナンに購入済みの自宅あり）：  
海外費用、180,000円、日本費用、0円、月額  
費用合計（2人分）、180,000円。

Dさん、海外短期滞在（チェンマイ、3ヶ月滞在）：  
海外費用、358,750円、渡航費用、66,000円、  
月額費用合計（2人分）、424,750円。

日本に比べて物価が安く、生活費がかからないので、海外移住やロングステイなど南国暮らしに向かう人が増えているとの見方が、ここ数年の間、雑誌やTVなどでよく紹介されてきました。

上記の4つの少ない事例では、このような見方を検証するためには、まだデータ不足であろうと思います。

しかし、上記の事例は日本での最低日常生活費月額23.2万円や、「ゆとりある老後の暮らし」にかかる世帯の月間生活費は平均で38.3万円という数字と比較して海外生活がどの程度の費用がかかるのかの参考情報を提供してくれています。

私は仮説として、次のように考えています。

1995年頃、諸先輩に伺ったところ、中国などは物価が安いので、日本にいる時の10分の1の生活費で暮らせる、タイやマレーシアに行け

ば、日本の5分の1とか聞いたような気がします。いずれはそうした暮らしも良いのではと、将来の選択肢に入れておりました。

でも、その後、現地通貨は対円で強くなっています。加えて、食料品や石油製品など、南国暮らしを含めて、世界的なインフレ傾向はどこも同じです。

最近では上記の事例に見られるように、日本での生活費月額と比べて、南国暮らしが著しく費用がかからなくて済むとは限りません。

これからの南国暮らしは、生活費など費用が安いからと考えるよりも、温かい南国で好きなスポーツや趣味を楽しみながら過ごせることの充実感の方が重要になるでしょう。夫婦で月、4～5回のゴルフは、日本では望めませんし、少し移動すれば透明度の高い海でシュノーケリングができます。自然が豊かで、日本にはない植物や果物、美味しい食べ物がある。気候が良いので身体に良い。土地の人たちと交流するの

が楽しい。南国暮らしをしなければ味あえない意義のある活動ができます。

その場合でも、南国暮らしを計画する上では、従来にも増して退職後の「南国暮らしの経済モデル」について、十分に慎重な見通しが必要です。

退職時にまだ住宅ローンがある方は、できるだけ早く完済しましょう。

生活資金と、予期せぬ事態に備えた安全資金を区別しましょう。

生活資金と安全資金の、それぞれの収支を月1回、監視する仕組みを作りましょう。

向こう25～30年の予定収入、予定支出のバランスシートを作ってみましょう。

その上で、南国暮らしの場合の海外費用と日本に帰った時の費用の見通しを「南国暮らしの経済モデル」の形で、慎重に見積もる必要があるように思います。

#### 参考資料：南国暮らしの経済モデルの事例

| 月額費用（2人分）   | 海外生活<br>Aさん<br>ペナン | 海外生活<br>Bさん<br>ペナン | 海外生活<br>Cさん<br>パンガシナン | 海外短期滞在<br>Dさん<br>チェンマイ |
|-------------|--------------------|--------------------|-----------------------|------------------------|
| 住居費         | 70,000             | 56,100             | 購入済自宅                 | 60,400                 |
| 食費          | 28,400             | 47,190             | 40,000                | 51,000                 |
| 食費以外の生活費    | 43,000             | 110,970            | 70,000                | 178,150                |
| レジャー、旅行など   | 73,700             | 35,640             |                       | 69,200                 |
| 小計（海外費用）    | 215,100            | 249,900            | 180,000               | 358,750                |
| 日本帰国の航空機月額  |                    | 83,000             |                       | 66,000                 |
| 日本の自宅維持費用   |                    | 98,300             |                       |                        |
| 小計（日本費用）    | 60,000             | 181,300            |                       | 66,000                 |
| 月額費用合計（2人分） | 275,100            | 431,200            | 180,000               | 424,750                |

# 馬祖諸島訪問記

関東支部 No.619 鈴木 幸男

《馬祖諸島訪問記》2008年10月6日～8日

## <北竿>

台湾側の要請で馬祖諸島へ行って来ました。この招待は「(財)台湾大学建築與城郷研究發展基金会」と言う、大変長くて厳しいお名前の所からの依頼でしたが、本家本元の依頼先は、「馬祖政府」正確には「中華民國 福建省 連江县政府」つまり県庁からのご依頼らしいです。

目的としては

- 1) 馬祖に日本人ロングステイヤーが来てくれる需要の有るか。
- 2) 来てくれるとすれば、ソフト、ハード両面でどのような事が必要かと言う事をアドバイスして欲しいと言う事でした。

「馬祖諸島」は「北竿」「南竿」「東引」「呂(+草冠)光」と言う大きな島々と、たくさん的小島からなっています。県政府は「南竿」に有ります。

1992年に戦時体制を解かれて、1999年に国家風景区(国立公園)に指定され、観光客が入れる様に成りましたが、外国人はパスポートの携帯を義務付けられていますのでお忘れ無い様にご注意下さい。

台中の「振英会館」を6時に出て「高鉄台中駅」まで行きました。ハイヤーを呼んでもらい、350元でした。20分位で着きました。

台中から「高鉄」(通称：台湾新幹線)に乗って台北駅に着くと、今回の直接の依頼先の「基金会」の方で台湾大学OGの鄧さんと言う女性の方が待っていてくれました。台北駅から台北松山空港へ移動して国内線で馬祖諸島の島のひとつ「北竿」と言う島へ行きます。台湾本土からは、台北と台中から定期便の飛行機が飛んでいますが、空港が小さく飛行機も小さいプロペラ

機の為天候によりしょっちゅう欠航するそうで、渡航の場合は日程の余裕を見ておいたほうが良さそうです。台北からは50分くらいで着きます。フェリーも基隆から出ていて、10時間程掛かります。

「北竿」の空港は諸島の中では一番新しく滑走路も長い飛行場です。さすが以前は大陸との最前線の島だったので、軍事施設や軍の車や兵隊があちこちに見受けられます。諸島全部で軍人は千人位らしいですが、多かった時は2万人からの軍人が駐留していたそうです。島全体が要塞と言う感じです。

空港を出ると今晚の宿の「地中海民宿」の経営者の息子さんが、「基金会」のもう一人の担当者、許さんと言う、これも台湾大学OGの女性の方と一緒に迎えに来てくれていました。この空港の有るところは、「塘岐村」と言って、「北竿」ではこの空港の周りが一番の繁華街になっている様で、お店や大きな廟やホテルなどが有ります。

待っていたワゴンに乗って「板里村」に有る観光案内所へ行きました。ここのピークシーズンは7、8月の夏なので今は閑散としていたが、映写室へ案内していただき、「北竿」の大まかな観光案内の映画を見させてもらいました。思っていたより立派な施設で観光にかける期待感が伝わってきます。

そこから少し行ったところに「北海抗道(午沙坑道)」と言う花崗岩を彫って作ったトンネルが有ります。「南竿」にも同じ名前でもう少し大きなトンネルが有ります。硬い花崗岩を彫って作ったトンネルなので当時の兵隊の苦勞が偲ばれます。トンネルには照明がついていて、脇には手すりの付いた見学道が続いています。潮の満ち干によって、見学道が冠水してしまうので満潮時には入れません。特に大潮のときは完

全に水没してしまうそうです。

このトンネルは有事のときに船を隠す為のトンネルだそうですが、それにしても幅が狭く、役に立ったかどうかは分かりません。



北海坑道（午沙坑道）

ここへ来る前に小さなダムを見ましたが雨水を貯めて飲料水に浄化する浄水場もありました。ダムは「北竿」に2箇所あるそうですが、川が無いので雨水が貴重な水資源になっています。そこから荷物を置きに一度宿へ行きました。

宿は民宿で「芹壁村」と言う所に有り、空港の西側になります。ここは別名「地中海村」と言って、ここ独特の花崗岩の石を積み上げて出来た家が並んでいます。一見、地中海のギリシャやスペインの田舎町と言う感じがするなかなか洒落た良い町並みで、もう少し整備すれば大変良い景観になると思います。

屋根は、又独特の屋根で、瓦葺なんです、瓦を土などで止めないで重ね、その上に石を重石に乗っているだけです。瓦を交換するときは、石をどけて瓦を交換後又石を載せておくだけで良いそうで、風の強いこの地方の独特の知恵だそうです。昔は漁業で裕福だったのでこのような花崗岩で作った家が建てられたそうです。これらの建物は別名「一顆印」式建築といわれ四角い中国式印鑑の形をしています。これも嵐に強い家と言う事と、海賊に襲われても防ぎやすいようにと、窓も高くて小さいこのデザインになったそうです。

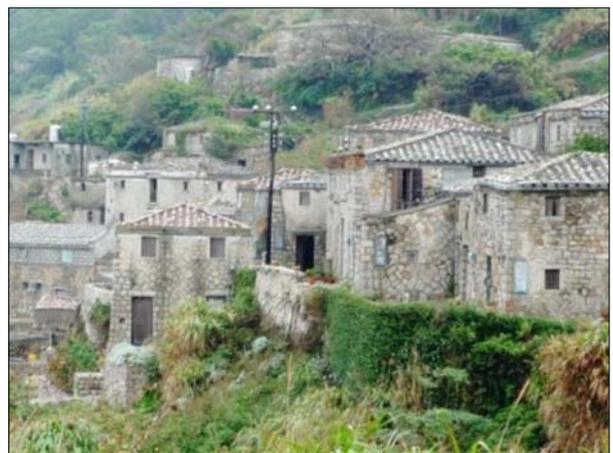


地中海民宿のレストラン

ここ前の海には「亀島（芹仔）」と言う亀に似た島があります。大きな亀と小さな亀の5匹が見えるそうですが私には余り分かりませんでした。ちょうどこの島のはるか向うに大陸の影が見えます。天気の良いときは良く見えるだろうと思うほど近いです。

この集落には「芹壁地中海民宿」と「芹壁休閒渡假村」の二つの民宿があります。私達は「渡假村」方へ泊まることにしました。窓を開けて見える風景は写真などで見る地中海の景色にそっくりでした。

荷物を部屋に置いた昼食を取りました。馬祖初めての食事だったので楽しみでした。出たのは馬祖の名産で老酒を作るときに副産物として出来る、紅麴から作った味噌のような「紅糟」と言う調味料を混ぜて作った「紅糟炒飯」と「佛手（亀の爪）」と言う貝のような物を茹でた物と「貝入り野菜炒め」に、漁獲した魚を出来るだけ長く保存できるようにと考案した、魚



芹壁の家並み

のすり身を小麦粉に混ぜて作った「魚麵の炒麵」が出ました。みんな珍しい郷土料理ですが、味付けも日本風で魚介類が主体な為、大変美味しかったです。馬祖の食べ物は私に合いそうです。

「紅糟炒飯」は老酒の匂いがプ〜ンとして今までこの様な料理は食べた事は有りませんでした。「佛手」は本当に亀の爪のような貝で硬い部分を横に潰して中身を食べますが、今は時期外れの為小さいとの事で食べるのに大変でした。「魚麵」は食感と歯ざわりが良く味は本当に魚の味がしますが、生臭くは無くイケるものでした。珍しいものばかりで感激でした。

食後、又民宿の車で今度は空港の東側にある「后沃村」へ行きました。ここは昔、島で、北竿とは砂洲で結ばれていて干潮時にしか渡れなかったらしいのですが、今は埋め立てられて道路が出来ています。左側住宅の奥には新しい「楊公 八使廟」と言う廟が有ります。その先を上に進むと「馬祖軍事記念公園」が有ります。

そこの絶壁には06拠点と08拠点と言うトーチカや洞穴が有りました。空の弾薬箱や戦車や大砲が飾ってあり、臨場感に溢れています。記念館もあって中には機関銃や兵隊服などと一緒に大陸から届いた街宣チラシ入りの砲弾が飾ってあります。お互いにチラシや写真を入れて打ち合ったらいいです。台湾側からのものには、「テレサ・テン」の写真などが入っていました。

そこから戻って先ほどの廟まで来ると、ちょうどお祭りの真っ最中でした。今年は大陸から馬祖神をお迎えしてから100年に成るという事で、「北竿」では彼方此方でお祭りが有るそうです。一番大きいお祭りは、「糖岐村」の「蕭王府」と言う廟のお祭りです。ここの廟もまだ新しい廟で立派な大きな廟でした。明日は盛大なお祭りがあるそうです。お祭りを見てからまだ若い村長さんの家へ行って手作りのお酒をご馳走になってしまいました。

宿へ帰ってから再び糖岐村へ戻って食事をしました。又海鮮料理で大変美味しかったです。食後、町の劇場で「京劇」が有ると言うので見に行きました。台湾本土からの巡業だそうです



村のお祭り

が、ここ馬祖諸島は、物も人も大陸との依存関係が強くて、家に使う材木などは殆ど大陸から来るそうです。漁師なども大陸から人を呼んで使うそうですが、上陸はできないので寝泊りは船の中でするそうです。

京劇の物語は西遊記が主なものでした。曲芸や笑いがふんだんに有り楽しいものでしたが、朝早く台中を出て来た為途中で不覚にも眠ってしまいました！！

翌日は朝民宿で朝食を取りました。コーヒーと、昔、明の將軍威繼光が戦いの最中でも食べられる様にと、ドーナツのように真ん中に穴を開けて紐を通して胸からぶら下げていたといわれるパン（繼光餅）を頂きました。焼くときは釜の内壁に貼り付けて焼きます。上にゴマがまぶしてあってとても香ばしくて美味しいです。これを半分にして間に肉や魚や野菜などを挟んで食べるととても美味しいです。別名「馬祖ハ



地中海民宿の食堂

ンバーガー」と言うそうです。1個13円くらいで町でも売ってました。美味しいのでお替りしてしまいました。

食事してから10時に始まるお祭りを見に行くために「芹壁地中海民宿」にお別れしました。今度はもう少し天気の良い頃に来て見たいと思います。(台風の影響か毎日ぐずついた天気が続いています)

「糖岐村」に有る「蕭王府」へ行きました。既にお祭りは始まっていて、沢山の人が昔ながらの装束に身を飾って集まっています。この儀式に参加している若い人たちは皆常駐している兵隊との事でした。それで無ければこの過疎が激しい田舎にこんなに若い人がいるわけは有りませんね。

馬祖中から集まった神様が神輿に乗ってやってきます。お互いに神輿をゆすり、傾けています。何か神様同士で挨拶をしてお話をしているのだそうです。とても面白いと思いました。連江県の県長(県知事)はじめ政府関係者や廟関係者、又桃園県や台北や新竹などの地域から来た来賓などの参拝が終わり、子供たちや島内の方々の踊りなどのアトラクションが続きました。昔、民国60年代の初めにこの島に移り住んで来たといわれる、台北県中和、桃園県八徳、中歴一帯からの方たちとの関係者かなとも思いました。祭りはとても盛大なものでした。

祭りの後に町をぶらつきましたが、結構沢山のお土産屋さんが有りました。後で行く「南竿」よりも地元密着のお土産が手に入るかもしれません。



御祭り

特に「魚麵」は「北竿」でしか作ってないようで2大ブランドの「阿婆の魚麵」と「魚之郷」はここで作っています。「阿婆」のお婆さんに偶然会いましたが、私が袋の写真の本人ですと言って得意になってました!!6個入りが80円で10個入りが120元でした。「紅麴紅糟」は各家庭で色々な味付けで作るそうで、地中海民宿の方に自家製の物を分けて頂きました。糖岐村の空港の周りにはレンタカーやレンタバイク、タクシーの店が有ります。日本の免許証と台湾の許可書で運転は出来ますが、此処にはガソリンスタンドが1箇所しかないのので、事故とガス欠には気をつけて下さい。ちなみに車の修理も皆さん部品を取り寄せて自分たちでやるそうです。

その後馬祖で一番高い山、「壁山(298m)」へ登りました。「北竿」中が見下ろせます。それから「橋仔村」へ行き、馬祖のやはり独特の建築様式で有る「火形封火山?」式の廟を見ました。

この屋根の形は火災が発生した時に延焼を防ぐという意味合いがあるそうです。ここ「橋仔漁村」には沢山の廟が有りました。ここには「漁具展示館」なども有り、昔の漁具などが展示されていました。

その後、船に乗って「南竿」に移動する為に車で昨日来た「坂里村」を通過して「北竿」「南竿」の連絡線乗り場の「白沙港」へ行きました。お祭りだったせいか沢山の乗客が待っていました。

しばらく待つてると予想よりはるかに小さなクルーザーのような船が来たのでまさかこんな小さい船では、と思ったのですがやはりその船でした。客が多すぎて乗れないだろうと思っていたら、同じ大きさの船がもう一隻来ました。臨時便を出したようですね。船に乗って、酔う間もなく15分くらいで「南竿」の「福澳港」へ着きました。

(以下次号)

八「熊さん、南国会の会員担当になったって？」

熊「そうよ。」

八「熊さんでも出来る仕事があるんだね。」

熊「おっと、こう見えても熊五郎、お仕事いわずにお勤めして、会員担当全員、会員の皆さんより絶賛を博しておりますよ。」

八「ケケケ。ほんとかね。信じられないね。熊さんはおだてに弱いからねー。」

熊「ム・ム・ム・」

八「ところで、会員担当で、なにやるのよ。ザーッとでいいからね、熊さんのいつものように、グチグチ言っていると、だーれも読んじゃくれないんだからね、分かってるね、ザーッとだよ。」

熊「ハっあん、あんたなんだかうちのカーちゃんの口調に似てきたね。」

八「そうかい。」

熊「ジャ、マ、ソノ、ザーツと言うとだね。ここに南国会入会希望者"A"がいる。」

八「入会希望者"A"と来たか。」

熊「この"A"が会員担当"B"に資料を請求する。」

八「なんだか"A"だ"B"だと面倒くさいね」

熊「だまらっしゃい!!。ここが大事なところなんだから。」

八「ハイハイ」

熊「でも、マ、なんだかこっちもこんがらがりそうになるから、なんちゃっちゃって、結局カーちゃんの言うとうりになるのが、ほんとに、ハっあんとしゃべっていると、我が家の会話みたいになるね。」

八「そうかい、そうかい、ケケケ」

熊「男、熊五郎、慙愧に耐えず。」

八「分かったよ。分かったから、先に行こうよ」

熊「しからば、先へ、ズズイとまいるか。」

八「気取ってないで。先に行くよ。」

熊「ハイハイ。要するに、入会希望者に資料を送って、入会してもらい、会員担当"C"がこ

れを名簿に登録し、会員証など入会者に送る。

と、ま、こんなところかね。」

八「というと、会員担当は2人ということになるね」

熊「実際は、3人なんだけど、1人いささか、用向きのダンこれあり、実質2名にて、あいつとめおる次第にてござ候。」

八「なんか悪いもんでも食べたかね。いきなり候文になるね。ところで他には仕事ないの。」

熊「会報発送というのがビッグイベントかな」

八「会報発送は会報部会の仕事のように、会員部会との関係がちょっと分かりづらいね」

熊「今647名の在籍で、このメンバーへ送るための、宛名シールを印刷するのが、会員担当の仕事でさ、これが結構たいへんよ。」

八「どこが大変? プリンターでチョコチョコと印刷すればいいんじゃないの。」

熊「ハっあんねー、そうおっしゃいますがね、国内の住所に送る方、海外の支部へ送る方、役員の方、それぞれに同封する資料が違ってりするので、仕分けして、打ち出さないと、発送処理がものすごく混乱するのよ。一応データベースソフトを使って、比較的簡単に打ち出せるようにしたので、今のところ、会報担当と会員担当と共同で順調にしておりますよ。」

八「そりゃ良かったね。」

熊「ところがね、会報が返ってくるのよ。」

八「熊さんが住所を間違えたんじゃないの?」

熊「またそういうことを言う。そうじゃなくて、引っ越したとか、海外ロングステイ中だとか、変更を連絡してもらえればいいけど、そうでないと、返ってきますね。」

八「どのくらいあるの。」

熊「夏号では、12名だったかな。MLに発信して、問い合わせしたけど、3名くらいは、分からないまま。」

八「いろいろあるんだね。あと何かないの」  
熊「名簿印刷かな。夏号の会報には会員全員分の名簿、それ以外の会報には、新入会員、再入会会員のみ1枚べらのリストを同封して送るのよ。一枚べらでも、枚数で670枚以上あるわけで、秋号では、プリンターで打ってみただけど、さすがにこれだけ打ち出すと、なんだか耐久試験みたいになるね。今度から、東京都のNPOセンターというところで、格安で印刷機を借りられることになったので、ここで印刷しますけどね。」  
八「じゃあ、全員分となったら、ものすごいことになって、ちょっとプリンターでは無理だね。」  
熊「そう。印刷屋さんに頼むことになるけど、結構高いんで、なんかいい方法がないか思案中なんだけどさ。」  
八「他に仕事は。」  
熊「継続会費の入金確認というのが大変らしい。会計担当も大変ですけどね。入金を登録して、会費未納の方には、督促して、それでも入金なければ退会ということになるけど、きちんとやらないと、えらいご迷惑をかけることになるし、670名以上の方について、間違いなくということ、結構神経使いますよね。新年号に振込用紙を入れて、その後、ワットと入金通知がくるらしいよ。まだ新米だから、経験ありませんがね。」  
八「あまり大変、大変でも、なんだけど、問題とかあるの。」  
熊「八っあん、ね、これはここだけの話にしておいて欲しいんだけど、言っちゃいけないといわれていることなんだけどさ。聞きたい?」  
八「そりゃ、そういわれりゃ聞きたいでしょうよ。」  
熊「聞きたいか。でもこれを言うと、自分で自分の首を絞めることになるって言うんだけどね。」  
八「首でも、胴でも、勝手に絞めてさ、男らしく言っちゃったら。」  
熊「では言うよ。会員担当が困るのは、長い留守ができないことなのよ。入会者は、時期お

構いなしでしょ、入会希望あったのに、ほっとくわけにいかないし、待たせるにも限度があるわな。そうすると、長い留守はできなくなる。ね。ここが悩みの種ですよ。メンバーで交代と言ってもね、細かいところがあって、なかなか簡単でないのよ。寒い1月から3月まで入会お休み、年度の更新は4月ではなく12月とかすると、いいと思うけどね。理事会で通るかな?」

八「なーるほどね。どこも悩みはあるもんだ。」  
熊「そろそろ、お後もよろしいようですけど、最後に、この熊五郎の好きな詩をご紹介しておしまいにしたいんだけど。」

八「熊さんに詩なんぞとは、初耳ですね。」

熊「南国会にも、会員担当にも全く関係ないんだけどね。きっと会報委員が削除するね。」

八「やってみればいいんじゃないの。」

熊「そうか。これは、土岐善麿さんという人が漢詩を訳したものらしいんだけどね、お酒の歌でね、熊五郎はそんなにお酒が好きではありませんが、この歌は好きですね。こういうんだよ。

『一年(ひととせ)にひととせの春はあり  
百歳(ももとせ)にももとせの人はなし  
花かげにいくたびか酔ひえんや  
貧しともうま酒を買ひてまし』

熊五郎がやらずもがなの拙訳をさらに加えまして

『春は毎年めぐってきても  
百まで生きる人はなし  
花見の宴を指折り数え  
うまい酒買うのに銭がないとは言まいぞ』

熊・八「お粗末さまでした。おしまい。」

## 旅のお供はマイレージ

ペナン支部 No.813 石渡 清志、典子

マイレージについてとの「お題」を頂いた時、正直、困ってしまいました。と言うのは、私達はマイレージ・プログラムを利用している特典旅行をしているとはいえ、十分に熟知している訳でもなく、すでに多くの方々が活用されており、とても上手に使いこなされている方も大勢いらっしゃる事と思います。

また、私達のマイル獲得の殆どがフライトによるもので、いわゆる「陸マイラー（フライトしないでマイルを貯める）」の裏技的な物は実践していないので、それについてもあまりわかりません。

が、マイレージ・プログラムそのものをまだご存知ない方や、これから入会される方、またすでに入会されている方には参考として頂ければ幸いです。私達がこのプログラムを利用しているうちに、新たに理解したことや、こうすれば良いと思った事などを含め、ご案内したいと思います。

また、貯めたマイルは、日系航空会社等では電子マネーや商品券に交換できるようですが、ここでは「特典無料航空券」への交換という前提で記載させて頂きました。

ついで、各航空会社のマイレージ・プログラム・システムは変更する事が多く、出来る限り2008年12月現在に基づいてのプログラム内容を書いたつもりですが、調査不足もあるかと、また12月以降の変更も多いにあると思われますので、その詳細についてはどうか各航空会社のH/Pなどご覧頂くようお願い致します。

内容については、個人的な主観も入り、また勉強不足の事もあるかとは思いますが、どうかその点はご容赦頂きたいと存じます。

私達夫婦がマレーシア・ペナン島にロングステイしてからもう丸5年が経とうとしております。まだまだ日本に所用もあり、一年の内3～

5回程度はペナンと日本を行き来する暮らしです。それだけの往復回数ともなると航空券代だけでもかなりの費用が嵩むものですが、半数以上は無料のビジネス・航空券でのフライトです。

無料航空券?? そうです。主にフライトによるものですが、せっせとマイレージを貯め、それを特典旅行に換えているのです。

リタイアする以前、旅行は年に2～3回程度、バック・ツアーや格安航空券の利用、利用航空会社もその時々で異なっていたので、マイレージという言葉は知っていたものの無縁だと思っていました。

今から思うと、せっかくマイレージを貯められる航空会社や航空券にもかかわらず、本当に勿体無い事をしたものです。（年に一回でも飛行機に乗るなら、是非マイレージ・プログラムに入会すべし。それが米国系航空会社なら尚更です。）

ところが、ペナンにロングステイを考えリタイア生活になった頃、「下見旅行も含め、今後は旅行の機会も多くなるし、ロングステイしている間は日本とペナンを何回も往復する事になるよね? マイレージとかいうものが有るので、貯めなきゃ損よね」、「うん。ちょっと調べてみよう」、それがきっかけでノースウエスト（NW）・（ワールドパークス）に入会したのです。（何故ワールドパークスか?は後ほど）

### どの航空会社のマイレージ・プログラム（FFP）が良い?

マイレージ・プログラム（FFP）選びのポイントは次の4点だと考えられるでしょう。

I 地域や路線選び・航空アライアンスの選択：  
まず自分が良く利用する・利用したい航空会

社や、よく利用する・利用したい地域・路線を持っている航空会社。

- II マイルの貯め易さ： マイルは効率よく貯めたいものです。それには、フライト・マイルの加算率が良く、フライト・マイル以外でのマイル獲得が可能で自分に適したもの。
- III 特典旅行に必要なマイル数： 貯めたマイルを効率よく利用できるよう、特典旅行航空券の必要マイル数が少なめなもの。
- IV 有効期限： 有効期限はできるだけ長いものが良いとは思いますが、短くても自分に適している、あるいは延長が比較的簡単で且つ安価でできるもの。

### 具体的には

#### I 航空アライアンス（航空連合）の選択

世界の多くのメジャー航空会社は航空会社間で連合を作り（一つの提携グループ）、同一連合内での、共同運航便（コードシェア便）、FFPの相互利用、共通チェックイン・カウンター、一部・上級会員（エリート・メンバー）向け空港ラウンジの共有、等をしています。（アライアンスに加盟していない航空会社も

多数あります）

それにより旅客側メリットとして、① 提携航空会社フライトの利用でもマイルが貯まる（制約あり）、② 特典旅行の地域が増大、③ 一部上級会員の提携航空会社ラウンジ利用、等があげられます。

現在、大規模なアライアンスは下記の3グループです。

搭乗した航空会社のFFPに、其々バラバラと個別に入会してしまいマイルを加算すると、せっかく貯めたマイルが分散してしまい、効率が極めて悪くなります。各アライアンスの中から、自分にあった航空会社のFFPを一つ選び、集中的に貯めるのが得策でしょう。

例えば スターアライアンス系を持ち、シンガポール空港や全日空の国内線に搭乗しても、ユナイテッドのFFP（マイレージ・プラス）に加算する。

スカイチーム系を持ち、コリアン・エアーやKLM航空に搭乗しても、ノースウエスのFFP（ワールド・パークス）に加算する。

### 3大航空アライアンス

|        | スターアライアンス  | スカイチーム  | ワンパス  |
|--------|--|---|---|
| アジア系   | アジアナ、上海、シンガポール<br>エア・インディア（加盟予定）<br>全日空、タイ、中国国際  | コリアン・エアー<br>中華（加盟予定）<br>中国南方、                               | JAL<br>キャセイパシフィック<br>香港ドラゴン                 |
| アメリカ系  | エア・カナダ<br>USエアウェイズ<br>ユナイテッド   | アエロメヒコ、コパ<br>コンチネンタル、デルタ<br>ノースウエスト                         | アメリカン<br>メキシカーナ（加盟予定）、<br>ラン                |
| ヨーロッパ系 | アドリア、エジプト、オーストリア<br>クロアチア、スカンジナビア<br>スイス・インターナショナル、<br>スパン・エアー、トルコ<br>ブリテッシュ・ミッドランド<br>ブルーワン、LOTポーランド<br>TAPポルトガル、ルフトハンザ | アエロフロートロシア<br>アリタリア<br>エアヨーロッパ<br>エールフランス<br>KLMオランダ<br>チエコ | イベリア<br>フィンランド<br>ブリティッシュエアウェイズ<br>マレブハンガリー |
| オセアニア系 | ニュージーランド   |   | カンタス  |
| アフリカ系  | 南アフリカ  | ケニア   | ロイヤルヨルダン                                    |

\*コンチネンタル航空はスカイチーム・アライアンス契約終了後、スターアライアンスへ移動決定

## \*アライアンス以外の提携航空会社

アライアンスに加盟している殆どの航空会社は、そのアライアンスの航空会社以外にも、独自にマイレージ提携しています。その提携航空会社でもアライアンス同様に、マイルの加算（制約あり）や特典旅行の使用ができるので、FFPを選ぶ時には提携会社を知りうる事も大事です。

例えば、NW・FFP（ワールド・パークス）ではマレーシア航空やハワイアン航空など数社と提携していますので、それら航空会社のマイルも貯められ、マレーシアやハワイ諸島に行く時に活用できますね。

## II マイルの貯め易さ

マイルを貯めるには、①フライト、②提携クレジットカード、③ホテルやレンタカー、④提携ネット・マイルモール、等の利用があげられます。それらの中から、自分にあったマイル獲得が可能なものを、選んで貯めましょう。

ここでは、最も多くのマイル獲得できて最もやっかいな①のフライトでのマイル獲得についてのご案内をしたいと思います。

発行される航空券には**ブッキング（予約）クラス**というものが有り（ここでの予約クラスとは、ファースト、ビジネス、エコノミーという種類ではありません）、マイルの加算はその予約クラスにより**加算率**が異なるのです。例えば同じエコノミー・クラスの航空券でもQ、V、K、等アルファベットで記載されている複数の予約クラスが在ります。どの航空会社も発券航空券に様々な制約を設け（日程変更不可、旅行期間の限定、予約変更の制限、払い戻し不可、等）予約クラスとしてアルファベットで管理しています。（使用するアルファベットは航空会社により異なります）

順番的には、正規運賃、正規割引運賃、格安運賃、最後に特典旅行となり、チケット運賃が安くなれば成程、制約事項も増え、そのFFPによってはマイル**加算対象外の予約クラス**が設定されている事があります。

私達の場合にも昨年パック・ツアーでペルーに行った時、利用航空会社がコンチネンタル航空だったので、同じアライアンスのNW（ワールドパークス）に加算申告したら予約クラスがNでしたので、100%のマイル加算がされました。

ところが、今年パック・ツアーでイタリアに行った時は、利用航空会社・スイス・インターナショナルで、同じアライアンスのユナイテッド（マイレージプラス）に加算しようとしたのですが、予約クラスがUだったので加算率は0%でした。

前述の同じアライアンスや提携航空会社にも及ばず、自分の加入しているFFPの**自社便**に搭乗しても、パック・ツアーや格安航空券ではマイル加算率が**50%**あるいは**対象外**のものもよくあります。その中で、ユナイテッドやNW、アメリカン、等の**米国系**は**どんな予約クラス**でも購入チケットであれば、**100%のマイル加算**ができるので、貯め易さ・貢献度は抜群です。

予約クラスの加算率については各航空会社FFPにより異なり、そのFFP案内に記載されているので、H/Pを見る等して確認できます。

また**ファーストやビジネス・クラス**は予約クラスが上位なので、125%~150%、という加算率が多いようです。例外として、よく旅行会社に「ビジネス・クラスで行く〇〇〇旅行」とか、「プラス〇〇〇円でビジネスに」等という企画がありますが、これはビジネス・クラスにも格安運賃が設定されており、それを使用したものもあるので、加算率は100%、50%になる場合もあります。

**（謎？の話）** ユナイテッド（マイレージ・プラス）の会員が全日空のファースト・クラスを利用しました。加算率は150%。ところが、ルフトハンザ（マイルズ・モア）の会員が同じ全日空のファースト・クラスを利用したら加算率は300%なんです。これもまた、加算率は

航空会社によって異なります。

### (エリート会員の加算率)

各航空会社では、一年間で指定マイル数を獲得すると、次年度からは上級（エリート）会員に昇格できて**様々な特典**を提供しています。その中には、搭乗したフライト・マイルとは別に、そのフライト・マイルの25%~125%を**ボーナス・マイル**としてプラスされるというサービスがあります。航空会社によりその特典や加算率は異なりますが、一例としてNW（ワールド・パークス）を挙げてみました。

また**特殊な例**として、エコノミー席がオーバー・ブッキング等で満席になり席数が足りなくなった時に、ビジネス席やファースト席に余裕がある場合、エコノミー席の自社FFPエリート会員の中からプラチナ・ゴールド・シルバーの順に、席をUPグレードさせる事があります。私達も今までにバック・ツアーであるにも関わらず、NW利用でシルバー会員時に一回、ゴールド会員時に3回、（残念ながらプラチナ会員の時は一回も無かったけど）計4回、ビジネス席にUPグレードされました。

### Ⅲ 特典旅行に必要なマイル数

特典旅行に必要なマイルは各FFPで異なります。例として、日本から私達がロングステイしているマレーシア・ペナン島までの特典旅行

必要マイルを調べてみました。ペナン島へは日本からはマレーシア、JAL、コーリアン、キャセイ・パシフィック、シンガポール、タイ、中国南方など実に様々な航空会社が路線を持っています。

妻は夜行便が苦手、乗り継ぎ待ち時間が少ない、成田からは1日2便など、利便性を考えると、私達の場合はマレーシア航空を利用する機会が多いだろうと考えました。上記・表の通り、マレーシア（エンリッチ）ではエコノミー・クラスで一往復45,000マイル必要です。それに対してNW（ワールド・パークス）は、マレーシア航空と提携しているので、同じマレーシア航空を利用しても20,000マイル。これは大きな差です。

このように同じ渡航先でもFFPによって特典旅行必要マイルは随分と違ってきますので、これもFFP選びの重要なポイントです。

○ **特典旅行のメリット**は、殆どのFFPでは旅行期間が発行日から1年ある（一部6ヶ月）。FFPによっては、燃油サーチャージが無料。  
○ **デメリット**としては、席数に限りがあるので人気路線は早めに予約しないと好きな日程が取れない。

### Ⅳ マイルの有効期限

せっかく貯めたマイルも有効期限が過ぎると失効してしまいます。

### エリート会員

|      | 加算期間：1/1~12/31まで           | ボーナス<br>マイル | 主なサービス内容                     |
|------|----------------------------|-------------|------------------------------|
| プラチナ | 75,000マイル以上<br>または60回以上の搭乗 | 125%        | 空港ラウンジの利用、<br>*優先チェックイン、優先搭乗 |
| ゴールド | 50,000マイル以上<br>または40回以上の搭乗 | 100%        | 空港ラウンジの利用、<br>*優先チェックイン、優先搭乗 |
| シルバー | 25,000マイル以上<br>または20回以上の搭乗 | 50%         | *優先チェックイン、優先搭乗               |

\*優先チェックイン：ファースト・ビジネス用チェックイン・カウンターを利用

\*エリート会員期間：翌年1月1日~翌々年2月末まで

## ペナン特典必要マイル

|       | JAL<br>マイレージバンク | ANA<br>マイレージクラブ    | マレーシア<br>エンリッチ      | シンガポール<br>クリスフライヤー | 大韓<br>スカイパス |
|-------|-----------------|--------------------|---------------------|--------------------|-------------|
| ビジネス  | 60,000          | 63,000             | 75,000              | 70,000             | 60,000      |
| エコノミー | 35,000          | 38,000             | 45,000              | 45,000             | 40,000      |
|       | キャセイ<br>アジアマイル  | ユナイテッド<br>マイレージプラス | ノースウエスト<br>ワールドパークス | アメリカン<br>アドバンテージ   |             |
| ビジネス  | 80,000          | 30,000             | 30,000              | 60,000             |             |
| エコノミー | 45,000          | 20,000             | 20,000              | 40,000             |             |

日系航空会社等は商品券や電子マネー等への交換ができますが、外資系はマイルの交換は特典旅行のみという航空会社が多いです。無駄にしないよう自分の加入したFFPの有効期限はしっかりチェックしましょう。

私達の場合、ロングステイ先のペナン島へ貯めたマイルを、より少ないマイルで特典旅行が出来、娘がアメリカに滞在しているので米路線を使う機会も多くなるだろうと考え、最初にNW（ワールドパークス）を選びました。ヨーロッパ各地に行く場合も、提携しているKLMオランダ航空はどんな予約クラスでもワールドパークスに100%マイルが加算されますので、これも嬉しい事です。

今では、当初リタイア生活を始めた頃に考えたよりも旅行する機会を多く持っていますが、FFPというシステムが無ければこれだけ旅行していたかどうかはわからず、FFPに後押しされている気がします。（航空会社の戦略にはまっている感もありますが・・・）

### ワールドパークスお得情報

各航空会社では、顧客の確保や拡大のため、様々なキャンペーン等を開催しています。とりわけNW（ワールドパークス）は他社と比べてキャンペーン開催が多く、太っ腹なものもあり、マイル獲得のチャンスが大なので、人気のあるFFPです。現在、開催されているキャンペーンの中でもこれは**お得**と思われるものを3つ挙げてみました。

#### ① ワールドパークス・ユニバーシティ：

これは是非試して下さい。簡単な問題が3問あり、1問答えるたびに100マイルもらえ計300マイルとなります。もし答えを間違っても、他の答えが選択できるようになっているので大丈夫です。この**英語版**もあり、こちらは5問なので500マイルもらえます。これも答えを間違えても、何度でもやり直しできるようになっているので、英語が苦手な私でもOKでした。おまけもあって、日本版では、**一問目**を回答し90日以内にノースウエスト機でフライトすると（アジア発着、行先問わず）、**ボーナスとして2,000マイル**もらえます。同様に**2問目**を回答すると、60日以内にワールドパークス・モールを1回につき30マイル以上を2回利用すると、ボーナスは**1,000マイル**。**3問目**では、90日以内にスカイチーム加盟航空会社のフライトで（アジア発着で行先問わず）、**2,000マイル**のボーナスです。

\*90日以上あとに上記該当フライトの予定がある方は、90日を切ってからこのキャンペーンに参加して下さいね。あわて物の妻はフライト予定があつたのにも関わらず、このボーナスに気がつかずに、90日以上前に参加してしまい、ボーナス・マイルをゲット出来ませんでした。

この**キャンペーン期間**は明記されていませんが、もしこの号をご覧になった時点で、終了していたらごめんなさい。

参考：行先別・アジア系、米国系、欧州系航空会社 F F P ・特典旅行必要マイル表

上段：ビジネス・クラス、下段：エコノミークラス

|         | JAL    | ANA      | 大韓      | アシアナ     | ルフトハンザ  | A・フランス    | バージン・A    | ユナイテッド   | NW       |
|---------|--------|----------|---------|----------|---------|-----------|-----------|----------|----------|
|         | マイレージ  | マイレージクラブ | スカイパス   | アシアナクラブ  | マイルズ&モア | フライイングブルー | フライイングクラブ | マイレージプラス | ワールドパークス |
| 韓国      | 30,000 | 30,000   | 45,000  | 45,000   | 45,000  | 50,000    | 30,000    | 30,000   | 30,000   |
|         | 15,000 | 15,000   | 30,000  | 30,000   | 30,000  | 35,000    | 15,000    | 20,000   | 20,000   |
| 近隣アジア   | 40,000 | *35,000～ | 60,000  | 60,000   | 45,000  | 45,000    | 40,000    | 30,000   | 30,000   |
|         | 20,000 | *18,000～ | 40,000  | 45,000   | 30,000  | 30,000    | 20,000    | 20,000   | 20,000   |
| バンコク    | 65,000 | 60,000   | 60,000  | 70,000   | 60,000  | 60,000    | 60,000    | 30,000   | 30,000   |
|         | 40,000 | 35,000   | 40,000  | 50,000   | 15,000  | 45,000    | 35,000    | 20,000   | 20,000   |
| オーストラリア | 60,000 | *68,000～ | 105,000 | 110,000  | 90,000  | 120,000   | 110,000   | 75,000   | 110,000  |
|         | 40,000 | *43,000～ | 70,000  | 75,000   | 60,000  | 80,000    | 80,000    | 50,000   | 70,000   |
| 米本土     | 85,000 | 80,000   | 105,000 | 110,000  | 120,000 | 90,000    | 80,000    | 90,000   | 120,000  |
|         | 55,000 | 50,000   | 70,000  | 75,000   | 50,000  | 60,000    | 50,000    | 60,000   | 60,000   |
| ヨーロッパ   | 80,000 | 95,000   | 85,000  | 110,000  | -       | 120,000   | 100,000   | 105,000  | 120,000  |
|         | 50,000 | 55,000   | 65,000  | 75,000   | 70,000  | 80,000    | 60,000    | 70,000   | 80,000   |
| ハワイ     | 60,000 | 65,000   | 105,000 | *50,000～ | 60,000  | 90,000    | 60,000    | 60,000   | 60,000   |
|         | 40,000 | 40,000   | 70,000  | *75,000～ | 40,000  | 60,000    | 40,000    | 40,000   | 40,000   |

注) 自社・提携便を使用した最少必要マイルで記載。 シーズン制採用は、レギュラーシーズンで記載  
\*印は行先、搭乗地で必要マイルは変わり、行先はケアンズ・ゴールドコースト、搭乗地は成田空港発で記載

② ニッポン500マイルキャンペーン

日本国内線利用（どのような航空会社・区間でも）で1フライトにつき**500マイル**、1往復で**1,000マイル**獲得できます。所定の加算申請用紙（H/Pからプリントアウト）に必要事項を記入し、搭乗半券と共にノースウエスト航空に郵送かFAXすれば良いのです。これが凄いのはマイルの二重取りで、例えばJAL会員の方がJAL・FFPにマイル加算しても、NW（ワールドパークス）にもマイル加算

できます。（ワールドパークス平会員は年間10フライト、エリート会員は年間40フライトまで）

キャンペーン期間は、08年4月1日～09年3月31日迄となっております。（05年からこれまで連続4年間、毎年延長になっており、09年もちょっと期待!!）

③ 提携カード・キャンペーン（JCB、シティ、ダイナース）

## 有効期限

|           |              |                                      |
|-----------|--------------|--------------------------------------|
| JAL       | マイレージバンク     | 36ヶ月後の月末まで                           |
| ANA       | マイレージクラブ     |                                      |
| シンガポール    | クリスフライヤー     | 3年後の各4半期末(3/31,6/30,9/30,12/31)まで    |
| キャセイ      | アジアマイル       | 上記と同じ、更にUS10ドルで2,000マイル有効期限が3年延長     |
| 大韓        | スカイパス        | 5年                                   |
| アジアナ      | アジアナクラブ      | エリート会員：7年、一般会員：5年                    |
| ルフトハンザ    | マイルズ&モア      | エリート会員：無期限、一般会員：3年                   |
| カンタス      | フリークエントフライヤー | 3年、3年以内にマイルの加算・使用がある度に更に3年間延長        |
| V・アトランテック | フライングクラブ     |                                      |
| エールフランス   | フライングブルー     | 3年、3年以内にスカイチーム航空会社のフライトがある度に更に3年延長   |
| デルタ       | スカイマイル       | 2年後の12月末、それまでにマイルの加算・使用の度に2年後12月まで延長 |
| アメリカン     | アドバンテージ      | 18ヶ月、18ヶ月以内にマイルの加算・使用がある度に18ヶ月延長     |
| ユナイテッド    | マイレージプラス     |                                      |
| ノースウエスト   | ワールドパークス     | 有効期限無し                               |
| コンチネンタル   | ワンパス         |                                      |

エクスプレスマイル・キャンペーンの中のひとつですが、もしNWの提携カードを作ろうと思っておられる方は、ワールドパークスのH/Pから申込みして下さい。ここから申込みした場合に、初年度会費が無料や割引、入会ボーナス・マイルとして(2,000~10,000マイル)もらえます。さらに6ヶ月以内にノースウエスト機でフライトすれば、ファースト・フライト・ボーナスとして(2,000~7,000マイル)もらえます。

登録受付は09年2月28日まで、キャンペーン期間3月15日迄です。このキャンペーンは今まで何度も開催されています。

以上ですが、③のキャンペーンでは複数のカードを作った場合、其々のカード会社から其々ボーナス・マイルがもらえますので、この期間中に1回でもノースウエスト便でフライトされる方は、(エクスプレスマイル・キャンペーンでも

フライト・ボーナスがもらえます)、これらのキャンペーンを上手に利用されると、東南アジア・特典旅行に手が届くかも知れませんね。

上記のキャンペーンやその他・キャンペーンの詳細は、NW・ワールドパークス：<http://www.nwa.com/jp/jp> 英語版：<http://www.nwa.com/worldperks/university> を、ご覧いただければと存じます。

### 最後となりますが、今後のワールドパークス・懸念材料？

2008年10月29日、正式にデルタ航空にノースウエスト航空が吸収合併されました。今後、1~2年程？はノースウエスト名で運行となるようですが、合併後はそれぞれのFFPが「新・デルタ航空FFP」に統合されるという事になります。

ワールドパークス会員は現在のデルタ(スカイマイル)の提携会社(シンガポール航空・等)

と、同時にスカイマイル会員は現在のNW（ワールドパークス）提携会社（マレーシア航空・等）にマイルの加算や使用ができるようになります。

が、その反面、現在ワールドパークスには有効期限が無く、デルタは2年間。また、同じスカイチームですがマイル加算率も異なり、大韓航空利用などの場合、現在はデルタの方が不利な点もあります。特典旅行必要マイルも、東南アジア向けは現在、ワールドパークスは20,000マイルですが、デルタでは25,000マイルとなっています。

ノースウエスト航空はデルタ航空に吸収された形での合併となるので、今後「新・デルタ・FFP」は現在のデルタ・FFPにあわせる形となるのでは？と、懸念しています。

しかし、そうするとライバル会社である最大規模を誇るスターアライアンス・加盟のユナイテッド航空に、競争力という点でかなり劣ってしまうでしょう。この懸念が杞憂であれば良いのですが・・・。

シリーズ「お役立ち情報」

## 海外での通信手段

関東支部 No.60 渡辺 義郎

LS、旅行で海外に出かける場合に、日本との連絡、現地内での連絡手段が必要です。

この稿は昨年8月の関東支部サロン会で「海外での通信手段」として話した内容をまとめ直したものです。その席でもお断りしましたが、個人的な経験とインターネットで調べた内容を中心としていますので、経験不足による間違いなどがあると思います。間違いなどはなにかの機会にご指摘頂ければ幸いです。また、国際電話カードについては経験がありませんので言及していません。

### 1. パソコンと携帯電話

海外での通信手段は大きく分けてパソコン（PC）と携帯電話になると思います。その他に固定電話がありますが、携帯電話があれば固定電話を利用する機会は少ないと思いますので、説明を省きます。

パソコンは国・場所によらず世界的に利用法が共通ですので、言語の問題（日本語が使用出来るかどうか）をクリアできれば日本で利用する場合と大きく違いません。

一方、携帯電話は国・場所により利用制度、利用法が異なります。国際的に幾つかの標準が

定められており、全くのバラバラということはありませんが、日本の状況とはかなり違う面があります。

### 2. パソコンの利用

パソコンはいろいろなことが出来ますが、通信手段としては、

- ・インターネットによるWeb閲覧
- ・メール
- ・スカイプ

の三つが中心でしょう。

海外でパソコンを利用する場合に、

- ・パソコンを持参する
- ・持参せずに現地でパソコンを借りる

に分かれます。

ご自分のパソコンを持参すれば、あとは通信回線さえ確保すれば日本と全く同じ環境が実現出来ますので便利です。反対にパソコン・電源ケーブルなどあわせると2～3kgの荷物を持参する必要があります。従って短期の旅行には不向きであると思います。

通信回線は、現地通信会社と回線契約をする、ホテルで回線を借りる（無線LAN、ビジネスセンター）、町中の公衆無線LANを使用するなどの形態があります。

表1 ネットカフェの利用 (私の経験から)

|       |                  | ネットカフェの数<br>(ホテルの近く) | 料金 (1時間)      | 日本語/スカイプ |
|-------|------------------|----------------------|---------------|----------|
| 東南アジア | チェンマイ            | 多い                   | 10パーツ程度       | 多くのPCで可能 |
|       | ペナン              | 少ない (コムタ)            | 0.5~1RM       | 一部のPCで可能 |
|       | ホーチミン            | 多い (安宿街)             | 2,500ドン (20円) | 多くのPCで可能 |
|       | カンボジア<br>シェリムアップ | 多い                   | 0.25米ドル       | 多くのPCで可能 |
| ヨーロッパ | フィレンツェ           | 少ない                  | 1ユーロ          | 頼めば可能    |
|       | フランス・カンヌ         | 少ない                  | 1ユーロ?         | 頼めば可能    |
| 北米    | アラスカ・ケチカン        | 少ない                  | カードを6ドルで買う    | 駄目       |

パソコンを持参しない場合は、インターネット・カフェ (ネットカフェ) を利用します。日本では経済的に成り立たないのか漫画喫茶がネットカフェを兼ねており、純粋のネットカフェがほとんどありませんが、海外では観光客の集まる場所ではネットカフェも多くあり、安い料金で利用出来ます。

表1は過去2年前くらいからの私のネットカフェ利用体験です。東南アジアはネットカフェが多く利用しやすいです。もちろん数が少ないところ、宿泊ホテルの近くに見あたらないところもあります。また、欧米ではネットカフェがあっても利用方法が分からなくあきらめたこともありました。

#### 日本語入力：

ネットカフェでの一番の要点は日本語入力です。ネットカフェのパソコンは、通常は英語入力に設定されており、メールなどで日本語入力は出来ません。この場合、画面下部のツールバーのIME (入力システム) がENと表示されています。そのパソコンに日本語がインストールされていれば、ENをクリックしてJPに変更すれば日本語の入力が出来ます。もっと手っ取り早いのは、お店の人に「ジャパニーズ、ジャパニーズ」と叫べば多分変更してくれます。これでメール入力を日本語で出来ますが、不幸にして日本語がインストールされていない場合は、Ajax IMEを使用すれば効率は悪いです

が英語環境でも日本語の入力が出来ます。Ajax IMEは表2に示すURLによりインターネットの画面で利用します。

#### メール：

メールで注意を要するのは、Outlook Express、Windows Mailなどのメールソフトが利用出来ないことです。その代わりにインターネットの画面から利用するWebメールを使います。一般にWebメールはHot MailやYahoo MailあるいはGmail (Google Mail) のようなWeb専用メールのことと思いがちですが、Nifty、Biglobe、OCN、au、ybbの様な大手プロバイダーはほとんどがWebメールを設けています。これを利用するには、ご自分のIDとパスワードを入力する必要がありますので、忘れないでメモしていくことが必要です。また、出発前に練習していくことも必要でしょう。

メール宛先のアドレスはメモして持って行きます。あるいはWebメールのアドレス帳に事前に登録しておけばメモを持参する必要はありません。

#### インターネット：

インターネットでWebを閲覧するときはブラウザ (インターネット・エクスプローラなどの閲覧ソフト) の言語表示が重要です。通常は日本で見ているサイトを開けば日本語で表示されますので問題ありません。日本語のサイトで

あるのに日本語で表示されない場合、いわゆる文字化けの場合は「表示 → エンコード」（または画面を右クリックしてエンコード）からJapaneseを探してクリックします。ただし、この「表示」、「エンコード」も英語で表示されます。画面での場所が同じですからなじみが無くても大丈夫でしょう。

「お気に入り」（あるいはBookmark）は利用出来ません。サイトを探すにはYahoo Japan、Google Japanなどの検索サイトから検索して探すようにします。

### スカイプ：

スカイプは手軽で便利な連絡手段です。インターネットが利用出来れば全世界のパソコン間で無料で通話を楽しめます。音声（電話）以外にもチャット、電話会議、TV電話、ファイル送信などのサービスが無料です。

スカイプをネットカフェで利用する場合は、ログイン画面から入ります。ご自分のID、パスワードを入力します。スカイプの電話帳であるコンタクト・リストは、インターネットの「お気に入り」、メールの「アドレス帳」と違ってスカイプのサーバー側にありますので、何も入力せずにそのまま使えます。

スカイプの不便な点はパソコン同士の通信ですから、相手がパソコンを立ち上げていないときに利用出来ないことです。この場合はスカイプアウトを使用します。スカイプアウトは有料ですが、パソコンから固定電話・携帯電話を呼ぶことが出来ます。すなわちパソコンと電話との通話になります。あらかじめスカイプの画面で「クレジット」をカード引き落としで購入します。最低額が1,500円です。スカイプアウトは通常の国際電話よりもかなり安く、例えばタイから日本の固定電話へかけた場合が1分

表2 ネットカフェの利用法

|           |   |   |
|-----------|---|---|
| 日本語環境     | 日本語専用のパソコンはない。英語優先。日本語環境があれば日本語に切り替える。        | ツールバーのIMEを「EN」から「JP」へ変更   |
|           | 日本語がインストールされていないパソコンで、日本語入力を行う場合はAjax IMEを使う。 | Ajax IMEのURL<br><a href="http://ajaxime.chasen.org/">http://ajaxime.chasen.org/</a> |
| ハードは古い    | 古くて、遅い。USB端子は通常あるが、前面にない場合がある                 |   |
| OSはXPが普通  | セキュリティ対策を行っていない場合が多い                          | ネット取引（銀行振込、株売買）などは厳禁  |
| 通信速度はまちまち | ADSLはかなり普及している                                |   |
| 安全を確保する   | Loginしたら、最後に必ずLogoffを行う                       | Webメール、スカイプ   |
| インターネット   | 普通は日本語で読める                                    | メニューバー → 表示 → エンコードで日本語を選択  |
|           | 「お気に入り」は利用出来ない。検索でサイトを探す                      |   |
|           | 終了時にcookieを削除する（通常の閲覧では必要ない）                  | ツール → インターネットオプション  |
| メール       | 通常のメールソフトは使えない。WEBメールを使う                      | インターネットのブラウザで使用するメール  |
|           | プロバイダーのWEBメール                                 | 自分の加入プロバイダーのWEBメールを使えるように練習しておく   |
|           | Hot mail、ヤフーメール、GmailなどのWEB専用メール              | メールを転送しておく  |
| スカイプ      | 自分のスカイプ名、パスワードを記憶していく                         |   |
|           | スカイプアウトのクレジットを購入していく                          |   |
| 持参するもの    | USBメモリは必須（U3は利用出来ない場合が多い）                     | 連絡先の記録、受信メールの記録など   |
|           | メール、スカイプのID、パスワード、インターネットのお気に入りを記録していく        |   |
|           | スカイプ用のヘッドセット                                  | ネットカフェに常備の場合が多い   |

間約3円。携帯電話へは約20円程度ですので、海外から日本へかけても最低額のクレジットでも余裕があります。使用法はスカイプの画面から「電話へ発信」を選び相手国と電話番号を入力します。この場合、通常の国際電話に必要な国番号は必要なく、電話番号も市外識別番号の「0」を付けた日本国内と同じ番号を入力します。ただ、私の経験からは東南アジアでは能力の低いパソコンが多いためか、うまく動作しないネットカフェも多く、お店を選ぶ必要がありました。

### 3. 携帯電話の利用

海外滞在中で携帯電話は必須のアイテムで、特に長期滞在中のL Sではパスポートに次ぐ重要さがあるとされています。

携帯電話は国毎に通信方式、制度が違います。従って日本での利用と異なる面があります。

#### 日本の携帯電話は「ガラパゴス」の世界

日本の携帯電話は独自の高度発展を遂げたが、世界の主流から孤立したと言われます。これを遺伝学で有名な「ガラパゴス」島になぞらえて言われることがあります。

日本の携帯電話は次のような特徴があります。

- ・通信サービスと携帯電話機の一体販売：SIMカード（シム・カード、Subscriber Identity Module Card、電話番号を特定するための固有のID番号が記録されたICカード）がロックされており、携帯電話会社を変更出来ません。
- ・データ通信の利用が盛ん：iモードで携帯電話からインターネット接続を実現したのは日本が最初でした。これによりメール、ニュース・株価などの情報取得、携帯ショッピングなどが盛んです。
- ・付加機能が多い：カメラ、音楽、ゲーム、お財布携帯、GPS機能など盛りだくさんの機能が実現されています。
- ・携帯電話機が高い、通信料金が高い：高機能に伴い携帯電話機が数万円と高く、またゼロ円端末などの販売促進費用を料金に上乗せして通信料金が高くなっています。

- ・プリペイド携帯機が少ない：犯罪に利用される恐れから利用が抑制されています。
- ・親指文化：日本語入力に便利な親指でキーを押す文化が根付いています。

また、日本の携帯は第3世代（フォーマなど）に移行しており、この点でも未だ第2世代が多い他国と異なっています。

#### 東南アジアはGSM携帯の世界：日本の逆

東南アジアの携帯電話はちょうど日本の逆で、第2世代のGSM（Global System for Mobile Communications）方式の世界と言って良いでしょう。

- ・通信サービスと端末は分離して販売：SIMロック無し。SIMカードを購入し入れ替える事で同じ携帯電話機を他の携帯サービス会社、他の国でも利用可能
- ・データ通信、付加機能の利用は低調：メールはショート・メッセージが多く、インターネットのメールではない。
- ・通信料金、端末価格が安い：GSMのスタンダード携帯電話機は数千円で入手出来ます。
- ・プリペイド携帯が多い：基本料金不要。旅行者には便利
- ・現地語と英語が利用可能：英語は標準的に利用出来ますが、日本語はありません。従って通話の利用が中心となります。

### 4. 東南アジアでの携帯電話の利用法

#### 現地でGSM携帯機を購入するのがベスト

プリペイド携帯は証明などを要求されず（外国人はパスポート必要？）、誰でも購入可能で価格は数千円と安く便利です。SIMカードは有効期限があり、期限内に更新しないと番号は無効となります（期限が切れても90日程度は受信のみ出来るので、その期間内に更新すれば電話番号は維持される）。

東南アジアはほとんどがGSM方式ですので、例えばタイで購入したGSM携帯電話機をSIMカードを入れ替えることによりマレーシア、フィリピンなどの他国で使うことが出来ます。

## 日本の携帯は基本的には海外で使えない

使えないと言い切ると間違いかもしれませんが。国際ローミング・サービスを使えば日本の携帯を海外でも使用出来ます。しかし、余りにも料金が高く個人負担で使うのは躊躇します。

国際ローミングでは日本で使用している携帯電話機を海外に持ち出して現地の通信会社の回線で使います。ただし、国際ローミング可能な機種に限ります。利点は海外にいても番号が変わらないので日本にいるのと同じ環境で使え、またメールなどを日本語で打てることです。ただし料金が高額で例えばタイの場合、日本への発信が1分間175円、また日本からの着信は日本での発信にかかる料金以外にタイ側の着信にも着信料が必要であわせて330円と大変高くなります。

## 日本の携帯を海外に持ち出す場合にご注意

海外に日本の携帯電話機を持ち出し現地で盗難にあった場合は危険です。携帯電話機を購入する契約時に説明無しで国際ローミング契約が付加されていることが多く、この携帯電話機を盗難などで紛失した場合に、SIMカードを抜き取られ現地の携帯電話機に入れるケースが報告されています。この場合の料金は高額で、一例によると300万円を超えることがあり契約者に請求が来ます。携帯電話機を電話機として

使用せず、カメラ代わりに使うつもりで持ち出し盗難にあい高額の料金を請求された例も報告されています。現地で盗難にあった場合は、直ちに日本の携帯会社へ連絡し通話停止の処置が必要です。また携帯電話機を購入するときに国際ローミング契約を外すことが有効かも知れません。

## 5. まとめ 各種通信手段の比較

一例として表3にタイと日本との通信料金を示します。スカイプは無料、スカイプアウトの1分間料金は3円から20円程度です。これに対し最も高いのが携帯国際ローミングサービスで175円から330円かかります。表の中でIP電話とは、光ケーブル、ADSL回線で提供される「ひかり電話」などの一般名称です。料金が安い順番は、スカイプ → スカイプアウト → GSM携帯 → 国際電話 → 携帯国際ローミングの順になりますが、現地内での連絡手段および日本からの着信をいつでも受けられる利便性を考えると、パソコンよりも携帯電話がよく、その中でも料金から考えてGSM携帯電話の利用がもっとも有利と思われます。

表3 タイと日本との電話連絡（1分間の料金）

|               | 発信     | 着信     | 日本 → タイ                      | タイ → 日本           |
|---------------|--------|--------|------------------------------|-------------------|
| スカイプ          | パソコン   | パソコン   | 無料                           | 無料                |
| スカイプアウト       | パソコン   | 電話     | 固定へ：15円<br>携帯へ：15円           | 固定へ：3円<br>携帯へ：20円 |
| GSM携帯         | GSM携帯  | 電話     |                              | 固定へ：60円<br>～100円  |
|               | 電話     | GSM携帯  | 45円（IP電話から）<br>210円（固定電話から）  |                   |
| 携帯<br>国際ローミング | 携帯（持参） | 電話     |                              | 発信（タイ側）<br>175円   |
|               | 電話     | 携帯（持参） | 発信（日本側）：175円<br>着信（タイ側）：155円 |                   |
| 国際電話          | 固定電話   | 固定電話   | 45円（IP電話から）<br>210円（固定電話から）  | 94円？              |

# 支 部 便 り

## バギオ支部

バギオ支部長 No.227 齋木 一

### 「今年のフラワーパレードの日程等」

会員の皆様、明けましておめでとう御座います。今年も皆様にとって素晴らしい年でありませう様に祈り申し上げます。

2009年はバギオ市制施行100周年の記念すべき年です。9月1日の記念日に向けて既にいろいろな企画が実施されています。毎年2月に行われるバギオ最大の祭典フラワーフェスティバルも例年以上に華やかなものになりそうです。

その最大の呼び物、パレードの日程は、ストリート・ダンシングパレードが2月28日(土)、フロートのパレードが3月1日(日)になりました。パレード終了後の1週間、バギオの目抜き通りセッションロードを閉鎖して続く歩行者天国の期間中、支部友好団体の「北ルソン日本人会」が去年と同様「日本茶店」を開店します。その日本茶店では3月3日に「ひな祭り」も予定しています。例年この期間中は多くの会の会員もバギオを訪問されますが、今年は百年祭記念フェスティバルですから、大変な混雑が予想されます。

お見えになる場合は、早めの手配が必要です。マニラからの航空ルートは運行する航空会社が買収されて運休になっていますが、反面高速道路が延伸され、ノンストップの高速バスの便数も増えて来ているので陸路が大分時間的に短縮されています。従来課題だったマニラ空港からバスターミナルまでについても、メータータクシーが配備され、また支部提携会社のフレンドシップツアー社の空港アテンドサービス(有料)によって不安感が払拭されつつあります。

市では、百年祭記念公園の建設も計画していて、日本からの桜の植樹も検討されています。北ルソン日本人会もその実現に向けてお手伝い

をしています。桜咲くバギオで会員をお迎え出来るのも夢では無くなりそうです。

## 北海道支部

### ☆ 4月26日サロン会報告

6月の集まりを待てずに、帰国したばかりの渡辺さん、足立さん、富樫さん、そしてこれから1年間の留学生活をする千葉さん、そして堀江さん(奥様)、そして勇気をもって参加してくださいました小屋先生と私戸口の7名で、2時間のミニサロン会は話が途切れることなくあっという間に過ぎ、場所を移しての2次会。午後10時近くまでおしゃべりをして6月に会いましょうということで別れました。

### ◇平成20年度

#### 『南国暮らしの会北海道支部情報交換会』

日時；6月14日(土) 13～16時  
場所；カデル2・7 1040会議室(10階)  
議事

1. 19年度事業報告・20年度事業計画  
工藤支部長一 会計報告等含む  
一 総務選出
2. ペナン スライド
3. ロングスティ座談会： 司会 佐藤真理子様  
チェンマイ 工藤俊一様  
ペナン 賀陽恒磨様  
バンコク 富樫則子様  
セブ 佐藤幸成様
4. その他・皆様からご意見等

※懇親会 PM 5：00～ かつぼうぎ  
¥3,500円/人

※当日はつどいに41名、懇親会には38名の参加者が有りました。

#### 『女性サロン会』

日時：8月29日(金)

集合場所：札幌駅南口大丸デパート前

時間：午前11時（札幌駅北口団体バス乗り場  
11:20 発無料シャトルバスにて石狩美術館12:  
05 着にて移動）

会費：2,500円（食事代）

ナナカマドの実も赤く色づき始め、虫の鳴き  
声が秋の訪れを知らせてくれるこのごろになり  
ました。

さて、昨日は石狩美術館にて参加者10名で  
女性サロン会を開き、フレンチ懐石を食べなが  
らの自己紹介や海外についての情報交換を行な  
い、その後ルイ・イカール、エミール・ガレ等  
の作品を鑑賞しました。おしゃべりをしながら  
のバス送迎も含め日帰り旅行の様な楽しいひと  
ときでした。

次回の女性サロン会も是非皆さんご参加して  
頂き親睦を深めましょう！

609番 三島裕美子

## ☆ 9月21日南の会ふれあいゴルフ会

日時：9月21日（日曜日）

場所：シャムロックカントリー倶楽部

プレー代金：11,000円（キャディ付）

競技方法：ダブルペリア方式

参加費：いつもと同じ1,000円程度の景品を  
ご持参下さい。

## ◇平成20年度第2回

### 『南国暮らしの会北海道支部情報交換会』

今年度2回目の北海道支部情報交換会&懇親  
会が開催されました。今回の特色一地域別にサ  
ロン会を実施しました。会員相互の意見交換を  
より大事にした初の試みです

日時：10月18日（土） 13～16

場所：カデル2・7 1050 会議室(10階)

恵大苑（懇親会場）

参加人数（+家族会員+非会員）：

情報交換会 27名

懇親会 24名

議事：

工藤支部長よりの挨拶

マレーシア&ニュージーランド DVD録画  
を上映

「バリ・マレーシア・タイ」毎のサロン会

参加人数 タイ/バリ/マレーシア 3:1:  
1の割合。滞在予定、住まい、治安状況、観  
光ビザ等々、ワイワイガヤガヤのうちに定刻  
となりました

チェンマイ会の方は、会員各自の今後の滞在  
予定、マイレージを使って行くまでの方法  
や、コンドミニアム情報、現在の治安状況、  
観光ビザの申請等々様々な話題で時間が足  
りないくらいでした。個人間の具体的な疑  
問は懇親会会場まで持ち込まれ話し合わ  
れました。

バリ会の方は、今年4月からバリに滞在中の  
会員さんのビザ取得方法・家探し・金銭管  
理・生活の仕方・お手伝いさんの使い方等  
の説明・質問で時間が足りなかったです。  
マレーシア会の方は、滞在先として検討中と  
いう話から始まりキャメロン・クアラルン  
プール・ペナンの経験情報が話されました。  
タイ・バリ・オーストラリアへも脱線しな  
がら時間切れとなりました。

## ☆情報交換会&忘年会

日時：12月6日（土） 18:00

会費：3,500円

場所：中央区北2西4 北海道ビル1F

いっしん IZAKAYA 其の弐 北2条店

### セブの今

セブ支部 No.636 鶴岡 照郎

今年は今回の円高 ペソ安 を 大いに利用  
する絶好のロングステイ年度となりそうです。  
セブでは 2008年2月 1万円が 380  
0ペソの両替 2008年12月7日には53  
00ペソ なんと1500ペソも多く受け取れ  
38-9%アップとなっています。毎日のマッ  
サージも1時間300円から400円の支払い  
で済みます。ダイビングも安いところを探すと、  
一本2000円位です。高い高いと思っていた  
日本食レストランも行く回数が増えそうですし、  
ビリヤードもビールもすべて安く感じる今日こ  
の頃です。タクシーの追加10ペソ支払いも

12月15日で無くなりました。この円高で前回秋号の報告とは全く逆になりました。

世の中、世界中が不況になると落ち込んでいます、セブでも韓国人が少し減ってきたような気がします、セブの建築ラッシュは相変わらず活発ですし、リピーターの会員が増えてきております。多くの会員がチケットを買うとき、日本で一年オープンを買ってそれでセブに来、帰るときセブで半年オープンを買ってそれで帰る。再度来るときはセブで買ったチケットで日本から乗り、帰るとき日本で買ったチケットで帰る、一往復で6万円ぐらいの差が出ます、6万円の価値は今の円高セブではペンションハウスヶ月の滞在費です。これはセブのチケットが米ドル建てで価格が付いているためです。アメリカ発世界同時不況と言われて、ストック、投信が半分 三分の一になっていますが 円高をうまく利用して、貯めずに 有意義に使うこれしかないでしょう、我々年金生活者は。

追伸 セブの BIG MALL SM で会員の方がスリに遭いました。本人が気付く財布をスリから取り返し、周りの人の協力でスリを逮捕しましたが、すられたときは全然分からなかったそうです。ただポケットが軽くなったのですぐ気がついたとのことです。

そこで提案です。

- ① 財布に鳩目フックを付けておきそれにチェーンでベルトや バッグと繋げておく。
- ② 財布を常に重くしておく (笑)
- ③ 身分証明できる ID (写真付き) を常時携帯する。



## 関西支部

関西支部長 No.754 松本 都志重

### ○ 11月例会の開催

11月29日(土)大阪市立生涯学習センターにおいて、定例の例会を開催しました。テーマは、① 山下克正様夫妻のチェンマイステイ報告、② 長田ケイ子さんのKLステイ報告、③ ハワイ支部長大黒均様のハワイ暮らし報告でした。

午後5時30分から駅前第3ビル地下の居酒屋「呑」で懇親会を実施しました。参加者は35名。



### ○ 南紀白浜、「崎の湯」日帰りツアー

谷澤副支部長の企画で、10月17日希望者を募って日帰りの温泉ツアーを実施しました。「鉄道の日記念乗り放題切符¥3000」を使って格安にのんびりと温泉ツアーを楽しみました。参加者6名。



### ○ 生駒山麓ハイキング会の実施

11月1日(土)奈良県の生駒山麓にある「生駒聖天」寺から大阪の「石切神社」にかけてのハイキング会を実施しました。秋晴れの生駒山麓のウォーキングと石切神社参道の散策を楽し

み「風の湯」温泉で入浴後、液体補充をたっぷり行いました。参加者は谷澤副支部長以下6名。



## K L 支部

秋季号に、掲載させてもらったあと、12月20日までの間の活動について、まとめてみました。

1. 「南国の会」会員のKL訪問者の受け入れ。KLを、通過地点として、利用される方が多い中で、お時間をさいていただいた宮寄理事、磯崎理事、南国の会でウクレレサロン会を主催されておられる有馬様 ありがとうございます。
2. 現地にて新入会を希望されたご夫婦を永田担当理事に紹介。すでに入会手続き済み。
3. 浅山広報理事からの依頼を受け、イカロス出版社の密着取材に協力。会員の参加による、サロン会を開催し、夕食会を取材してもらいました。その様子が、12月17日発売の「羅針特選ムック ハッピー・ロングステイ」に掲載されております。
4. 「南国の会」会員で、KLに長期に滞在されておられるご家族は12月20日現在7家族となりました。
5. 今後の方針としては、浅山広報理事他のご協力により、KL支部のHome page を立ち上げること。

## 東海支部

### 東海支部台湾視察ツアー

今回のツアーで特に感じたことは南部へ行くほど親日的で、60歳以上と思われる人たちの半数以上が日本語を話せるという。

台南県には鳥山頭水庫というダムがあり、日本統治時代、八田與一氏がこのダムと同時に灌漑設備を完成させ、今でも地域住民はもちろん歴代総統も彼の墓前参拝に訪れると言う。

この地、台南にはテレビでも放映された香本氏がロングステイされている、我々も訪問させて頂きお話をお聞きした。

一行の人数が団体割引の対象で、バスを借り切った移動であったので、道中はにぎやかで和気藹々、通称東海支部の綾小路君麻呂も次第に台湾訛りになると言う珍道中。

それに負けじ、とガイドしてくれた謝小姐も加わり実に楽しいツアーであった。

高雄からは空路花蓮へ、新高山などは雲がかかって見る事は出来なかったが陽光あふれる美しい海岸線に沿って花蓮へ。最初に訪問したのは病院、バスを降りるといきなり拍手で迎えられた。

この人たちは、もしロングステイ中病気になったとき、受付から受診、治療まで付き添ってくれると言う、しかも待ち時間なしで優先されるのだそうで、しかも治療費が日本の自己負担程度で済むとのこと、それじゃあ保険なんていらないうて事。

でも土地の人を差し置いて割り込み受診なんて恨みを買わないか心配。

その後花蓮市の南、約30分の豊田移民村へ。バスから降りると数十名の老人クラブの皆さんに迎えられ、其の歓迎振りに驚く、と言うより驚愕したと言うほうが実感である。

何しろ県知事が挨拶に来ると言う、適当にそこいらの椅子に座っていると知事の隣に座れと言う、何しろ私の人生で初めての事で大いに面食らった。

型どおりの挨拶が一通り済み、老人会による

手作りの食事を頂く、その後老人会の会長と言う方がぴったりと私に付き添い、日本統治時代、開拓農民と共に苦労したおかげで今日豊かな暮らしが出来るようになった、と感謝している、また蒋介石が日本の痕跡を消すため神社仏閣を廃棄するとき身を挺して死守したと熱っぽく語ってくれた。

翌日も花蓮の老人会やコンドミニウム、スーパーなどを見学、其の夜は台湾ロングステイ協会花蓮支部のパーティー、ここでも副知事や各界の名士のお出ましで、其の都度挨拶をさせられるので、ついに話すネタが無くなってしまった。

亀山養生村、台中、台南、高雄、花蓮と見学してきたが何処も素晴らしく、それなりに長所があり簡単に甲乙付け難いとの印象です。

最後まで拙文をお読みいただき！謝謝！興味をお持ちの方、詳細は下記URL参照下さい、宿泊施設の写眞があります、それでは再見。

<http://www.tlsa.org.tw/tlsa.jp/p3.htm>

## 10月度東海支部定例会議事録

書記：小林

日時；10月5日（日）

定例会：13～16：30 ウイルあいち 16名

サロン会（旧懇親会）：17～19 餃子王 12名

土井さんを議長として、久しぶりに出席した方の紹介の後、以下の事項を連絡・議論した。

### 1. 催事担当からの連絡事項

#### 1) 台湾下見ツアーの件（清水さん担当）

- ・18名位参加予定で、前回見積もり時より人数が多い為、費用は少し安くなる。
- ・名簿をHISに知らせてあるので、航空券は各自で注文、支払いのこと。

#### 2) 南国東海ゴルフの件（清水さん担当）

10月31日（金曜日）、名古屋港ゴルフ倶楽部8：30集合 積極的な参加を

#### 3) 新年会の件（山口さん担当）

- ・1月10日（土）、国際センター東天紅（25F）11：30集合、会費は5000円

### 2. ロングステイセミナー開催の件（横井さん）

- ・実行委員を決定（横井、清水、中田、岩月、

足立、山田さん）

- ・第1回打合せを平日サロン会で行うので実行委員は出席してください。（10月20日（月）11:30～14:00 名古屋国際センタービル25F 東天紅）

### 3. セミナー情報

#### 1) マレーシアロングステイセミナー参加報告（中田さん）

- ・9/22（月）中京大学文化市民会館で開催された。1000人募集でほぼ満員だった。
- ・内容はLS素人向けで、情報はやや古い。中日新聞主催。

#### 2) インドネシアフェスティバルが開催されます。

- ・11/16（日）国際センター別棟11～15時

### 4. ロングステイ報告

#### 1) ハワイ（岩田さん）

- ・9月の1ヶ月ワイキキバニアンに滞在。運転免許証を取ったが、各種割引が受けられて有利。
- ・滞在の印象：気候が良く、治安・医療OK 住居費などがやや高いので1ヶ月位の滞在が良い。

#### 2) キャメロンハイランド（佐伯さん）

- ・3ベッドルームの部屋を年契約で約5万円/月で借りている。最近物価が上昇してiiいる。
- ・最近、欧州のシニアが増えた。
- ・エアアジアをよく利用する、メンテは安心だが発着時刻はルーズ

#### 3) マラッカ海峡クルージング（津川さん）

- ・シンガポールペナンブーケットのクルーズで、3泊4日（合計5泊6日）、約10万円/人
- ・客は日本、インド、オーストラリア人が多い。皆さんとてもフレンドリーで、内容も良く満足した。

### 5. 南国東海お出かけ情報（小林）

- ・お出かけ情報の追加・修正があればご連絡下さい。皆で誘い合って旅行、LSを楽しみましょう。

その後、餃子王に移動して懇親会を行い楽しいひと時を過ごした。

## 11 月度 東海支部 定例会議事録

書記：小林

日時：11月9日（日）

定例会：13～16：55 ウイルあいち 20名

サロン会：17：10～19：10 餃子王 9名

### ●定例会

村田さんを議長として、以下の事項を連絡議論した。

#### 1. ロングステイセミナー計画状況

（横井委員長より）

- ・3/22（日）13：00～17：00 ウイル愛知の100人収容の部屋を予約した。
- ・講師は3人：チェンマイ、ペナン、台湾をよく知っている人
- ・司会は東海支部 山田善一さん
- ・公知方法について、中日新聞などに広告が出せるか検討中。
- ・次回平日サロン会 11/17(月)11：30～でさらに詳細を決める。
- ・3/8(日) 13：00～の役員会&セミナー実行委員会で最終打ち合わせ。
- ・高橋支部長より、「ロングステイセミナーでいろいろお世話をかけますが、全員で協力してセミナーを成功させましょう」

#### 2. ロングステイ (LS) 報告

1) チェンマイにLSしている加藤さんより、最近の情報を報告していただいた。

- ・王族の葬儀、ロイクラトーンの様子、ラオスへ5日間ドライブした様子など
- ・チェンマイはメータータクシーが増えた、ソンテウは20Bになった。
- ・エリートカードは値上がりした（100万B→150万B）

2) バギオにLSしている向井さんより、LSの感想を報告していただいた。

- ・バギオは標高1500mで夏でも私には寒く花や作物を育ててみたが、あまりうまく育たない。

3. 催事よりの連絡（清水さん、山口さん）

1) 南国東海マスターズゴルフを、10/31（金）名古屋港ゴルフ倶楽部で開催、親交を深める

ことが出来た。

2) 12月の台湾LS下見ツアーは22名参加と人数が増えた為、料金が少し安くなる。詳細は配布資料参照。

3) 新年会の件

- ・1月10日（土）国際センター東天紅（25F）出欠の連絡を11/16までに！（人数把握の為）

4. 情報交換

1) インドネシアフェスティバルが11/16(日) 11：00～15：00、国際センター別棟で開催されます。

2) サロン会（旧懇親会）の出席者が減少傾向、料理に飽きてきた可能性がある為、場所などを再検討。

3) 岩田さんより、セブの詐欺事件、海外LS費用の新聞記事の紹介があった。

●その後、餃子王に移動して懇親会を行い、情報交換し、親交を深めた。

## 2008年12月度 東海支部 定例会の議事録

1. 日時・場所：12月14日（日）

・サロン会：11：30～12：50 ウイル愛知・レストラン

・定例会：13：00～16：30 ウイル愛知・会議室6

2. 出席者：17名

3. 議事

山田さんの司会で新入会員の紹介・挨拶後、以下の事項を連絡・議論した。

3. 1. 高橋支部長挨拶及び連絡

(1) 新年会 日時：平成21年1月10日（土）午前11時半～午後2時

場所：太閤本店主税町店

現時点の申込者27名。30名で締め切り。

その他詳細が午前中の役員会で決まった。

(2) 役員会 新年会の件、東海支部役員等の内規を審議した。

3. 2. 清水副支部長の司会で台湾下見ツアーの報告があり、熱のこもった質疑応答があった。

(1) 日程：12月3日から12日まで9泊10日

(2) 行程：名古屋→台北・養生文化村→台中・

振英會館→台南・新營、南賓施設→高雄・旗山医院など下見→花蓮・ロングステイ施設見学→台北→名古屋

(3) 感想：・受け入れ側が非常に友好的だった。特に台湾ロングステイ協会の謝さんが親切に面倒をみてくれて感激した。

- ・養生文化村は長期滞在用にカルチャー教室などあり気に入った。
- ・台中振英會館はキッチン設備等充実しており、とてもきれいだった。
- ・花蓮は知事も歓迎してくれて、ロングステイに力を入れており有望。
- ・避寒地として台湾はとても良いというツアー参加者のメールが紹介された。
- ・気に入った所は？→花蓮、台中、養生文化村など。
- ・治安は？→おおむね安全だが、東海岸はこそ泥、西海岸は凶悪犯罪の傾向。

## 友好団体紹介コーナー

☆財団法人ロングステイ財団

<http://www.longstay.or.jp/>

☆チェンマイロングステイライフの会  
(CLLクラブ)

<http://c11.thai.jp.net/>

☆ワールドステイクラブ (WSC)

<http://homepage3.nifty.com/worldstayclub/>

☆THE JAPAN CLUB OF KUALA LUMPUR KL  
(クアラルンプール) 日本人会

<http://www.jckl.org.my/>

☆北ルソン日本人会 (LANL)

<http://janl.exblog.jp/>

☆バンコク日本人会 ☆西豪州日本クラブ

## 部 会 伝 言 板

### 総務部会

担当理事 No.462 小林 孝  
No.259 菊地 功

#### A) 会報秋季号以降の総務部門の主な活動

- 08/10/20 東京高裁第1回控訴審
- 08/10/31 弁護士事務所に於いて控訴打合
- 08/11/19 東京高裁第2回控訴審
- 08/11/29 控訴打合せ (品川)
- 08/12/09 弁護士事務所において控訴打合
- 08/12/18 高裁に於いて和解案の考え説明
- 08/12/21 平成20年度第4回理事会開催\*

#### B) \*理事会議事録 (抜粋)

出席：理事15名、委任状5名、  
監事2名、相談役1名

#### 審議・報告事項

- 1) 10周年記念事業委員会発足  
委員長高田712、大野434、今野670、橋本465、島林900、菊地240、山科1068、迫野1168各委員が選ばれた。

- 2) 広報部会内規の提案・・・必携
- 3) 友好団体「リタイアメント情報センター」及び今後の友好団体の提案について協議。
- 4) HPデザイン変更について報告あり。
- 5) 取材・出版について報告あり。
- 6) 移動時のトラブル対応について。
- 7) 特別委員会より裁判の経過説明。

次回定例理事会は平成21年3月28日開催

### 会報部会

会報部会長 No.732 馬場 章介

次回、春季号は5月上旬に発送予定です。支部特集としてハワイ支部を予定しています。担当は、No.1256 大塚 真一さんです。原稿の締め切りは3月20日、宛先メールアドレスは、下記の通りです。

[true1249kannji@yahoo.co.jp](mailto:true1249kannji@yahoo.co.jp)

会員の皆様からの多くの記事を期待しています。

## 広報部会

広報部会長 No.1089 浅山 簇治  
会報秋季号以降の活動報告をします。

### 1. 広報委員会

#### 1) 取材協力と掲載

- ① エンプレス社・・・「ハッピーリタイアメント」と言うウェブサイトを運営しており、リタイア後海外生活をエンジョイされている方を、との要望で、チェンマイの石川さん（帰国中の取材）、ハワイ支部の高田さんをお願いし取材を受けてもらいました。（ウェブへのアップは未だ。）
- ② イカロス出版・・・「羅針誌・ハッピーロングステイ特集」に「KL紹介」への1日密着取材をKL支部棚村さんにご無理をお願いし受けてもらいました。

この内容は12月17日発売の「羅針」誌に数ページに渡り掲載されました。同号には、取材時KLに滞在されていた他の会員、台湾の紹介で鈴木さん、ハワイの高田さんも掲載され、さながら南国暮らしの会全面協力の感がありました。

#### 2) 会の紹介用 1枚物シートの作成

一般の問い合わせ用に1枚物のリーフレット作成し、国内各支部長や関係者に配布しました。ご活用下さい。

### 2. HP委員会

#### 1) 会HPへの支部紹介HPのアップ

全支部のHP作成を各支部長へお願いしていますが、九州支部、ハワイ支部の新規HPのアップ、ペナン支部HPの更新が完了しました。他支部も引き続きよろしくお祈りします。

#### 2) 当会HPへのヒット数

皆様のご協力のおかげでHPの更新の効果、内容の充実もあり、昨年800件/月から、最近3,000件/月もある人気サイトとなりました。

皆さんも時々覗いてみて下さい。

## 編集後記

この会報がお手元に届く2月初めは、日本ではまだまだ寒い季節なので、南国への思いを馳せていることでしょう。

今季号は関東支部特集をくみました。

この「新年号」を作る時に、第一回の編集会議をしたのが10月の初めで「年末、年始の過ごし方」にしようと思いましたが、ご投稿して下さった方々が、正月の過ごし方を書いて下さいました。暖かい国で正月を迎えた方も、日本の正月を思い出されたのではないのでしょうか。また昨年11月26日にはバンコクで空港閉鎖という事態が生じました。会員さんもそういうときにどう対処したらいいのか参考になればと思い、そこで遭遇された方に投稿をお願いしました。締め切り近いお願いに応えて下さったことに御礼を申し上げます。

会報を担当して一番大変な事は、拘束をされるという事ですが、良い点は、今まで余りよく知らなかった投稿してくださる方々とメール等を通して親しくなれたということです。

あと一ヶ月もすれば、待ち望んでいる暖かな春がきます。

次号「春号」の担当はNo.1256大塚真一さんです。宜しくお願いします。

最後になりましたが、投稿にご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

「新年号」担当 No.470 細田良子

### 写真ご提供有り難うございます

表紙：本号のテーマは「初冬の景色」です。

左上から時計回りに「横浜せせらぎの道」

(No.60 渡辺義郎さん)、「神宮外苑の銀杏並木」、

「上野公園」、「浅草観音の仲見世」(以上3点はNo.732 馬場章介さん)、

中央は「冬の八ヶ岳」(No.345 藤巻雄二さん)

裏表紙：

1. バギオ支部訪問者を迎えて(2008年11月)
2. 東海支部台湾ツアー(2008年12月)
3. 関東支部湘南会(2008年11月)

## 平成21年度会費納入のご案内

平成21年度の継続会費納入をご案内します。

**継続年会費： 5,000円 納入期限： 平成21年3月31日**

○本会の21年度は平成21年4月1日より1年間です。会則により、会費は年度会費制で途中入会者に対する月割り計算はいたしておりません。20年度ご加入の方も加入時期によらず、21年度会費の納入をお願いします。

○同封の郵便振替用紙にてお振り込み下さい。振込料金は各自ご負担願います。

郵便振替口座番号： 0-0170-7-24682

加入者名： 「南の会」

お願い(1)： 郵便振替の払込取扱票の「ご依頼人」欄に郵便番号、住所、氏名、電話番号を**楷書**で明確にご記入下さい。また、**通信欄に必ず会員番号をご記入下さい。**

お願い(2)： 会員情報が会員名簿記載と異なる場合は、変更通知欄の該当事項に○を付けて下さい。e-mailアドレス変更の場合は新しいアドレスをご記入下さい。既に届けを出している方は変更済みですので記入は不要です。

○海外居住者で郵便振替の利用が困難な方は下記の銀行口座への振込をお願いします。

平成21年1月5日から、ゆうちょ銀行へも一般銀行から振り込みが可能になりました。

**ゆうちょ銀行の口座は「当座」です。「普通」口座ではありません。ご注意ください。**

(振込に際し支店名選択は、画面のあいうえお一覧から「ゼ」、または「セ」を選んでください。

店名が出ます。振込画面は銀行により異なります)

ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900

店番：019 店名：〇一九店(ゼロイチキュー店)

預金種目：当座 口座番号：0024682

受取人名(カナ氏名)：ミナミノカイ

お願い(3)：銀行振込に際し、**振込人氏名に会員番号を追加記入**してください。また振込後振り込んだ旨メールで **keiri.iinkai@gmail.com** へご通知頂ければ事務処理上助かります。

○会費納入と会員資格、総会表決権の取扱について

- ・3月31日の納入期日までに継続会費納入の方は、21年度会員として総会表決権を有します。
- ・期日までに会費未納入の方へは、一回納入を催促致します。さらに納入されない場合は退会として扱い、会員名簿およびメーリング・リストから削除致しますのでご注意ください(細則9条(5)項)。また、会報も送付しません。
- ・9月30日までは会費納入により会員資格復活が可能です。この場合は入会金は不要です。10月1日以降は新規入会の扱いで入会金、会費の納入が必要です。
- ・新規会員で21年度会費として納入された方は、4月1日からの会員資格となりますので、21年度総会での表決権はありません。

○やむを得ず会費納入が遅れる方へ

海外滞在中などで期日までに振込が困難な方は、下記アドレスへ件名を「会費納入遅延」としてご連絡ください。 **keiri.iinkai@gmail.com**

納入遅延の連絡を条件に特例として会報春季号をお送りします。ただし、総会議決権については規定通り失効いたします。

「南国暮らしの会」からのお勧め

**\* 自己責任 \* 納得の上 \* 自己決定**

南国で不動産等の買い物をするときは、すぐ買わず、情報を幅広く集めて、自分の目で確かめて、しばらく試してみて納得してから、自分の責任において自己決定する。

南国暮らしの会ホームページに最新の情報が 있습니다。ご覧になって下さい。

<http://www.minaminokai.com/>

会員相互の情報交換には、南国ML（メーリングリスト）が便利です。

会員の方で新しく参加希望の方は下記へ参加申込を。

メールアドレス：[mail.iinkai@gmail.com](mailto:mail.iinkai@gmail.com)

(メールには会員番号、氏名、ご自分のメールアドレスおよびウイルス防止のためご利用のウイルス防止ソフト名あるいはプロバイダのウイルスチェック契約の有無を明記して下さい)

【編集委員】 一順不同一

|         |       |         |        |
|---------|-------|---------|--------|
| No. 732 | 馬場 章介 | No. 900 | 島林 健二  |
| No. 60  | 渡辺 義郎 | No. 240 | 菊地 範夫  |
| No. 281 | 村松 幸子 | No. 465 | 橋本 慧   |
| No. 470 | 細田 良子 | No.1125 | 佐々木 一信 |
| No.1256 | 大塚 眞一 |         |        |

記事の無断転載・複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人（NPO法人）

「南国暮らしの会」

©minaminokai

理事長 高田 勝弘

〒140-0002 東京都品川区東品川3-22-20-1208

<http://www.minaminokai.com/>

E-mail: [info@minaminokai.com](mailto:info@minaminokai.com)



## 投稿写真コーナー



バギオ支部 (2008年11月)



東海支部台湾ツアー (2008年12月)



関東支部湘南会 (2008年11月)